

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

本学は、建学の精神に表された「社会からの要請に応えることができる医療人の養成」という明確な使命・目的を学則に掲げ、刻々と変化する社会情勢や医療事情を見据え、社会からの要請に迅速かつ誠実に応えるよう、単一学科であった関西鍼灸大学から現在の医療系大学へと発展するための堅実な努力を重ねてきた。現在、学部としては、保健医療学部、保健看護学部の2学部、保健医療学部は、はり灸・スポーツトレーナー学科、ヘルスプロモーション整備学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科の5学科、保健看護学部は保健看護学科の1学科で、計2学部に6学科を設置している。

本学の教育上の特色は、大学学則【資料1】及び大学院学則【資料2】に明示している。学部教育については、大学学則第1条の2（保健医療学部）及び第1条の3（保健看護学部）において「広い一般教養と高い倫理観の養成」「保健医療（又は保健看護）に関する専門知識と技術の教授研究」「社会の要請に応えうる技術と能力を持つ人材の育成」と表現することで学部における教育研究上の個性と特色を端的に示している。

大学院については、学部教育を発展させ、より高い専門性を求める教育で建学の精神を実現していくため、大学院学則第1条において「保健医療に関する学術の理論及び応用の教授研究の深奥を究め、国民保健の進展に寄与する」と表現し、保健医療分野における幅広い見識と深い専門知識及び科学的探究心に基づく研究能力をもつ医療人材を育成するという教育研究上の個性と特色を明示している。

現在の修士課程では、学部各学科の研究内容との整合性を考えて、臨床鍼灸学コース（はり灸・スポーツトレーナー学科）、臨床身体機能学コース（理学療法学科、作業療法学科）、医科学コース（臨床検査学科）の3つのコースに分類した。修士課程を修了した学生は、保健医療分野の専門職のリーダーとして活躍している者は多い。しかし、さらに保健医療分野の主導的臨床専門職としての高い倫理観のもとで主体的に研究活動を行い、保健医療分野を牽引するリーダーと後進の指導を担える研究実践力を養うことを目的にする必要があると考えており、この目的を達成するために博士後期課程を設置することとした。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学が位置する近畿圏における保健医療分野の博士後期課程を有する私立大学4大学の入学試験状況を調査した。博士後期課程の入学定員は2～5人であり、全ての大学で定員は満たしていることがわかった【資料3】。特に、神戸学院大学（兵庫県）、畿央大学（奈良県）の入学定員充足率は2倍以上と非常に人気が高い。このような現状から、保健医療分野の博士後期課程への進学ニーズは高いと考える。また、本学修士課程の修了生からも医療技術のみな

らず研究力及び教育力を身につけたい者が一定数存在し、実際に本学大学院修了者で他大学大学院博士後期課程へ進学した者が 11 人いる【資料 4】。博士後期課程への進学希望者には、修士の研究テーマを発展させて本学博士後期課程に進学し研究を継続したいという声もある。

このように、博士後期課程の設置の必要性は高いと判断されるが、本学が位置する大阪府下で保健医療分野の博士後期課程は大阪大学、大阪公立大学の国公立以外では、森ノ宮医療大学 1 校だけである。また、本学が位置する大阪府南部地域には博士後期課程を有する大学は存在しない。このため、本学において博士後期課程を設置する意義は高いと考える。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

[趣旨目的]

本学大学院修士課程は、前述したように大阪府南部地域に貢献できる人材の育成を目的として、保健医療に関する幅広い見識と深い専門知識を持ち、卓越した臨床能力を持つ高度専門職業人と保健医療分野の科学的探求心を持ち、研究に従事する人材の養成に努めてきた。修了生は、実際に保健医療の現場の中で、高い倫理観と高度な専門知識と医療技術を備え、協調性を持って柔軟に他の医療従事者とチームの一員として連携できる人材として活躍している。中にはチーム医療のリーダーとして各部門の管理指導者として活躍している者もいる。また、研究指導においても、高いレベルでの科学的な基礎研究と臨床研究を行うことができ、研究成果を国内外の学術誌で論文掲載できる者もいるため、修了生には大学等機関の研究者、教育者として活躍している者もいる。

このような修士課程の実績を積み重ねることで、修士課程での実績を発展させることができる極めて高いレベルの専門職業人である主導的臨床専門職を育成する必要性を感じるようになった。このような人材を育成することができれば、保健医療分野の専門職が勤務している施設の中で必要な知識と技術を教育し、その過程の中で解決する必要がある問題点についてもリーダーとなり解決することができ、施設で勤務する専門職のレベルを高めることだけでなく、施設全体の発展につながる事が十分に考えられる。このような展開を広めることで、日本全体の保健医療分野の更なるレベル向上につながると考えている。

前述の背景を踏まえ、本学大学院博士後期課程は、保健医療分野における高度な主導的臨床専門職の養成を主たる目的とする。主導的臨床専門職には、保健医療分野での課題を解決するための研究力や、後輩を育成する教育力も必要になる。そのため、この研究力と教育力を活かして、大学等の教育・研究機関でも活躍できる人材の育成も期待される。

[教育内容]

博士後期課程では、保健医療分野の発展が期待できる本学が位置する大阪府南部地域だけにとどまらず、日本及び世界の保健医療分野の発展に貢献し、後進の指導を担える研究実践力を獲得することを目的とする。また、保健医療分野での後輩を育成するために、大学機関等の研究者、教育者になり得る研究力、教育力を獲得することも目的とする。

そのため、教育課程は、1 年次前期に履修する「共通教育科目」で主導的臨床専門職になるために必要な幅広い知識について学修する。1 年次後期には、保健医療分野での主導的臨床専門職に必要な専門的な医学的知識、検査・治療技術に関する講義、演習である「専門教育科目」を設定した。

また、国際的に通用する研究者を育成するために、1 年前期より 3 年間を通して研究指導教員の指導のもとで研究活動を行い論文作成へと導いていく「特別研究科目」を設定した。

修了要件には、科目履修だけでなく、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必須となる。博士論文の作成は「特別研究科目」にて行われる。そのため「特別研究科目」を充実させるための科目・教育内容を「共通教育科目」「専門教育科目」に取り入れている。

[定員設定]

本学が位置する近畿圏において博士後期課程を有する大学では、定員を充足しており、博士後期課程進学の一定のニーズは得られている。

本学修士課程を修了した医療従事者からも医療技術のみならず研究力及び教育力を身につけたいと考える者が一定数存在し、実際に本学大学院修了者で他大学大学院博士後期課程へ進学した者（11 人）がいる。

このことから、研究指導教員数（14 人予定）とのバランスも考慮し、博士後期課程の入学定員は 3 人、収容定員は 9 人とした。この定員設定により、保健医療分野においてリーダーとなる高度な主導的臨床専門職の育成に十分な研究、教育指導を可能とするための教育体制を整えることができる。

[授業料等の設定]

授業料は、関西医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）と同様に、本博士後期課程についても年間 60 万円（前後期分納）とする。本課程の授業料は、本学と競合すると考える大学院の博士後期課程における授業料と比較したところ、高額順位では 9 大学中 6 番目となっている【資料 5】。

また、本課程において当該学生に対し特別研究への研究援助として年間 10 万円を研究費として支給する。

入学金及び検定料は、関西医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）と同様とし、入学金を 30 万円、検定料を 3 万円とする。

エ 学生確保の見通し

関西医療大学が令和 6 年度設置予定の関西医療大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程における学生確保の見通しを検討するために、入学意向に関するアンケート調査及び博士後期課程の学位取得者についての採用に関するアンケート調査を実施した。

アンケート調査の対象は、「入学意向に関するアンケート調査」については関西医療大学保健医療学部における外部の臨地実習先施設に勤務する医療従事者、本大学院修士課程修了生及び在校生（修士生、学部 4 年生）とし、「採用意向に関するアンケート調査」については同臨地実習先の採用担当者とした。

これらのアンケート調査の実施、集計及び分析については、調査の中立性と公平性を確保するため、第三者となる株式会社日本創造教育研究所に委託した。「入学意向に関するアンケート調査」は令和 4 年 7 月、「採用意向に関するアンケート調査」は令和 4 年 10 月に実施した。

A. 学生確保の見通しの調査結果

令和 6 年度に設置予定の博士後期課程における学生確保の見通しを測定するため、「入学意向についてのアンケート調査」（無記名式）を実施した【資料 6-1】【資料 6-2】【資料 6-3】【資料 6-4】【資料 6-5】。

当該アンケートは、既存の学部が関連する外部の臨地実習施設の医療従事者より 337 人（理学療法士 150 人、作業療法士 150 人、臨床検査技師 36 人、はり師・きゅう師 1 人）、本学修士課程修了生（44 人）と現在在籍している大学院生（16 人）、学部 4 年生（190 人）より回答を得ることができた。アンケートの集計結果は、以下のとおりである。

[医療従事者] 【資料 7-1】

博士の学位への興味・関心について、「大いにある」と「少しはある」を合算すると 41.6% を占める 140 人の回答となっている。（無回答 1 人）

また、博士後期課程への興味・関心については、「大いに興味・関心がある」と「興味・関心がある」といった積極的な回答を合算すると 19.4% を占める 65 人の回答となっている（無回答 2 人）。さらに、前述の博士後期課程への興味・関心を持った者で博士後期課程への入学意向の設問に対しては、現時点で直結する「入学を希望する」の回答者は無かったが、56.3%（無回答者 1 人除き 64 人で算出）を占める 36 人が「将来の入学先の対象となりえる」との回答を得ている。

なお、その 36 人に対して博士後期課程への興味・関心がある理由としては、63.9%（複数回答で算出）を占める 23 人より「専門家として高度な知識・技術を身につけたいから」との回答であった。

[本学修士課程修了生] 【資料 7-2】

博士の学位への興味・関心について、「大いにある」と「少しはある」を合算すると 70.5% を占める 31 人の回答となっている。

また、博士後期課程への興味・関心についても、「大いに興味・関心がある」と「興味・関心がある」といった積極的な回答を合算すると 71.4% を占める 30 人の回答となっている（無回答 2 人）。さらに、博士後期課程へ興味・関心がある理由として最も多くの回答は「専門家として高度な知識・技術を身につけたいから」が 53.3% を占める 16 人であった。

母校となる博士後期課程への入学意向の設問については、「入学を希望する」が 19.0%（8 人）と「将来の入学先の対象となりえる」が 23.8%（10 人）の回答であった。

[本学修士課程在校生] 【資料 7-3】

博士の学位への興味・関心について、「大いにある」と「少しはある」を合算すると 87.5% を占める 14 人の回答となっている。

また、本学博士後期課程への興味・関心についても、「大いに興味・関心がある」と「興味・関心がある」といった積極的な回答を合算すると 93.8% を占める 15 人の回答を得ている。さらに、博士後期課程へ興味・関心がある理由として最も多くの回答は「将来、教育者、

研究者になりたいから」で 53.3%を占める 8 人の回答となった。最後に、博士後期課程の入学意向については「入学を希望する」と「将来の入学先の対象となりえる」を合算すると 75.1%（12 人）の回答となっている。

[本学学部 4 年在校生]【資料 7-4】

現在、学部 4 年生（理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、はり灸・スポーツトレーナー学科）を対象に将来的な入学意向に関するアンケート調査を行ったところ、博士の学位への興味・関心について、「大いにある」と「少しはある」を合算すると 27.9%を占める 53 人の回答となっている。

また、本学博士後期課程への興味・関心についても、「大いに興味・関心がある」と「興味・関心がある」といった積極的な回答を合算すると 25.2%を占める 48 人の回答となっている。さらに、博士後期課程へ興味・関心がある理由として最も多くの回答は「専門家として高度な知識・技術を身につけたいから」で 61.7%を占める 29 人の回答となった（無回答 1 人）。最後に、博士後期課程の入学意向については「入学を希望する」と「将来の入学先の対象となりえる」を合算すると 18.2%（34 人）の回答となっている（無回答 3 人）。

以上の「入学意向に関するアンケート」調査結果から、博士後期課程入学定員 3 人を充足する学生の確保は十分に可能であると考ええる。

B. 新設学部等の分野の動向

前述したように、近畿圏での保健医療分野の博士後期課程を有する私立大学 4 大学では入学定員を充足しており、充足率が 2.5 倍を超える大学もある。博士課程への進路選択先を挙げ、入学希望者の要望に応じていく意味においても、保健医療分野での博士後期課程を本学に設置する意義は高いと考える。

また、今後ますます進行する高齢化社会においては、医療の高度化・複雑化等に伴い、保健医療分野における高度人材の果たす役割の重要性が高まるため、本学が位置する大阪府南部及び隣接する和歌山県において保健医療分野の博士後期課程を有しているのが和歌山県立医科大学大学院 保健看護学研究科のみであることを踏まえると、本学に保健医療分野の博士後期課程を設置することは地域医療への貢献の視点からも意義がある。特に、本学博士後期課程には、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、鍼灸師等の多くの保健医療関連職種に従事する学生が入学するため、大阪府南部及び和歌山県における保健医療の質の向上に貢献することが可能と考える。

C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

18 歳人口は 2018 年以降再び減少局面に突入しており、今後、2032 年には初めて 100 万人を割って約 98 万人となり、さらに 2040 年には約 88 万人にまで減少するという推計がある【資料 8】。また、リクルート進学総研の資料によれば、大阪府の 18 歳人口を 2020 年と 2032 年で比較すると、2020 年では 81,797 人であるが、2032 年では 68,997 人と 12,800 人減少すると予想されている【資料 9】。

このほかリクルート進学総研の資料による近畿エリアにおける 18 歳人口予測（2020～

2032 年) においては、2020 年 195,001 人から 2032 年 165,603 人と、12 年間で 29,398 人 (15.1%) 減少し、全国の減少率 12.3% を 2.8 ポイント上回ると予想されている。この間、2024 年には 175,501 人まで減少し 2025 年には 3,747 人増加するものの、その後再び減少に転じる。減少率が高いのは和歌山県 (2020 年比較 24.1% 減少)、減少数が多いのは大阪府 (2020 年 81,797 人から 2032 年 68,997 人、12,800 人減少) と予想されている。

なお、本学に入学する学生が比較的多い出身地域である大阪府、和歌山県、兵庫県の 2011 年から 2020 年までの進学率 (現役) の推移をみると、大阪府では 51.5% から 56.5% (5.0 ポイント上昇)、和歌山県では 42.4% から 46.7% (4.3 ポイント上昇)、兵庫県では 53.9% から 57.9% (4.0 ポイント上昇) となっている。

これらの資料から、本学への学部入学生数は漸減していくことが予想されるが、今後の進学率の上昇も見据えつつ学生確保に取り組んでいるところである。

しかし、博士後期課程への入学者は、保健医療分野での専門職として勤務し、既に保健医療分野の修士課程を修了した者である。このような高い志をもっている者が博士後期課程に入学するために、入学希望者は一定の割合で存在する。また、博士後期課程の入学定員が 3 人と少なく設定しているため 18 歳人口の低下に大きく影響されるとは考えにくい。本学の修士課程修了生のうち他大学の博士後期課程に進学している者はこれまで 11 人に上り、それらの修了生から母校に博士後期課程の設置を望む声が寄せられている。また、本学大学院修士課程の在校生は定員 18 人に対し 19 人であり、その中には博士後期課程を志望する学生も一定数見られるため定員 3 人の確保は可能と考える。

D. 競合校の状況

近畿圏内における本学が設置構想とする私立大学の同系研究科、課程及び専攻となる博士後期課程は、4 大学で入学定員数の総数は 13 人となっている。その入学定員数に対する令和 4 年度入学試験においての志願者総数は 27 人となっている。入学者総数は 23 人で入学定員充足率平均は 1.77 となる。

また、当該 4 大学のうち大阪府下に限定すると 1 大学のみとなり、入学定員 2 人に対して入学者は 2 人で定員を充足している。しかし、本学が位置する大阪府南部地域には同系の当該課程及び専攻が存在していないため、後述の (2) の②において示す本学臨地実習先の医療機関に実施した「採用意向に関するアンケート調査」の回答で「高度な臨床能力」や「高度な教育力」を期待する地域の中核医療施設の要請もあることから、本学の博士後期課程の設置は社会的ニーズを踏まえたものと考ええる。

E. 既設学部等の学生確保の状況

平成 23 年度に保健医療学研究科保健医療学専攻として改組した修士課程 (定員 9 人) については、安定的に定員を確保している。開学時の鍼灸学専攻から保健医療学専攻に改組したことで、特に関西医療大学の保健医療学部理学療法学科の卒業者 (理学療法士) の修士課程への入学志願者が増加した。その後、平成 25 年度保健医療学部に臨床検査学科を開設し当該学科の卒業生の修士課程への入学も含めて学生の確保は維持している。平成 23 年度の保健医療学専攻に改組後、現在 (令和 4 年度) までに 120 人の修了生を輩出している【資料 10】。これらの本学修士課程を修了生のうち、11 人がさらに専門家として高度な

知識・技術を身につけ教育者・研究者になる目標をもって医療系の博士の学位を取得するため、他大学の博士後期課程に進学し学位を取得している。また、既設学部（学士課程）については、18歳人口減少などの外部環境の影響もあり、志願者数は減少傾向にあるものの、大学全体としての定員充足率は令和元年度 1.05 倍、令和2年度 1.02 倍、令和3年度 1.00 倍、令和4年度 1.00 倍と継続して入学定員を確保している。歩留まりの悪化などから令和4年度において定員未充足となっていた、はり灸・スポーツトレーナー学科（定員充足率 0.84 倍）と作業療法学科（同 0.75 倍）の2学科についても、令和5年度は定員を確保できる見通しである【資料11】。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

保健医療学研究科保健医療学専攻 博士後期課程の学生確保に向けた取組としては、関西医療大学大学院修士課程の在学学生をはじめ、将来の進路選択肢として学部学生に対して、学部生の学修成果発表会及び修士課程の論文中間発表会において概要リーフレット及び競合する大学院博士後期課程の名称一覧を配付した上で学生に対し、本学における将来の博士後期課程の設置構想についてアナウンスしている【資料12】【資料13】。

具体的な活動としては、現行の本学大学院保健医療学研究科修士課程において主に研究指導教員を中心とした専任教員から、研究指導の際に大学院博士後期課程への興味・関心をもつように促すとともに、学部の臨地実習先への専任教員訪問時に勤務している医療従事者に対して設置趣旨、教育体制等の情報を提供し広報活動を積極的に行っている。また、大学院修士課程研究計画発表会、公開発表会の機会においても博士後期課程の設置構想を研究科長より伝え具体的に説明を行っている。

今後、さらに学内の修士及び学部在校生を対象として、4月開催のガイダンスにおいて、博士後期課程が養成する人材像の魅力や教育体制を伝え、継続的に進学希望者の確保を目指す。また、学外に対しても大学ホームページ上で情報発信を積極的に行うとともに、例年開催する学外の臨地実習施設の実習指導担当者を本学に招いた実習指導担当者会議においても広報活動を実施する。

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

大阪府における医療系の高等教育機関は本学が位置する大阪府南部の泉州地域には少なく、医療機関や保健福祉施設などにおいて医療スタッフの不足とこれらの人々をリードする指導的立場に立つ人材の不足を生み出している。本学大学院修士課程は、このような大阪府南部地域に貢献できる人材の育成を目的として設置し、修士課程を修了した者は保健医療機関においてチーム医療のリーダーとして各部門の管理指導者、大学機関の研究者、教育者として活躍している。修士課程での実績を発展させることのできる極めて高いレベルの専門職を育成するため、博士後期課程では、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職を養成することを第一の目的とする。また、大学機関等の研究者、教育者として活躍できる人材の育成も期待できる。

この目的を実現するために、博士後期課程の教育は、共通教育科目、専門教育科目、特別研究科目で構成している。全学生を対象とする共通教育科目では保健医療に関する基礎

知識、研究の具体的手法、研究に必要な統計手法、研究倫理の遵守事項について修得させ、専門教育科目、特別研究科目を履修するための知識・技術・倫理の基盤を築く。また、専門教育科目では、保健医療分野での主導的臨床専門職を育成するために必要な知識を用いて学際的な立場から研究活動を遂行することができるように設定した。専門的な分野をより深く追求して質の高い博士論文作成につなげることを目的とする。特別研究科目では、修了後に研究の自立と後進の育成ができることを目的とし、共通教育科目において学修した幅広い知識、高い倫理観を基礎に1年前期よりリサーチワークの学修を行う。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

大学院博士後期課程修了生の進路の確保とキャリアパスの多様化について、平成31年中央教育審議会大学分科会において、「博士課程修了生のキャリアパスについては、平成17年大学院答申において、「学生はもとより、大学、産業界等の各主体が、博士課程修了生は大学の研究者になることが当然という意識を改める必要がある。多様な進路の開拓を図るため、各大学院においては、幅広い知識・能力に裏打ちされた高度な専門性を培い、社会のニーズの変化に対応できる人材養成を行うよう、各種の取組が求められる」と提言されており、(中略)、我が国の将来に向けて博士課程修了生の高度な専門性や幅広い能力を多様な場で活用していくためには、(中略)、大学以外の場合や研究者以外の進路も拡大していくことが必要である」と提言されている【資料14】。

平成17年大学院答申においては、医療系大学院の博士後期課程について、「研究者のみならず医師や歯科医師など高度の専門性を必要とされる業務に必要な能力と研究マインドを涵養することも求められるようになってきており、医療系大学院が果たすべき機能は多様化している。」とも提言されている【資料15】。

このような提言を受け、令和4年12月開催の科学技術・学術審議会人材委員会においては、「博士人材のような高度専門人材は、引き続き研究の主たる担い手であるとともに、社会全体において様々な課題解決も牽引していく「社会のイノベーター」ともいえるべき存在として、今後組織の様々な場面での一層の活躍が期待されるものである。国、大学や研究機関等のアカデミア及び産業界が結束してこうした博士人材の育成・活用に取り組むべきである」と博士人材のキャリアパスについて論点整理が行われている【資料16】。また、令和5年3月8日に公表された中央教育審議会答申「次期教育振興基本計画について」において、「高度な専門的知識と倫理観を基礎に自ら考え行動し、新たな知及びそれに基づく価値を創造し、様々なセクターで活躍する高度な博士人材を育成する」、「博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大を図るなど、若手研究者がアカデミアのみならず産業界等の幅広い領域で活躍できるキャリアパスの展望を描けるようにすることで、優秀な若者が博士後期課程を志す環境を実現する」と提言されている【資料17】。

本学大学院保健医療学研究科博士後期課程の設置は、ますます高度化・複雑化・多様化する医療に不可欠な高度医療系博士人材を養成するものであり、これらの提言を踏まえたものであると考える。

博士後期課程の設置を検討するため、学外の臨地実習施設200施設（病院、介護保健施設、福祉施設等）の採用担当者を対象として博士後期課程修了生の「採用意向に関するアンケート調査」を実施し、74施設より回答を得た【資料18-1】【資料18-2】【資料19-1】

【資料 19-2】。

調査結果では、本学博士後期課程で養成する人材の採用に関する設問について、「本学の研究科博士後期課程が養成する人材はこれから社会にとって必要か」において「とても必要である」と「ある程度必要である」を合わせると、98.7%の 73 施設から回答があった。また、本学博士後期課程が養成する人材の採用に関して、「採用したい」が 21 施設と「採用を積極的に検討する」が 21 施設を合わせて 56.8%の 42 施設の回答であった。さらに、回答があった 42 施設において博士後期課程修了生の配置を望む理由では「職場における高度な臨床能力が期待できる」が最も高く（76.2%）、続いて「職場における高度な教育力が期待できる」（66.7%）であり、本学が養成する人材像と合致している。

このように、本大学院博士後期課程の設置については医療現場からのニーズもあり、採用に関しての見通しもあることがわかった。

関西医療大学 学則

第 1 章 総 則

（大学の目的）

第 1 条 本学は、教育基本法にのっとり、広く一般教養を高めるとともに、高い倫理観を養成し、より深い専門知識と技術を教授研究し、国民の保健に対する社会の要望に応える技術と能力を備えた人材の育成に努めることを目的とする。

（保健医療学部の目的）

第 1 条の 2 保健医療学部（本条において以下「本学部」という。）は、大学の目的にのっとり、保健医療に関わる医療人に求められる広い一般教養と高い倫理観を養成するとともに、より深い保健医療に関する専門知識と技術を教授研究し、保健医療に対する社会の要請に応える技術と能力を持つ人材の育成に努める。

2 本学部におく各学科の教育研究上の目的は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 本学部はり灸・スポーツトレーナー学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養と高い倫理観を養成し、より深い東洋医学系物理的治療に関する専門知識と技術を教授研究し、質の高い鍼灸医学系の人材の育成に努める。
- (2) 本学部理学療法学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養と高い倫理観を養成し、より深い理学療法に関する専門知識と技術を教授研究し、質の高い理学療法士の人材の育成に努める。
- (3) 本学部作業療法学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養と高い倫理観を養成し、より深い作業療法に関する専門知識と技術を教授研究し、質の高い作業療法学系の人材の育成に努める。
- (4) 本学部ヘルスプロモーション整備学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養と高い倫理観を養成し、保健と柔道整備に関する専門知識と技術を教授研究し、質の高い保健医療学系の人材の育成に努める。
- (5) 本学部臨床検査学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養・高い倫理観と高度な専門知識・技術をもとに臨床検査を遂行し、チーム医療の一員として社会に役立つ使命感を持った人材の育成に努める。

（保健看護学部の目的）

第 1 条の 3 保健看護学部（本条において以下「本学部」という。）は、大学の目的にのっとり、保健看護に関わる医療人に求められる広い一般教養と高い倫理観を養成するとともに、より深い保健看護に関する専門知識と技術を教授研究し、保健看護に対する社会の要請に応える技術と能力を持つ人材の育成に努める。

2 本学部保健看護学科は、前項の目的にのっとり、広い一般教養、豊かな人間性、及び高い倫理観を養成し、保健看護に関するより深い専門知識と技術を教授研究し、保健看護の実践・教育・研究など広い分野で活躍できる質の高い人材の育成に努める。

（自己点検・評価）

第 2 条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価を行うため、本学に自己点検・評価委員会を置く。

3 自己点検・評価委員会に関して必要な事項は別に定める。

（個人情報の保護）

第 3 条 学生が本学に届け出た氏名、住所等の情報並びに在学中の記録等（以下「個人情報」という。）は、本学が行う教育及び学生サービス等以外の目的に利用してはならない。

2 個人情報は、本人の同意がある場合もしくは別に定める例外の場合を除いて、第三者に開示してはならない。

第 2 章 学科、学生定員及び修業年限

（学部、学科及び学生定員）

第 4 条 本学において設置する学部、学科及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
保健医療学部	はり灸・スポーツトレーナー学科	50名	200名
	理学療法学科	60名	240名
	作業療法学科	40名	160名
	ヘルスプロモーション整備学科	40名	160名
	臨床検査学科	60名	240名
保健看護学部	保健看護学科	90名	360名

(修業年限及び在学年限)

第 5 条 本学の修業年限は、4 年とする。

2 学生は、8 年を超えて在学することはできない。ただし、編入学、再入学又は転入学した学生は、その者の在学すべき年数の 2 倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第 3 章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第 6 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(学 期)

第 7 条 学年を次の 2 学期に分ける。

前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(休 業 日)

第 8 条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 「国民の祝日に関する法律」(昭和 23 年法律第 178 号)に定める休日

(3) 創立記念日 10 月 27 日

(4) 夏期休業日 8 月 5 日から 9 月 15 日まで

(5) 冬期休業日 12 月 21 日から翌年 1 月 10 日まで

(6) 春期休業日 3 月 21 日から 3 月 31 日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第 1 項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第 4 章 入学、退学及び休学

(入学の時期)

第 9 条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第 10 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(7) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 18 歳に達した者

(入学の出願)

第 11 条 本学に入学を志願する者は、本学所定の入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類

を添えて願い出なければならない。

2 提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第12条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第13条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金等を納付しなければならない。

2 入学手続きの際に、保証人を届け出るものとする。

3 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第14条 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第2項又は同第177条に規定する者

(4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。以下同じ。）を修了した者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

(再入学、転入学)

第15条 本学に再入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

(退学)

第16条 退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(休学)

第17条 学生は疾病その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができないときは、学長に届け出て休学することができる。

2 疾病を理由とする休学届には医師の診断書を添付しなければならない。

3 疾病その他特別の理由により修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第18条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の理由がある場合は、引き続き更に1年まで延長することができる。

2 休学の期間は通算して2年を超えることができない。

3 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

(復学)

第19条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第20条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

(1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者

(2) 第18条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 長期間にわたり行方不明の者

(5) 在学中に死亡した者

第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第21条 教育課程及び履修方法は別表第1のとおりとする。

2 学生は、他学部又は他学科の授業科目を履修して、修得した科目の単位を卒業に必要な単

位に算入することができる。

（授業の方法）

第22条 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業を、多様なメディアを利用して行う必要があるときは、あらかじめ指定した日時に、パーソナルコンピュータその他双方向の通信手段により行うことができる。

3 前項の授業は、教室等以外の場所で行うことができる。

4 第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

5 第2項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

（単位の計算方法）

第23条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

（単位の授与）

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、配当学年ごとに所定の単位を与える。

（学修の評価）

第25条 試験等の評価はS、A、B、C、Dをもって表わし、C以上を合格とする。

（他大学等における授業科目の履修等）

第26条 教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、60単位を超えないこととする。

（大学以外の教育施設等における学修）

第27条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、前条により本学において修得したものと認定する単位数とあわせて60単位を超えないこととする。

（入学前の既取得単位の認定）

第28条 教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学等において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を、本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、60単位を超えないこととする。

（本学以外での履修の許可）

第29条 学生が第26条又は第27条により本学以外において授業科目の履修を希望するときは、学長の許可を得なければならない。

（本学以外で修得した科目及び単位の取り扱い）

第30条 本学以外において修得した科目及び単位の取り扱いについては、別に定める。

第6章 卒業等

（卒業）

第31条 本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者については、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

（学位）

第32条 卒業した者には、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

保健医療学部	はり灸・スポーツトレーナー学科	学士（鍼灸学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	ヘルスプロモーション整備学科	学士（保健医療学）
	臨床検査学科	学士（保健衛生学）
保健看護学部	保健看護学科	学士（看護学）

第 7 章 検定料、入学金、授業料その他の費用

（検定料等の金額）

第 3 3 条 本学の検定料、入学金、授業料等の金額は別表第 2 のとおりとする。

（授業料等の納入期）

第 3 4 条 授業料等は別表第 2 に定める期日までに納入しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、延納を認めることがある。

（退学及び停学の場合の授業料等）

第 3 5 条 学期の途中で退学し又は除籍された者の当該期分の授業料等は徴収する。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

（休学の場合の授業料等）

第 3 6 条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学した月の前月までの授業料等を免除する。

2 ただし、在籍料を徴収することとし、その金額は別表第 3 のとおりとする。

（復学の場合の授業料等）

第 3 7 条 学期の中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料等を復学した月に納付しなければならない。

2 休学期間が 1 年を超えて復学した者に係る授業料等の額は、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

（学年の途中で卒業する見込みの者の授業料等）

第 3 8 条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

（納付した授業料等）

第 3 9 条 納付した検定料、入学金及び授業料等は原則として返付しない。

第 8 章 教職員組織

（教職員組織）

第 4 0 条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員、技術職員、その他の職員を置く。

2 本学に必要な応じて副学長を置くことができる。

第 9 章 大学運営会議及び教授会

（大学運営会議）

第 4 1 条 本学に大学運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

2 運営会議は、教学における内部質保証のための基本方針と大学運営に関する重要事項について審議する。

3 運営会議の組織及び運営に関して必要な事項は学長が別に定める。

（教授会）

第 4 2 条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、当該学部の学部長及び当該学部の教授をもって組織する。

3 教授会の構成には、必要に応じ、教授以外の教職員を加えることができる。

4 学長は、教育研究に関する次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり、当該学部教授会の意見を聴くものとする。

(1) 学生の入学及び卒業

(2) 学位の授与

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項につい

て、意見を述べることができる。

- 6 教授会は、第4項に規定するもののほか、学長の指示する事項に対し、速やかに意見を述べなければならない。
- 7 学長が必要と認めた場合は、学部合同の教授会及び特別教授会を開催することができる。
- 8 教授会の組織及び運営に関して必要な事項は学長が別に定める。

第10章 科目等履修生、外国人留学生及び研究生

(科目等履修生)

- 第43条 本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、科目等履修生として学長が許可することがある。
- 2 科目等履修生の学費は別表第4のとおりとする。
 - 3 科目等履修生に関して必要な事項は別に定める。

(外国人留学生)

- 第44条 外国人で、大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として学長が入学を許可することがある。
- 2 外国人留学生について必要な事項は別に定める。

(研究生)

- 第45条 本学において特定の事項について研究しようとする者があるときは、選考の上、研究生として学長が許可することがある。
- 2 研究生に関して必要な事項は別に定める。

第11章 賞 罰

(表彰)

- 第46条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。

(罰則)

- 第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。
- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
 - 3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
 - 4 学生の懲戒に関して必要な事項は別に定める。

第12章 厚生及び保健

(保健室及び厚生施設)

- 第48条 本学に保健室及び学生の厚生に関する施設を置く。

(健康診断)

- 第49条 職員及び学生のため、毎年1回以上健康診断を行う。

第13章 附属施設

(附属施設)

- 第50条 本学に、次の附属施設を置く。
- (1) 附属図書館
 - (2) 附属保健医療施設
 - 2 前項各号に掲げる附属施設に関する規程は学長が別に定める。

第14章 奨学制度

(奨学制度)

- 第51条 学長は、学業及び人格が特に優秀な学生に対して、学費の減免又は貸与等の特典を与えることがある。

附 則

1. この学則は平成15年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成18年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成19年4月1日から施行する。
2. 平成18年4月1日以前の入学者が、平成19年4月1日以降施行の学則別表第1により履修する場合の学生納付金は、平成19年4月1日施行の学則別表第2の金額とする。

附 則

1. この学則は平成20年4月1日から施行する。
2. 改正後の別表第1（教育課程）の「1. 保健医療学部鍼灸学科」の規定は、平成20年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成19年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

1. この学則は平成21年4月1日から施行する。ただし、第1条及び第1条の2は、平成20年4月1日から施行する。
2. 平成21年度から平成23年度までの学生定員は、第4条の規定にかかわらず次のとおりとする。

学部	学科	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
保健医療学部	鍼灸学科	100名	—	400名	100名	—	400名	100名	—	400名
	理学療法学科	40名	—	120名	40名	—	160名	40名	—	160名
	ヘルスプロモーション整備学科	40名	—	80名	40名	—	120名	40名	—	160名
保健看護学部	保健看護学科	80名	—	80名	80名	—	160名	80名	8名（3年次）	248名

附 則

1. この学則は平成22年4月1日から施行する。
2. 改正後の別表第2（学生納付金）の「1. 保健医療学部 鍼灸学科」の規定は、平成22年4月1日以降の1年次入学者から適用する。

附 則

1. この学則は平成24年4月1日から施行する。
2. 改正後の第1条の2第2項第1号、第4条、第32条、別表第1（教育課程）の「1. 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科」、別表第2（学生納付金）の「1. 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科」の規定は、平成24年4月1日以降の1年次入学者から適用する。
3. 平成24年度から平成26年度までの学生定員は、第4条の規定にかかわらず次のとおりとする。

学部	学科	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		入学	編入学	収容	入学	編入学	収容	入学	編入学	収容

		定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員
保健医療学部	鍼灸学科/はり灸・スポーツトレーナー学科	50名	—	350名	50名	—	300名	50名	—	250名
	理学療法学科	40名	—	160名	40名	—	160名	40名	—	160名
	ヘルスプロモーション整復学科	40名	—	160名	40名	—	160名	40名	—	160名
保健看護学部	保健看護学科	80名	8名 (3年次)	336名	80名	8名 (3年次)	336名	80名	8名 (3年次)	336名

4. 改正後の別表第1（教育課程）の「1. 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科」、
「4. 保健看護学部 保健看護学科」、別表第2（学生納付金）の規定は、平成24年4月1日以降の1年次入学者から適用する。

附 則

- この学則は平成25年4月1日から施行する。
- 改正後の別表第1（教育課程）の「1. 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科」の規定は、平成25年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成24年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

- この学則は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 改正後の別表第1（教育課程）の「3. 保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科」の規定は、平成27年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成26年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年度から平成29年度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
保健医療学部	はり灸・スポーツトレーナー学科	50名	200名	50名	200名	50名	200名
	理学療法学科	60名	180名	60名	200名	60名	220名
	ヘルスプロモーション整復学科	40名	160名	40名	160名	40名	160名
	臨床検査学科	50名	150名	50名	200名	50名	200名
保健看護学部	保健看護学科	90名	338名	90名	340名	90名	350名

附 則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。
2. 平成25年4月1日施行の附則2.の「教授会が特に必要と認めた授業科目については」を、「学長が特に必要と認めた授業科目については」に読み替える。

附 則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。
2. 改正後の別表第1（教育課程）の「4. 保健医療学部 臨床検査学科」の規定は、平成28年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、学長が特に必要と認めた授業科目については、平成27年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

1. この学則は、平成30年4月1日から施行する。
2. 平成30年度から平成32年度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
保健医療学部	はり灸・スポーツトレーナー学科	50名	200名	50名	200名	50名	200名
	理学療法学科	60名	240名	60名	240名	60名	240名
	作業療法学科	40名	40名	40名	80名	40名	120名
	ヘルスプロモーション整復学科	40名	160名	40名	160名	40名	160名
	臨床検査学科	60名	210名	60名	220名	60名	230名
保健看護学部	保健看護学科	90名	360名	90名	360名	90名	360名

3. 改正後の別表第1（教育課程）の「1. 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科」「4. 保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科」「5. 保健医療学部 臨床検査学科」の規定は、平成30年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、学長が特に必要と認めた授業科目については、平成29年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

1. この学則は、令和2年4月1日から施行する。
1. 改正後の別表第1（教育課程）の「2. 保健医療学部 理学療法学科」および「3. 保健医療学部 作業療法学科」の規定は、令和2年4月1日以降の1年次入学者から適用する。ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、学長が特に必要と認めた授業科目については、令和元年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

1. この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、令和4年10月1日から施行する

関西医療大学大学院 学則

第 1 章 総 則

（目 的）

第 1 条 関西医療大学大学院（以下「本大学院」という。）は、保健医療に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、国民保健の進展に寄与することを目的とする。

（自己点検・評価）

第 2 条 本大学院は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価を行うため、自己点検・評価委員会を置く。

3 自己点検・評価委員会に関して必要な事項は別に定める。

（個人情報の保護）

第 3 条 学生が本大学院に届け出た氏名、住所等の情報並びに在学中の記録等（以下「個人情報」という。）は、本大学院が行う教育及び学生サービス等以外の目的に利用してはならない。

2 個人情報は、本人の同意がある場合もしくは別に定める例外の場合を除いて、第三者に開示してはならない。

第 2 章 組織及び収容定員

（研究科・課程）

第 4 条 本大学院に保健医療学研究科（以下、「本研究科」とする。）を置く。

2 本研究科には修士課程及び博士後期課程を置く。

3 修士課程は、高い倫理観に基づく行動力及び保健医療分野で学士を修めた者としての責任感と判断力に基づき、広い視野に立って保健医療分野の専門領域を研究するための実践力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、修士課程で修得した資質と能力に基づき、保健医療分野の主導的専門職としての高い倫理観のもとで主体的に研究活動を行い、保健医療の各分野を牽引するリーダーシップと後進の指導を担える研究実践力を養うことを目的とする。

（専攻等）

第 5 条 本研究科に次に掲げる専攻を置く。

修士課程 保健医療学専攻

博士後期課程 保健医療学専攻

2 専攻の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

研 究 科	課 程 ・ 専 攻	入 学 定 員	収 容 定 員
保健医療学研究科	修士課程 保健医療学専攻	9 名	18 名
	博士後期課程 保健医療学専攻	3 名	9 名

（修業年限及び在学年限）

第 6 条 本大学院に置く修士課程の修業年限は、2 年とする。

2 本研究科は、学生が職業を有している等の事情により、前項に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、学長の承認を得て、その計画的な履修を認めることができる。

3 本大学院には休学期間を除いて 4 年を超えて在学することができない。ただし、前項の規定により、長期にわたる教育課程の履修を認められた者の在学期間は、その認められた期間に 2 年を加えた年数を超えることができないものとする。

第 7 条 本大学院に置く博士後期課程の修業年限は、3 年とする。

2 本研究科は、学生が職業を有している等の事情により、前項に規定する標準修業年限を超え

て一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、学長の承認を得て、その計画的な履修を認めることができる。

- 3 本大学院には休学期間を除いて6年を超えて在学することができない。ただし、前項の規定により、長期にわたる教育課程の履修を認められた者の在学期間は、その認められた期間に3年を加えた年数を超えることができないものとする。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を分けて、次の2学期とする。

(1) 前期 4月1日から9月30日まで

(2) 後期 10月1日から3月31日まで

(休業日)

第10条 学年中定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律第178号)に定める休日

(3) 創立記念日 10月27日

(4) 夏期休業日 8月5日から9月15日まで

(5) 冬期休業日 12月21日から翌年1月10日まで

(6) 春期休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、退学、留学及び休学

(入学の時期)

第11条 本大学院の入学の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第12条 本研究科修士課程に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条の大学(以下「大学」という。)を卒業した者

(2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第1項第4号又は5号の規定により文部科学大臣が指定した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

第13条 本研究科博士後期課程に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 修士の学位または専門職学位を有する者、および入学の前年度末までに取得見込みの者。

(2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および入学の前年度末までに取得見込みの者。

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および入学の前年度末までに取得見込みの者。

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および入学の前年度末までに取得見込みの者。

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、および入学の前年度末までに取得見込みの者。

(6) 文部科学大臣の指定した者。

(7) 本大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に満24歳に達する者。

(入学の出願)

第14条 本大学院に入学を志願する者は、本大学院所定の入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

2 提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第15条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学の許可)

第16条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本大学院所定の書類を提出するとともに、所定の入学金等を納付しなければならない。

2 入学手続の際に、保証人を届け出るものとする。

3 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(転入学、再入学等)

第17条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者で、本大学院に入学することを志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考により、相当年次に入学を許可することができる。

(1) 他の大学院に在学している者

(2) 本大学院を退学し、又は除籍された者で、復学の意思のある者

2 前項の選考に関し必要な事項は、学長が別に定める。

3 第1項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

(留 学)

第18条 外国の大学院等で修学することを志願する者は、学長に届け出て留学することができる。

2 前項の規定により留学して修得した単位の取扱いについては学長が定める。

3 第1項の規定により留学した期間は、第4条に規定する在学期間に算入することができる。

(退 学)

第19条 病気その他のやむを得ない理由により退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(休 学)

第20条 疾病その他やむを得ない理由により、引き続き2か月以上修学することができない者は、学長に届け出て休学することができる。

2 疾病を理由とする休学届には医師の診断書を添付しなければならない。

3 学長は、疾病その他の理由により修学することが適当でないと認められる者に対して、休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第21条 休学の期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の理由があると認める場合は、引き続き更に1年まで延長することができる。

2 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。

3 休学の期間は、第6条第3項及び第7条第3項の在学年限に算入しない。

(復 学)

第22条 休学期間が満了した者は、学長の許可を得て、復学することができる。

2 休学期間中にその理由が消滅した者は、学長の許可を得て、復学することができる。

(転 学)

第23条 本大学院から他の大学院に転学しようとする者は学長に届け出なければならない。

(除 籍)

第24条 次の各号のいずれかに該当する者があるときは、学長が除籍する。

(1) 第6条第3項及び第7条第3項に定める在学年限を超えた者

(2) 第21条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 行方不明となった者

(5) 死亡した者

第 5 章 教育課程、履修方法等

(授業及び研究指導)

- 第 2 5 条 本大学院における教育は、授業科目の授業及び修士論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。
- 2 前項の授業を、多様なメディアを利用して行う必要があるときは、あらかじめ指定した日時に、パーソナルコンピュータその他双方向の通信手段により行うことができる。
 - 3 前項の授業は、教室等以外の場所で行うことができる。
 - 4 第 2 項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(授業科目)

- 第 2 6 条 授業科目については、別表第 1 及び別表第 2 に定める。

(履修単位)

- 第 2 7 条 本研究科修士課程の学生は、所定の期間に授業科目のうち 3 2 単位以上履修しなければならない。
- 2 本研究科博士後期課程の学生は、所定の期間に授業科目のうち 2 0 単位以上履修しなければならない。
 - 3 第 1 項及び第 2 項に定めるほか、授業科目の履修方法及び単位認定等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の基準)

- 第 2 8 条 授業科目の単位は、次の各号に定めるとおりとする。
- (1) 講義及び演習については、1 5 時間から 3 0 時間までの範囲で学長が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、3 0 時間から 4 5 時間までの範囲で学長が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
 - 2 前項の規定に関わらず、特別研究等の授業科目については、これに必要な学修などを考慮して、時間数を定める。

(単位の認定)

- 第 2 9 条 授業科目の単位認定は、試験の成績又は研究の報告などにより科目担当者が行い、合格した科目については所定の単位を与える。

(学修の評価)

- 第 3 0 条 試験等の評価は S、A、B、C、D をもって表わし、C 以上を合格とする。

(他大学大学院における授業科目の履修等)

- 第 3 1 条 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学院との協議に基づき学生が当該他大学院において履修した授業科目について修得した単位を 1 5 単位を限度として本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定は、学生が外国の大学院に留学する場合に準用する。

(入学前既修単位等の認定)

- 第 3 2 条 学生が本大学院に入学する以前に大学院又は他の大学院（外国の大学院を含む）において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を学長が教育上有益と認めるときは、1 5 単位を限度として本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項により認定できる単位数は、前条において本大学院において修得したものと認定する単位数と合わせて 2 0 単位を超えないこととする。

第 6 章 課程の修了及び学位授与

(修了の要件)

- 第 3 3 条 学長は、本研究科修士課程の修了要件として、本大学院に 2 年以上在学し、第 2 7 条第 1 項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、修士課程の修了を認定する。
- 2 学長は、本研究科博士後期課程の修了要件として、本大学院に 3 年以上在学し、第 2 7 条第 2 項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、博士後期課程の修了を認定する。
 - 3 学位を授与するための論文審査、最終試験等の実施に必要な事項については、別に定める。

(学 位)

第34条 学長は、前条第1項の規定により修士課程の修了を認定した者に対し、修士（保健医療学）の学位を授与する。

2 学長は、前条第2項の規定により博士後期課程の修了を認定した者に対し、博士（保健医療学）の学位を授与する。

第7章 検定料、入学金、授業料及びその他の費用

(検定料などの金額)

第35条 検定料、入学金及び授業料の額は、別表第3に定めるとおりとする。

(検定料、入学金及び授業料)

第36条 学生、科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び外国人留学生は、授業料等を別表第3に定める期日までに納めねばならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、延納を認めることがある。

2 退学、停学、休学及び復学の場合の授業料等と納付した授業料等については、大学学則第35条から第39条までの規定を準用する。

第8章 運営組織

(大学運営会議)

第37条 この規則に定めるもののほか、本大学院の内部質保証及び管理運営に関する重要な事項は、学長が別に定める大学運営会議において審議する。

(大学院教授会)

第38条 研究科における教育研究上の重要な事項を審議するため、大学院教授会を置く。

2 大学院教授会は研究科長及び研究科の教授をもって組織する。

3 前項の規定にかかわらず、研究科長が必要と認めたときは、大学院教授会に、その他の教職員を加えることができる。

4 その他、必要のあるときは、研究科長は、大学院教授会の構成員以外の者に対して、大学院教授会の会議に出席し、意見を陳述させることができる。

5 学長は、教育研究に関する次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり、大学院教授会の意見を聴くものとする。

(1) 学生の入学及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について、意見を述べることができる。

7 教授会は、第5項に規定するもののほか、学長の指示する事項に対し、速やかに意見を述べなければならない。

8 本条に規定するもののほか、大学院教授会に関し必要な事項は、学長が別に定める。

(研究科長)

第39条 本大学院に研究科長を置く。

2 研究科長は、学長の命を受け、研究科内の教育及び研究に関する校務をつかさどる。

(副研究科長)

第40条 本大学院に必要に応じて副研究科長を置くことができる。

第9章 科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び研究生

(科目等履修生)

第41条 学長は、本大学院の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生には、単位を与えることができる。

3 科目等履修生の学費は別表第4のとおりとする。

4 前2項に規定するもののほか、科目等履修生に必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第42条 学長は、他の大学院の学生で本大学院の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があると

きは、当該大学院との協議に基づき、特別聴講学生として許可することができる。

2 前項に規定するもののほか、特別聴講学生に必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第43条 学長は、外国人で、大学院において教育を受ける目的をもって入国し、本大学院に入学することを志願するものがあるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項に規定するもののほか、外国人留学生に必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第44条 学長は、本大学院以外の者で本大学院において特定の専門事項について研究しようとする者があるときは、本大学院の教育又は研究に支障のない限り、選考の上、研究生として許可することができる。

2 研究生の研究期間は、原則として1年以内とする。

3 前項の研究期間を超えて、なお研究を継続しようとする場合は、事情により許可することができる。

4 前3項に規定するもののほか、研究生に必要な事項は、別に定める。

第10章 賞 罰

(表彰)

第45条 学長は、表彰に値する行為のあったときは、その者を表彰することができる。

(懲戒)

第46条 学長は、この規則その他本大学院の定める諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした学生を懲戒することができる。

2 懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みのないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席が常でない者

(4) 本大学院の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 学生の懲戒に関して必要な事項は別に定める。

附 則

1. この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

2. 保健医療学研究科鍼灸学専攻は、この学則による改正後の関西医療大学大学院学則（以下「新学則」という。）第2条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

この場合において、当該専攻に在学する者に係る教育課程その他の修了に係る要件及び学位は、新学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成29年4月1日から施行する。

2. 改正後の別表第1（授業科目）の規定は、平成29年4月1日以降の1年次入学者から適用する。
ただし、改正後の別表第1に掲げる授業科目のうち、学長が特に必要と認めた授業科目については、平成28年度以前の入学者に対しても履修することを認めることがある。

附 則

1. この学則は令和3年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は令和4年10月1日から施行する。

附 則

1. この学則は令和6年4月1日から施行する。

競合校の入学試験の状況(令和4年度)

大学名	研究科名 (博士後期課程)	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員 充足率
京都橘大学	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	3	7	6	4	3	1.00
森ノ宮医療大学	保健医療学研究科 博士後期課程	医療科学	2	2	2	2	2	1.00
神戸学院大学	総合リハビリテーション研究科 博士後期課程	医療リハビリテー ション学	3	8	8	8	8	2.66
畿央大学	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	5	10	10	10	10	2.00

関西医療大学大学院修了生の博士課程への進学者数

大学院名称	進学者数(人)
金沢大学大学院	4
三重大学大学院	1
青森県立保健大学大学院	4
日本医科大学大学院	1
鈴鹿医療科学大学大学院	1
総 数	11

競合校との学生納付金比較

大学名	研究科名 (博士後期課程)	専攻	定員	入学金	授業料（年額）	その他	初年次合計
鈴鹿医療科学大学	医療科学研究科 博士後期課程	医療科学	5	200,000	680,000	—	880,000
京都橘大学	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	3	200,000	400,000	125,000	725,000
明治国際医療大学	鍼灸学研究科 博士後期課程	鍼灸学	4	300,000	800,000	—	1,100,000
大阪電気通信大学	医療福祉工学研究科 博士後期課程	医療福祉工学	5	100,000	1,050,000	—	1,150,000
関西福祉科学大学	社会福祉学研究科 博士後期課程	臨床福祉学	3	200,000	700,000	100,000	1,000,000
森ノ宮医療大学	保健医療学研究科 博士後期課程	医療科学	2	300,000	700,000	—	1,000,000
神戸学院大学	総合リハビリテーション研究科 博士後期課程	医療リハビリ テーション学	3	200,000	506,000	154,000	860,000
畿央大学	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	5	190,000	500,000	250,000	940,000
関西医療大学	保健医療学研究科 博士後期課程（仮称）	保健医療学	3	300,000	600,000	—	900,000

令和4年7月11日

○ ○
臨床検査 臨床実習責任者 様

関西医療大学
学 長 吉 田 宗 平
大学院科長 鈴 木 俊 明

大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学学生に対する臨床実習に関しまして、多大なるご指導ならびにご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では令和6年4月の開設を目標に、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職および研究者を養成することを目的として、大学院博士後期課程の設置申請に向けた準備を進めております。

この度、設置申請に当たって必要な「大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本学学生の臨床実習をご指導いただいている先生方（理学療法士・作業療法士・臨床検査技師等）に、下記のとおり本アンケート調査にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート調査結果は、設置申請に当たっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

本アンケート調査にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. ご送付資料

- ・ 関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程の設置構想（概要）
- ・ 大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）
〔アンケート調査用紙添付〕
- ・ 関西医療大学 大学院（修士課程）学校案内 2023

2. アンケート調査ご回答期限

令和4年9月12日（月）

3. 調査対象者

臨床実習指導者 **3名程度**（理学療法士、作業療法士、臨床検査技師等）

〈担 当〉 関西医療大学 事務局 教学部（野口）
〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 1-11-1
TEL：072-453-8251（代表） / E-mail：noguchi@kansai.ac.jp

令和 4 年 7 月 11 日

○ ○
○ ○病院
院長 ○ ○ 様

関西医療大学

学 長 吉 田 宗 平
大学院科長 鈴 木 俊 明

大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学の運営につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では令和 6 年 4 月の開設を目標に、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職および研究者を養成することを目的として、大学院博士後期課程の設置申請に向けた準備を進めております。

この度、設置申請に当たって必要な「大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

つきましては、貴院の医療従事者（臨床実習指導者：理学療法士・作業療法士・臨床検査技師等）の先生方に、下記のとおり本アンケート調査にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート調査結果は、設置申請に当たっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

本アンケート調査にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、貴院の医療従事者様には、別途アンケート用紙を送付させていただきますことを併せてお願い申し上げます。

謹白

記

1. ご送付資料

- ・ 関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程の設置構想（概要）
- ・ 大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）
〔アンケート調査用紙添付〕

- ・ 関西医療大学 大学院（修士課程）学校案内 2023

2. アンケート調査ご回答期限

令和 4 年 9 月 12 日（月）

3. 調査対象者

貴院の医療従事職員 3 名程度（理学療法士、作業療法士、臨床検査技師等）

＜担 当＞ 関西医療大学 事務局 教学部（野口）
〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 1-11-1

TEL：072-453-8251（代表） / E-mail:noguchi@kansai.ac.jp

令和4年7月11日

○ ○
理事長 ○ ○ 様

関西医療大学
学 長 吉 田 宗 平
大学院科長 鈴 木 俊 明

大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学の運営につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では令和6年4月の開設を目標に、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職および研究者を養成することを目的として、大学院博士後期課程の設置申請に向けた準備を進めております。

この度、設置申請に当たって必要な「大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

つきましては、貴院の医療従事者（臨床実習指導者：理学療法士・作業療法士・臨床検査技師等）の先生方に、下記のとおり本アンケート調査にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート調査結果は、設置申請に当たっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

本アンケート調査にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、貴院の医療従事者様には、別途アンケート用紙を送付させていただきますことを併せてお願い申し上げます。

謹白

記

1. ご送付資料

- ・ 関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程の設置構想（概要）
- ・ 大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査について（ご依頼）
〔アンケート調査用紙添付〕

- ・ 関西医療大学 大学院（修士課程）学校案内 2023

2. アンケート調査ご回答期限

令和4年9月12（月）

3. 調査対象者

貴院の医療従事職員 **3名程度**（理学療法士、作業療法士、臨床検査技師等）

〈担 当〉 関西医療大学 事務局 教学部（野口）
〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 1-11-1

TEL：072-453-8251（代表） / E-mail:noguchi@kansai.ac.jp

関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程（設置構想中）

大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査（お願い）

現在、関西医療大学大学院では、令和6年4月の開設を目標に、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職および研究者を養成することを目的として、大学院博士後期課程の設置申請に向けた準備を進めております。

この度、設置申請に当たって必要な「大学院博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本学大学院生及び修了生の方々（理学療法士・作業療法士・臨床検査技師等）に、下記のとおり本アンケート調査にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート調査結果は、設置申請に当たっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

本アンケート調査にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ 恐れ入りますが、該当する項目に○印をお願い申し上げます。

回答期限：9月12日（月）

問1：対象者

1. 関西医療大学大学院修士課程の在学生
2. 関西医療大学大学院修士課程の修了者
3. 関西医療大学在学生（4年生）

問2：年齢

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. その他

問3：住所

1. 大阪市内
2. 大阪府（大阪市以外）
3. 関西圏（大阪府以外）
4. その他（ ）

問 4：有する資格（見込みを含む）

1. 理学療法士
2. 作業療法士
3. 臨床検査技師
4. はり師・きゅう師
5. 柔道整復師
6. 看護師
7. その他（ ）

問 5：博士の学位への興味・関心

1. 大いにある
2. 少しある
3. 全くない
4. 現時点ではわからない

問 6：関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心

1. 大いに興味・関心がある
2. 興味・関心がある
3. あまり興味・関心がない
4. 全く興味・関心がない

問 7：問 6 で 1 または 2 と答えた方へ 関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由

1. 専門家として高度な知識・技術を身につけたいから
2. 新しい視点からの研究ができそうだから
3. 将来、教育者、研究者になりたいから
4. 保健医療学はもともと興味のある研究分野だから
5. 保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから

問 8：関西医療大学大学院博士後期課程の入学意向

1. 入学を希望する
2. 将来の入学先の対象となりえる
3. 入学先としては考えない
4. わからない

質問は以上となります、ご協力誠にありがとうございました。

◆ 恐れ入りますが、該当する項目に○印をお願い申し上げます。

—08-學生確保(資料)—26—

問 5.[有する資格]

1. 理学療法士
2. 作業療法士
3. 臨床検査技師
4. はり師・きゅう師
5. 柔道整復師
6. 看護師
7. その他（ ）

問 6.[最終学歴]

1. 学士（大学卒業）
2. 学士（大学卒業見込み）
3. 修士（修士課程修了）
4. 修士（修士課程修了見込み）
5. その他（専門学校など）

問 7.[博士の学位への興味・関心]

1. 大いにある
2. 少しはある
3. 全くない
4. わからない

問 8.[関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心]

1. 大いに興味・関心がある
2. 興味・関心がある
3. あまり興味・関心がない
4. 全く興味・関心がない

問 9.問 8 で 1 又は 2 と答えた方へ [関西医療大学大学院博士後期課程について]

1. 入学を希望する
2. 将来の入学先の対象となりえる
3. 入学先として考えない
4. わからない

問 10.問 9 で 1 又は 2 と答えた方へ

【関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由】

1. 専門家として高度な知識・技術を身につけたいから
2. 新しい視点からの研究ができそうだから
3. 保健医療学はもともと興味のある研究分野だから
4. 保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから
5. 業務を遂行するうえで、今の自分知識や能力では不十分と考えているから

問 11.関西医療大学大学院博士後期課程（設置構想中）に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。



質問は以上となります、ご協力誠にありがとうございました。

関西医療大学大学院「博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」
(仮称)
結果報告書
(医療従事者対象調査)

令和4年10月
株式会社日本創造教育研究所

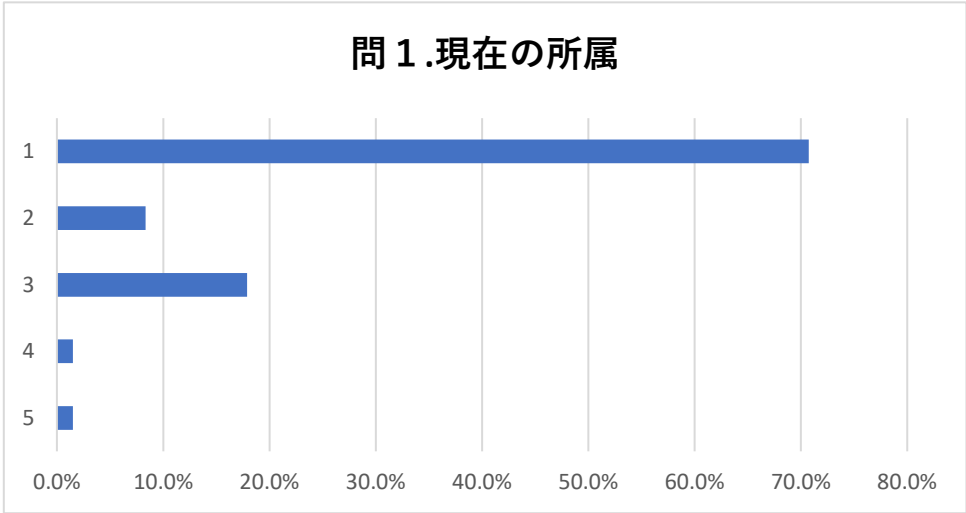
入学意向に関するアンケート調査 集計結果(医療従事者)

「構成比」 (%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100%と一致しない。

【医療従事者】

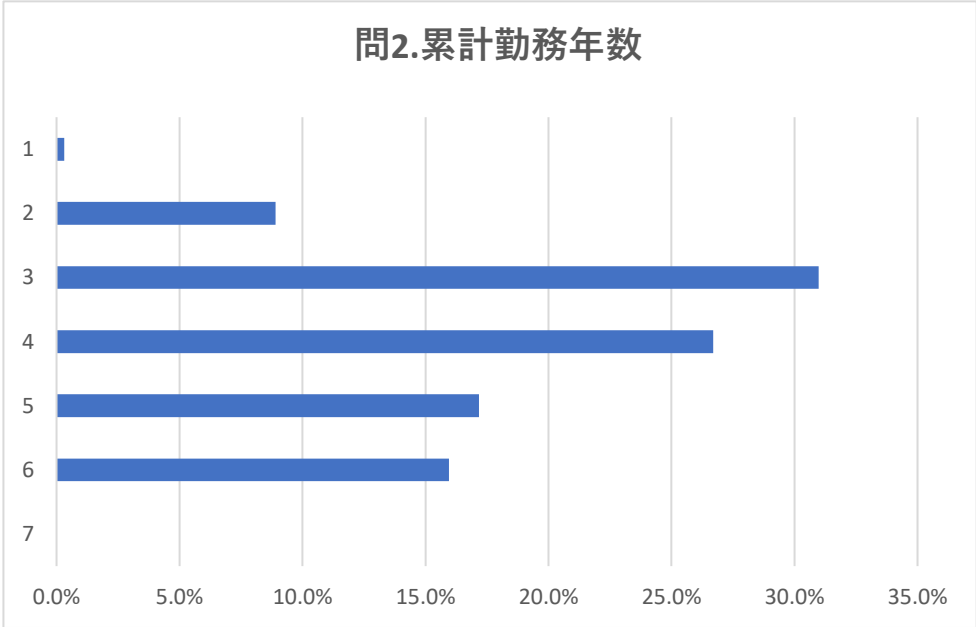
問 1. [現在の所属]

選択項目	回答数 (人)	構成比
1 .病院	237	70.7%
2 .診療所・クリニック	28	8.4%
3 .介護保健施設・福祉施設	60	17.9%
4 .施術所（鍼灸、整骨院、鍼灸整骨院、ディサービス等）	5	1.5%
5 .その他	5	1.5%
(無回答2人)	335	



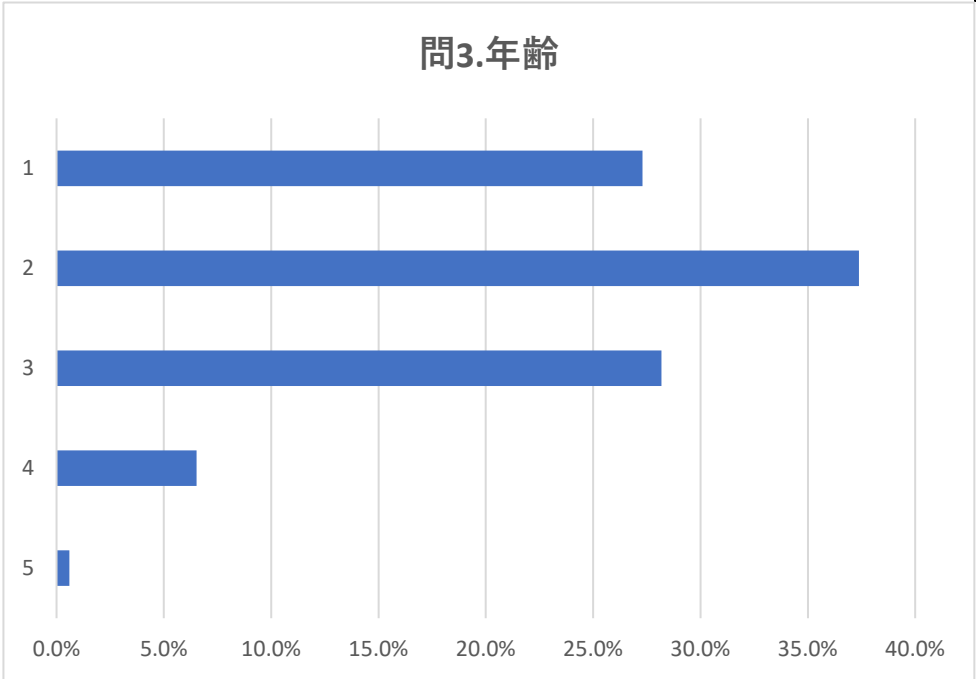
問2. [累計勤務年数]

選択項目	回答数（人）	構成比
1.2年未満	1	0.3%
2.2～4年	29	8.9%
3.5～9年	101	31.0%
4.10～14年	87	26.7%
5.15～19年	56	17.2%
6.20年以上	52	16.0%
7.経験なし	0	0.0%
(無回答11人)	326	



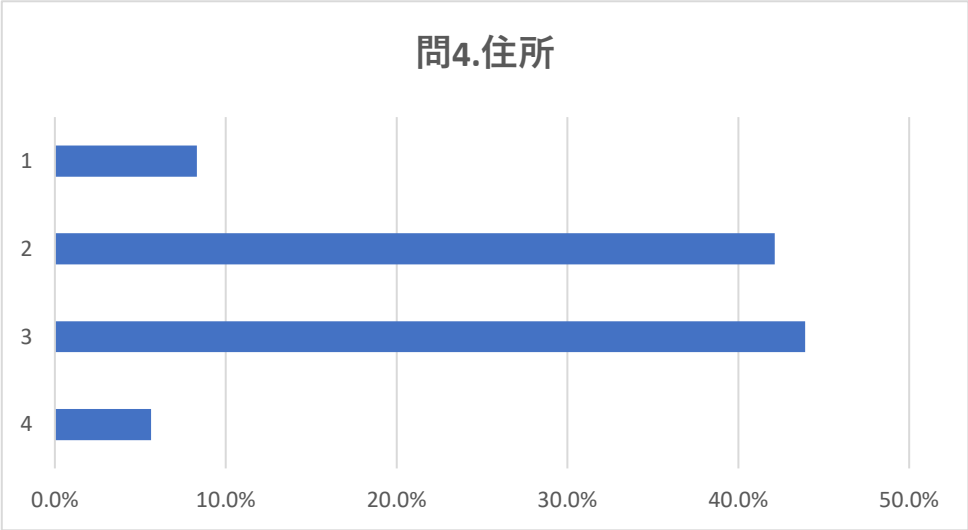
問3. [年齢]

選択項目	回答数	構成比
1.20代	92	27.3%
2.30代	126	37.4%
3.40代	95	28.2%
4.50代	22	6.5%
5.その他	2	0.6%
	337	



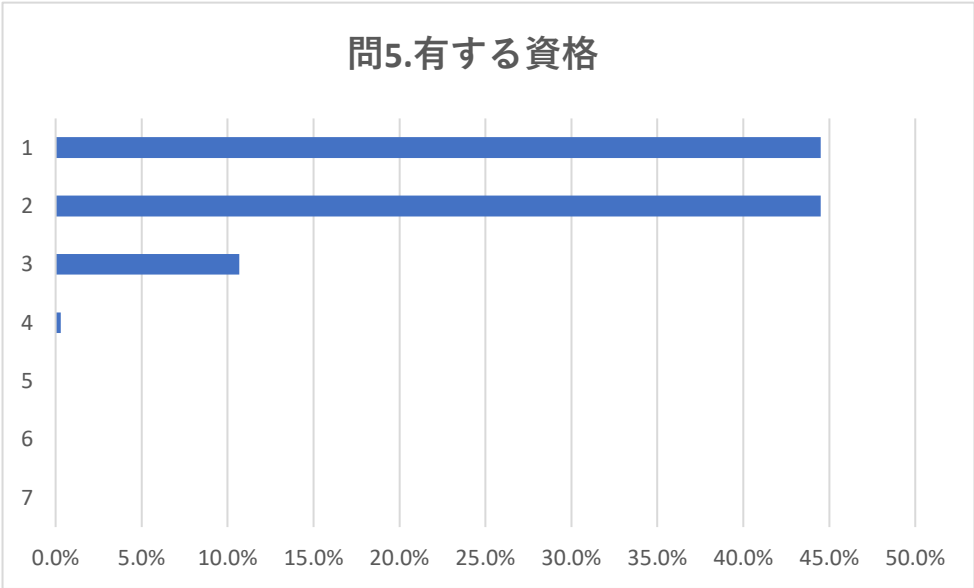
問4. [住所]

選択項目	回答数	構成比
1 .大阪市内	28	8.3%
2 .大阪府（大阪市以外）	142	42.1%
3 .関西圏（大阪府以外）	148	43.9%
4 .その他	19	5.6%
	337	



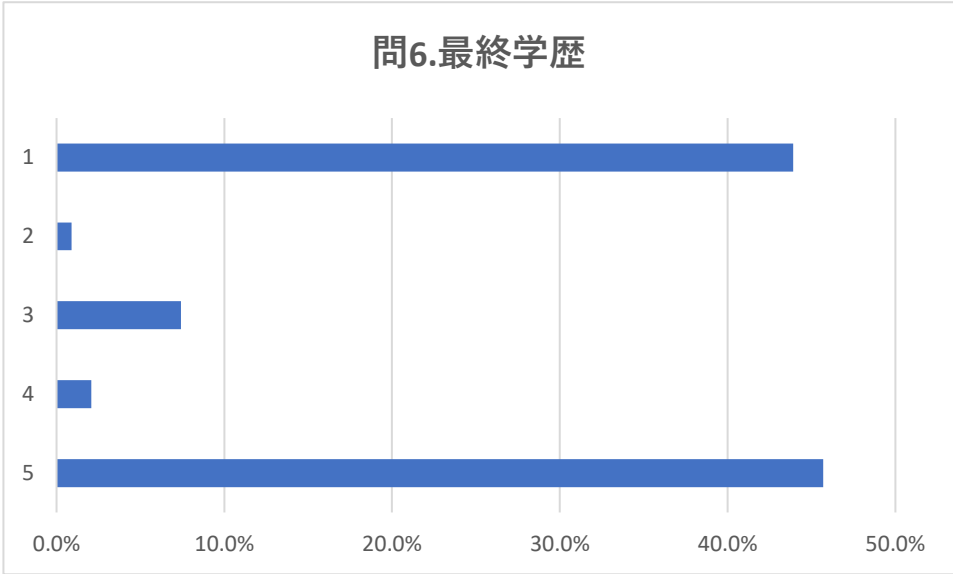
問5. [有する資格]

選択項目	回答数	構成比
1 .理学療法士	150	44.5%
2 .作業療法士	150	44.5%
3 .臨床検査技師	36	10.7%
4 .はり師・きゅう師	1	0.3%
5 .柔道整復師	0	0.0%
6 .看護師	0	0.0%
7 .その他	0	0.0%
	337	



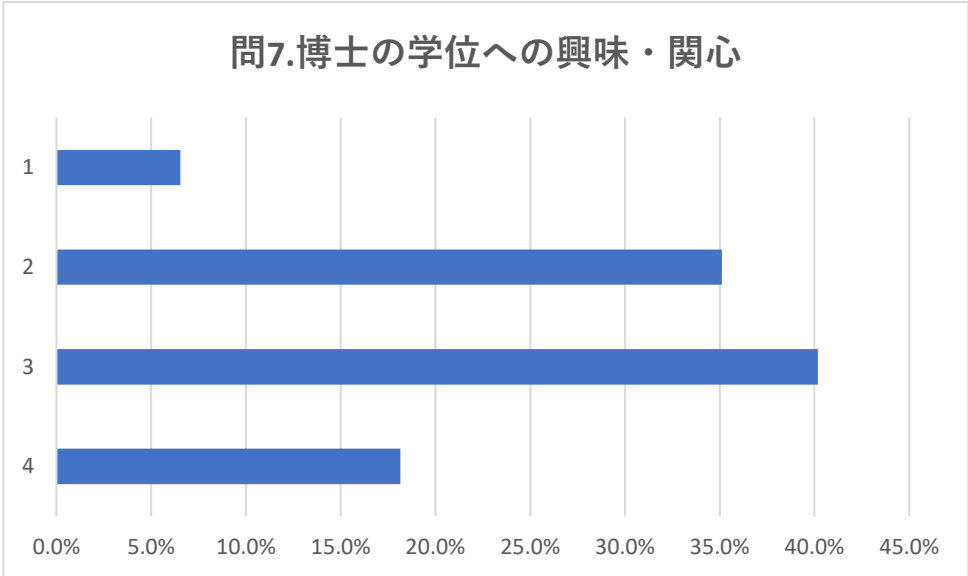
問 6 ． [最終学歴]

選択項目	回答数	構成比
1 .学士（大学卒業）	148	43.9%
2 .学士（大学卒業見込み）	3	0.9%
3 .修士（修士課程修了）	25	7.4%
4 .修士（修士課程修了見込み）	7	2.1%
5 その他	154	45.7%
	337	



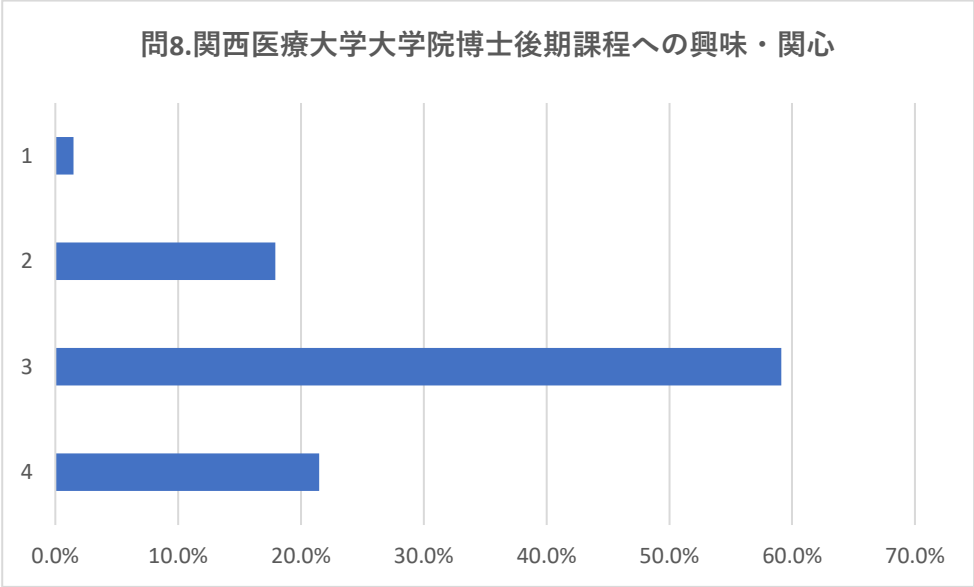
問 7 ． [博士の学位への興味・関心]

選択項目	回答数	構成比
1 .大いにある	22	6.5%
2 .少しはある	118	35.1%
3 .全くない	135	40.2%
4 .わからない	61	18.2%
(無回答1人)	336	



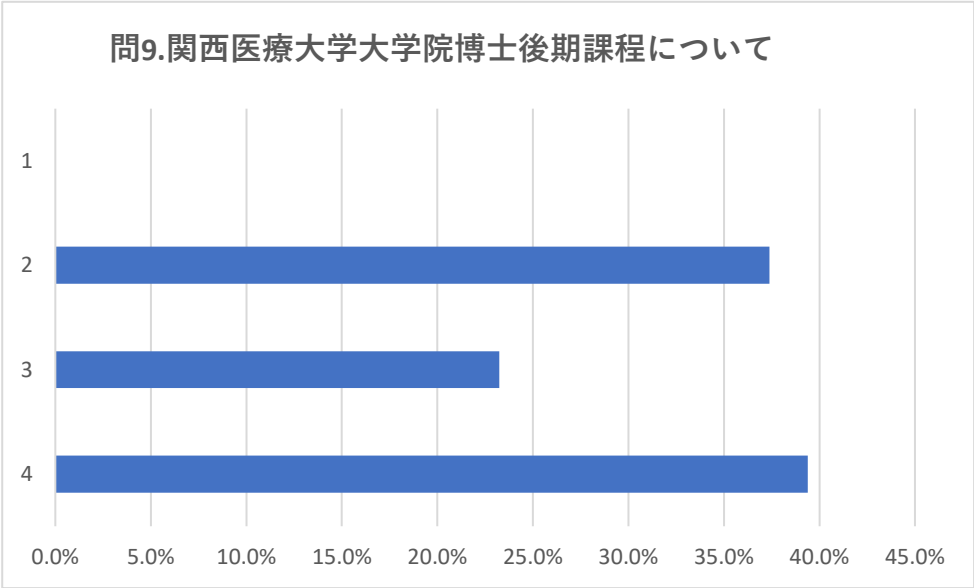
問 8. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心]

選択項目	回答数	構成比
1.大いに興味・関心がある	5	1.5%
2.興味・関心がある	60	17.9%
3.あまり興味・関心がない	198	59.1%
4.全く興味・関心がない	72	21.5%
(無回答2人)	335	



問 9. [関西医療大学大学院博士後期課程について]（問 8 で 1 又は 2 と答えた方へ）

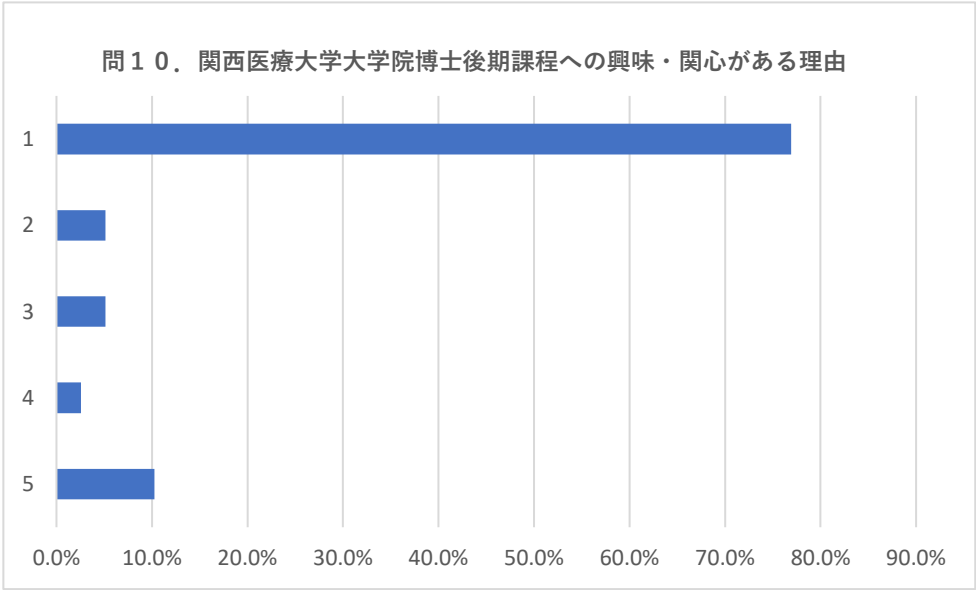
選択項目	回答数	構成比
1.入学を希望する	0	0.0%
2.将来の入学先の対象となりえる	36	56.3%
3.入学先として考えない	9	14.1%
4.わからない	19	29.7%
(無回答1人)	64	



問 1 0 . [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由]

(問 9 で 1 又は 2 と答えた方へ) (複数回答 可)

選択項目	回答数	構成比
1 .専門家として高度な知識・技術を身につけたいから	23	63.9%
2 .新しい視点からの研究ができそうだから	10	27.8%
3 .保健医療学はもともと興味のある研究分野だから	9	25.0%
4 .保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから	2	5.6%
5 .業務を遂行するうえで、今の自分知識や能力では不十分と考えているから	8	22.2%
	36	



問 1 1 . 自由記述 [期待される点やご要望]

- ・ 仕事と併行できる環境設定に期待しています。
- ・ 地域の病院等で働く理学療法士等が働きながら大学院博士後期課程にて研究が出来ることが良いと思います。
- ・ これから理学療法士の将来を担う職員がデータに基づいてリハビリテーションを展開するために高度な知識・技術が必要だと考えます。
- ・ リハビリが広く認知され、必要とされる研究成果を期待します。
- ・ 臨床のニーズを吸い上げ、研究開発に築き上げられるような仕組みがあれば良いと思います。
- ・ 定員数の増加や研究項目の広がり、研究環境が整えば嬉しく思います。
- ・ 休日・夜間の開講を希望します。

関西医療大学大学院「博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」
(仮称)
結果報告書
(修了生対象調査)

令和4年10月
株式会社日本創造教育研究所

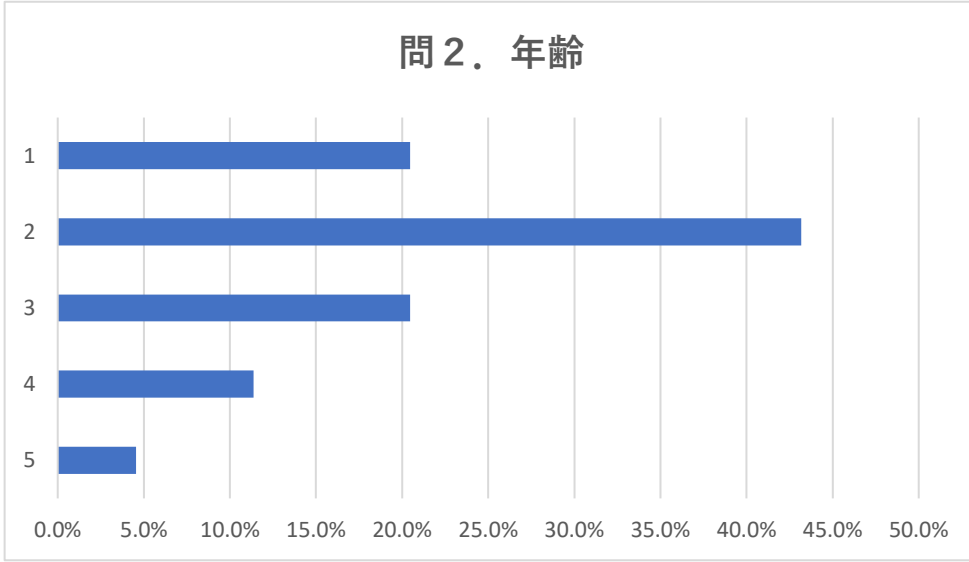
入学意向に関するアンケート調査 集計結果(修了生)

「構成比」 (%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入

【修了生】

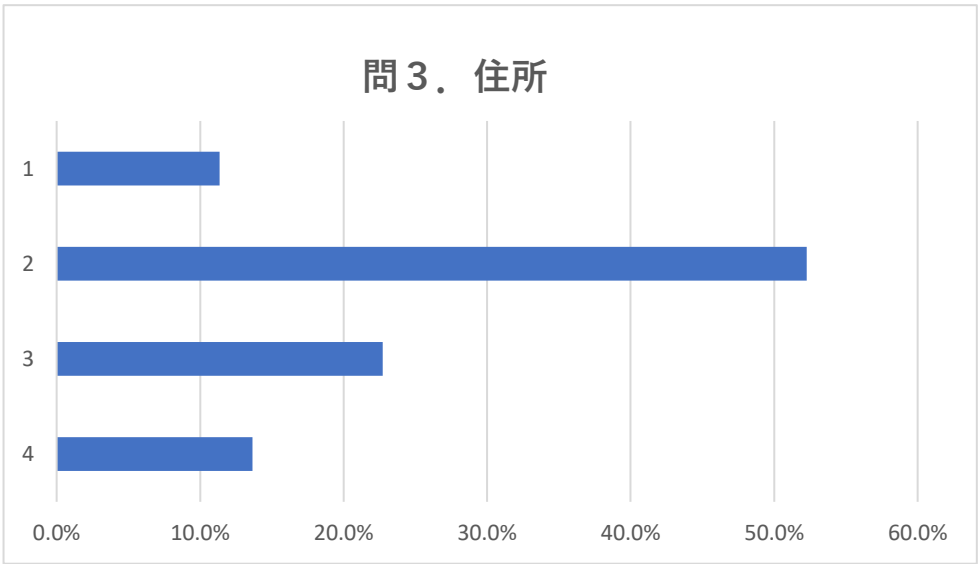
問 2. [年齢]

選択項目	回答数	構成比
1 .20代	9	20.5%
2 .30代	19	43.2%
3 .40代	9	20.5%
4 .50代	5	11.4%
5 .その他	2	4.5%
	44	



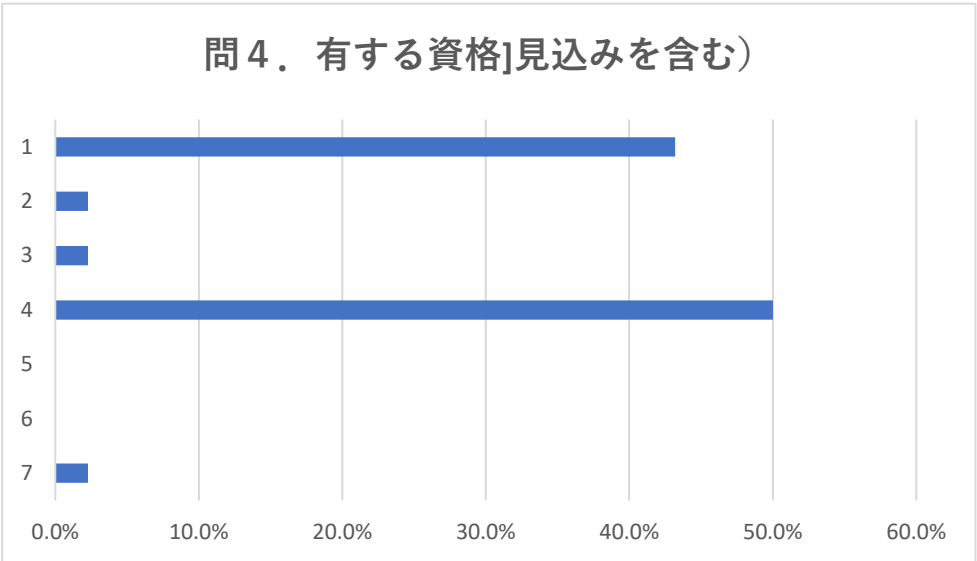
問 3. [住所]

選択項目	回答数	構成比
1 .大阪市内	5	11.4%
2 .大阪府（大阪市以外）	23	52.3%
3 .関西圏（大阪府以外）	10	22.7%
4 .その他	6	13.6%
	44	



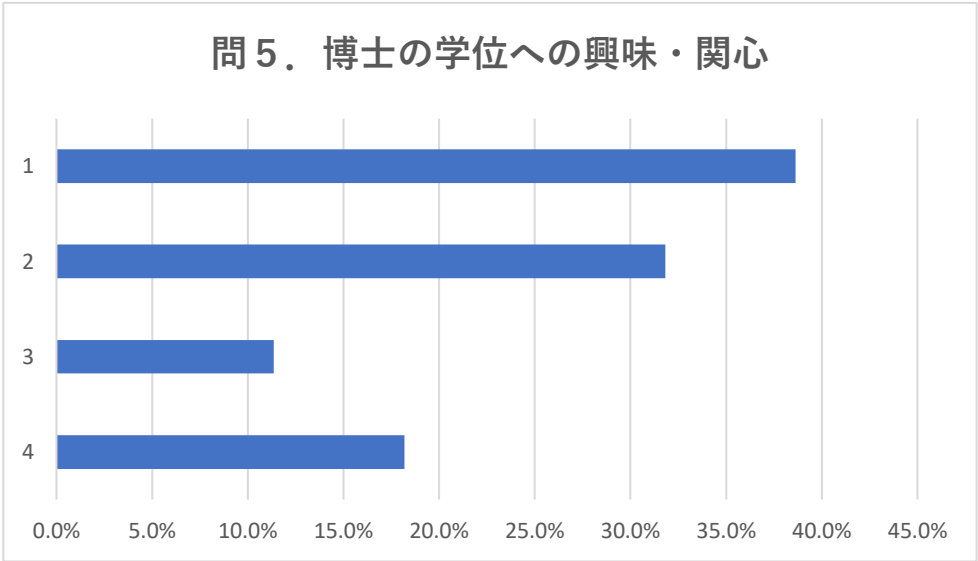
問4. [有する資格]（見込みを含む）

選択項目	回答数	構成比
1.理学療法士	19	43.2%
2.作業療法士	1	2.3%
3.臨床検査技師	1	2.3%
4.はり師・きゅう師	22	50.0%
5.柔道整復師	0	0.0%
6.看護師	0	0.0%
7.その他	1	2.3%
	44	



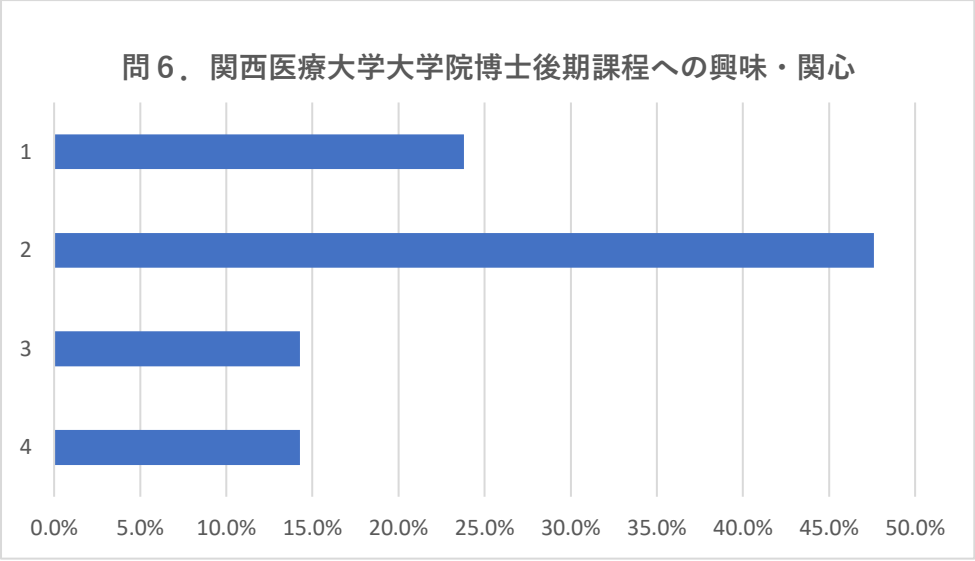
問5. [博士の学位への興味・関心]

選択項目	回答数	構成比
1.大いにある	17	38.6%
2.少しはある	14	31.8%
3.全くない	5	11.4%
4.現時点ではわからない	8	18.2%
	44	



問 6. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心]

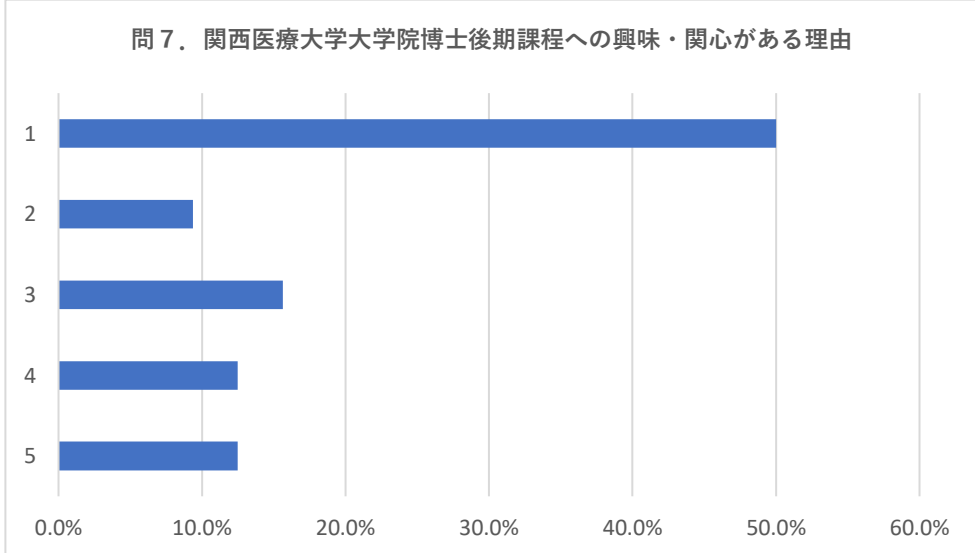
選択項目	回答数	構成比
1.大いに興味・関心がある	10	23.8%
2.興味・関心がある	20	47.6%
3.あまり興味・関心がない	6	14.3%
4.全く興味・関心がない	6	14.3%
(無回答2人)	42	



問 7. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由]

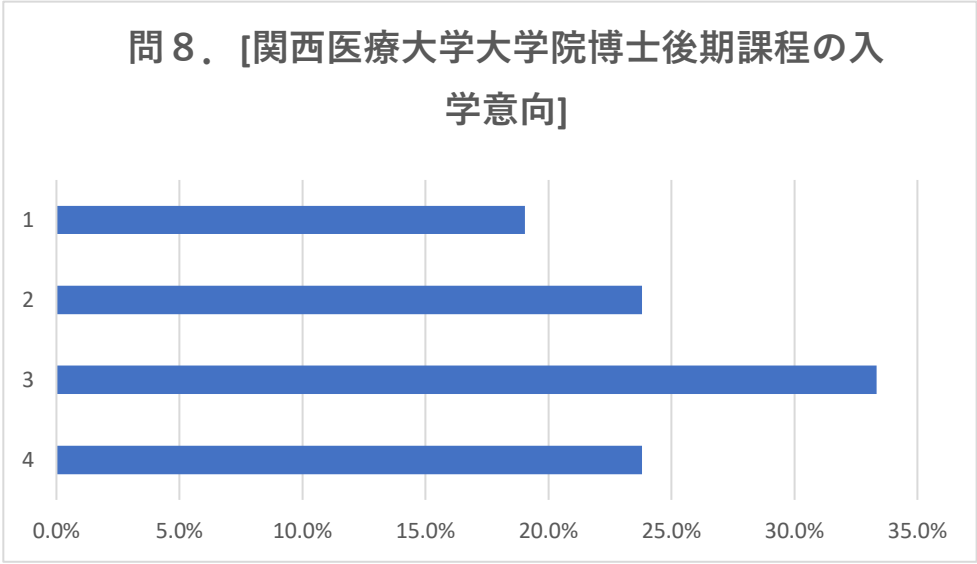
(問 6 で 1 又は 2 と答えた方へ)

選択項目	回答数	構成比
1.専門家として高度な知識・技術を身につけたいから	16	53.3%
2.新しい視点からの研究ができそうだから	3	10.0%
3.将来、教育者、研究者になりたいから	5	16.7%
4.保健医療学はもともと興味のある研究分野だから	3	10.0%
5.保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから	3	10.0%
	30	



問 8．[関西医療大学大学院博士後期課程の入学意向]

選択項目		構成比
1.入学を希望する	8	19.0%
2.将来の入学先の対象となりえる	10	23.8%
3.入学先として考えない	14	33.3%
4.わからない	10	23.8%
	42	



関西医療大学大学院「博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」
(仮称)
結果報告書
(修士在校生対象調査)

令和4年10月
株式会社日本創造教育研究所

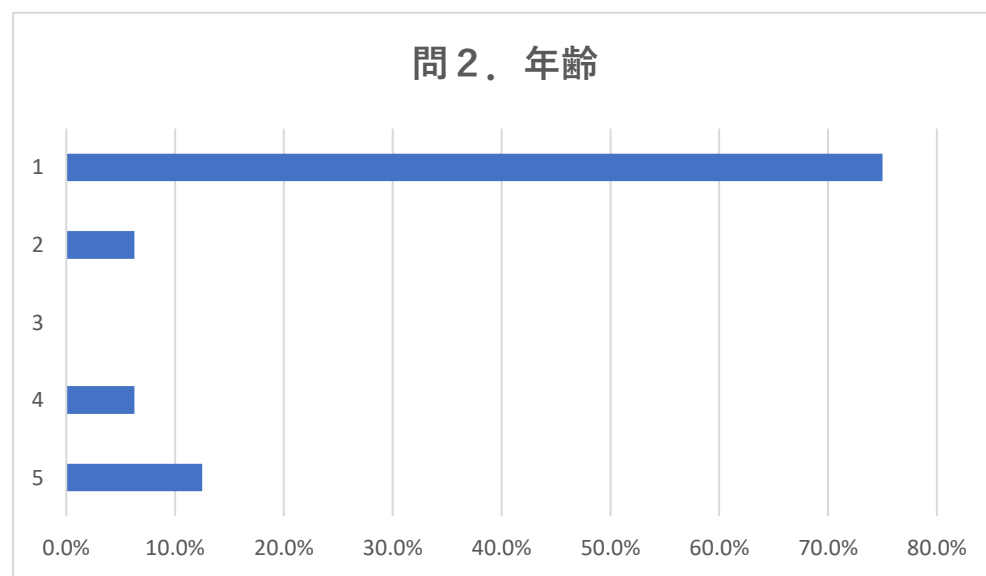
入学意向に関するアンケート調査 集計結果

「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

【修士在校生】

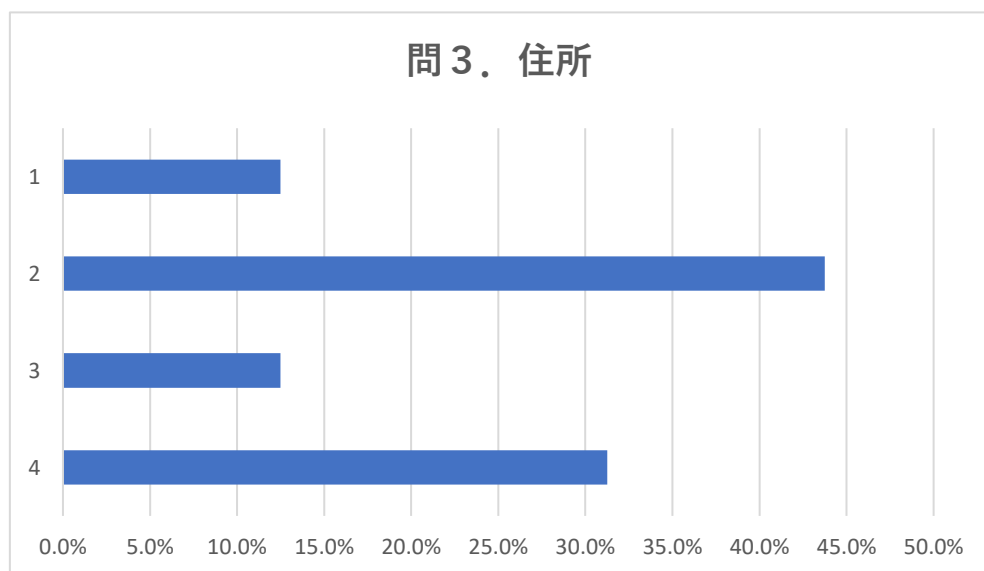
問２．[年齢]

選択項目	回答数	構成比
1.20代	12	75.0%
2.30代	1	6.3%
3.40代	0	0.0%
4.50代	1	6.3%
5.その他	2	12.5%
	16	



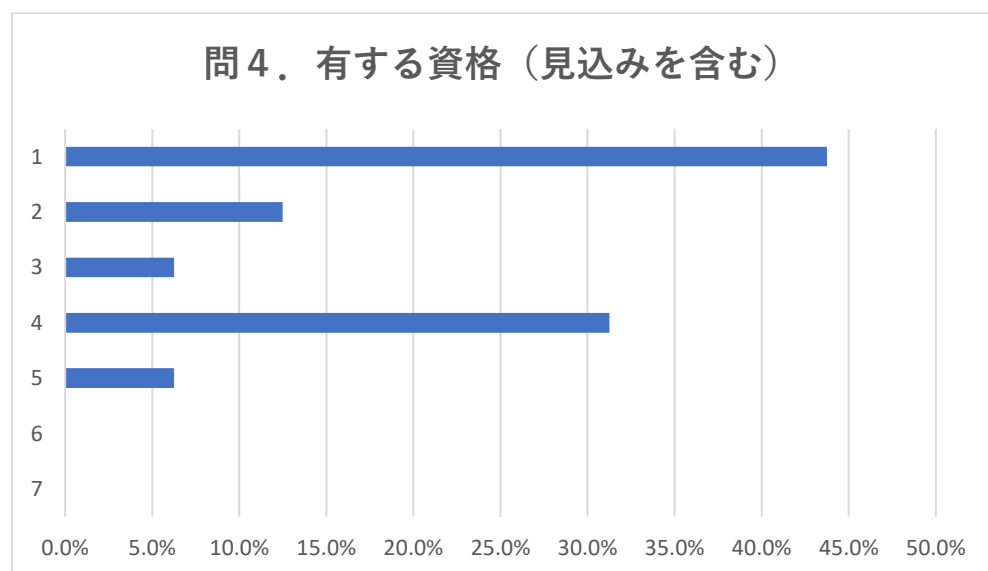
問３．[住所]

選択項目	回答数	構成比
1.大阪市内	2	12.5%
2.大阪府（大阪市以外）	7	43.8%
3.関西圏（大阪府以外）	2	12.5%
4.その他	5	31.3%
	16	



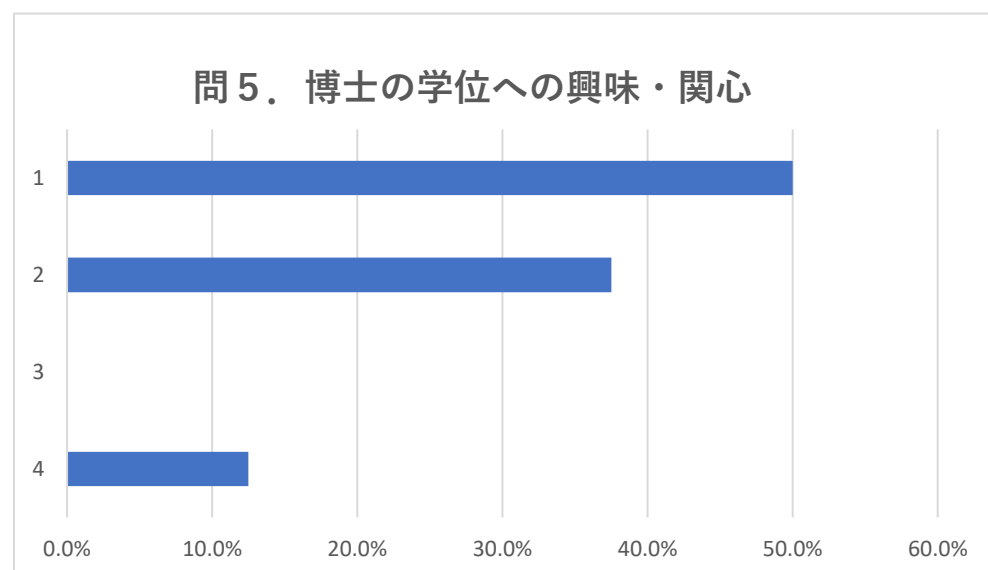
問4. [有する資格]（見込みを含む）

選択項目	回答数	構成比
1.理学療法士	7	43.8%
2.作業療法士	2	12.5%
3.臨床検査技師	1	6.3%
4.はり師・きゅう師	5	31.3%
5.柔道整復師	1	6.3%
6.看護師	0	0.0%
7.その他	0	0.0%
	16	



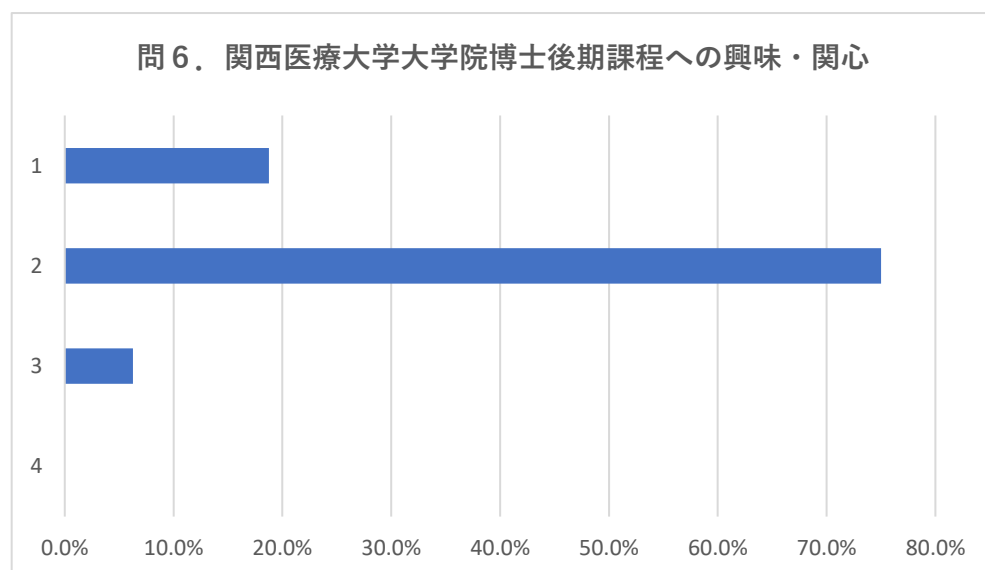
問5. [博士の学位への興味・関心]

選択項目	回答数	構成比
1.大いにある	8	50.0%
2.少しはある	6	37.5%
3.全くない	0	0.0%
4.現時点ではわからない	2	12.5%
	16	



問6. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心]

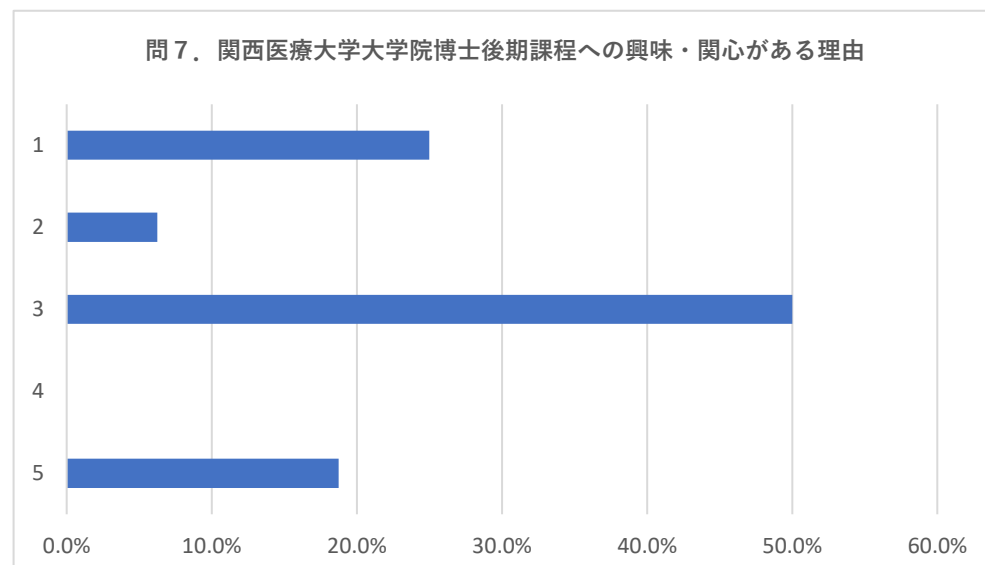
選択項目	回答数	構成比
1.大いに興味・関心がある	3	18.8%
2.興味・関心がある	12	75.0%
3.あまり興味・関心がない	1	6.3%
4.全く興味・関心がない	0	0.0%
	16	



問7. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由]

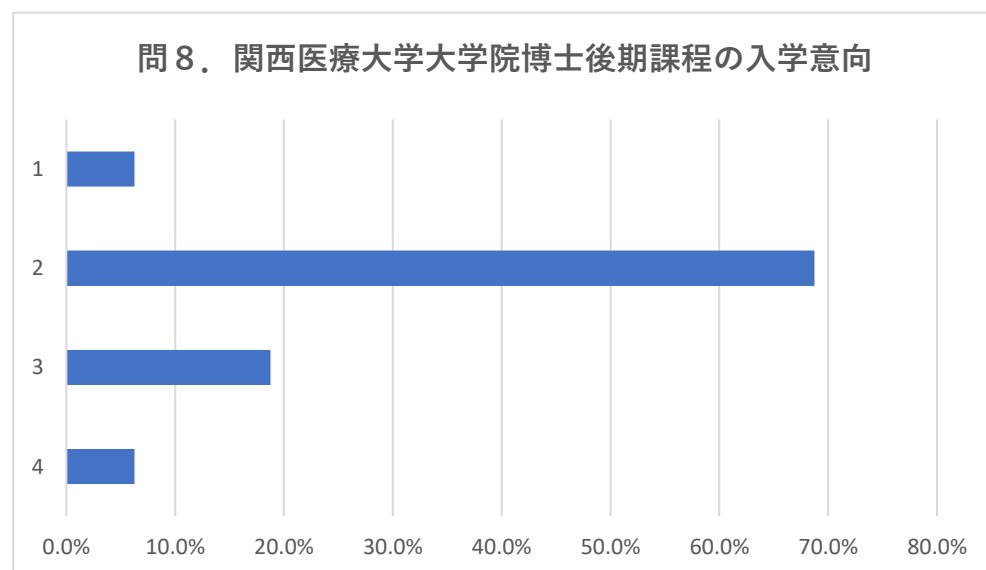
(問6で1又は2と答えた方へ)

選択項目	回答数	構成比
1.専門家として高度な知識・技術を身につけたいから	3	20.0%
2.新しい視点からの研究ができそうだから	1	6.7%
3.将来、教育者、研究者になりたいから	8	53.3%
4.保健医療学はもともと興味のある研究分野だから	0	0.0%
5.保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから	3	20.0%
	15	



問8. [関西医療大学大学院博士後期課程の入学意向]

選択項目	回答数	構成比
1.入学を希望する	1	6.3%
2.将来の入学先の対象となりえる	11	68.8%
3.入学先として考えない	3	18.8%
4.わからない	1	6.3%
	16	



関西医療大学大学院「博士後期課程入学意向に関するアンケート調査」
(仮称)
結果報告書
(学部4年生対象調査)

令和4年10月
株式会社日本創造教育研究所

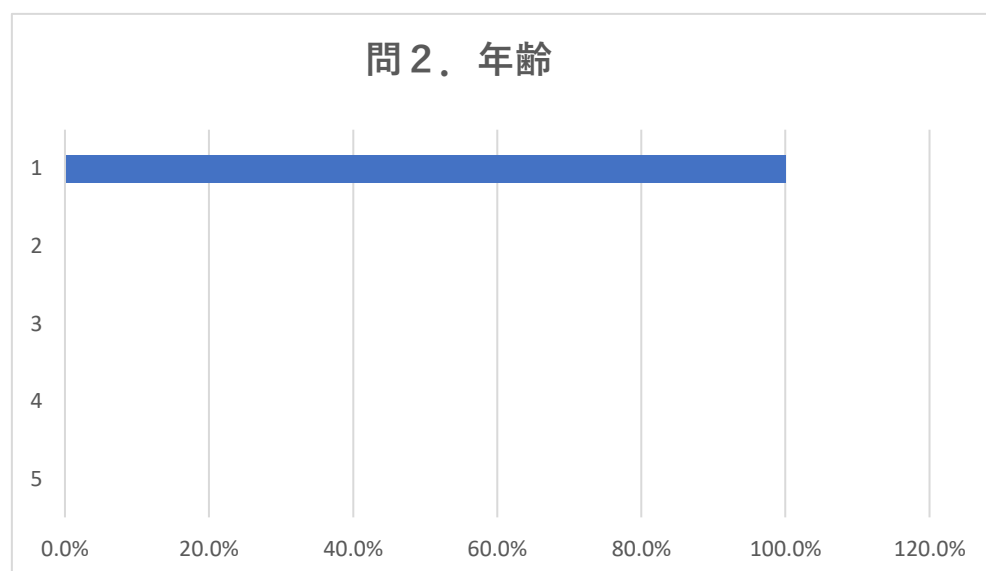
入学意向に関するアンケート調査 集計結果

「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

【学部4年生】

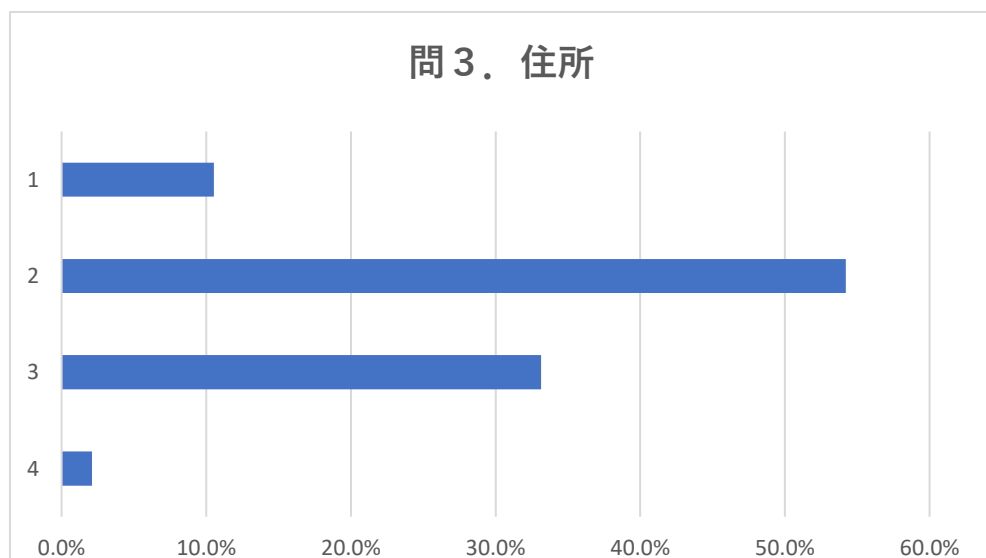
問2. [年齢]

選択項目	回答数	構成比
1.20代	190	100.0%
2.30代	0	0.0%
3.40代	0	0.0%
4.50代	0	0.0%
5.その他	0	0.0%
	190	



問3. [住所]

選択項目	回答数	構成比
1.大阪市内	20	10.5%
2.大阪府（大阪市以外）	103	54.2%
3.関西圏（大阪府以外）	63	33.2%
4.その他	4	2.1%
	190	

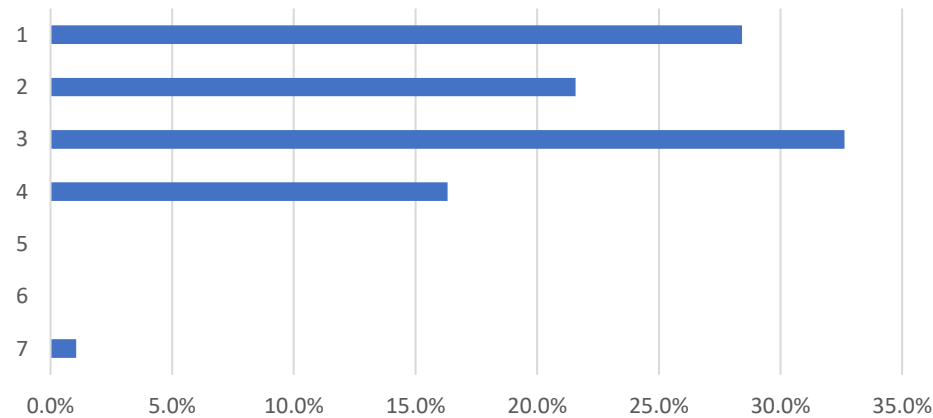


問4. [有する資格]（見込みを含む）

選択項目	回答数	構成比
1.理学療法士	54	28.4%
2.作業療法士	41	21.6%
3.臨床検査技師	62	32.6%
4.はり師・きゅう師	31	16.3%
5.柔道整復師	0	0.0%
6.看護師	0	0.0%
7.その他	2	1.1%

190

問4. 有する資格（見込みを含む）

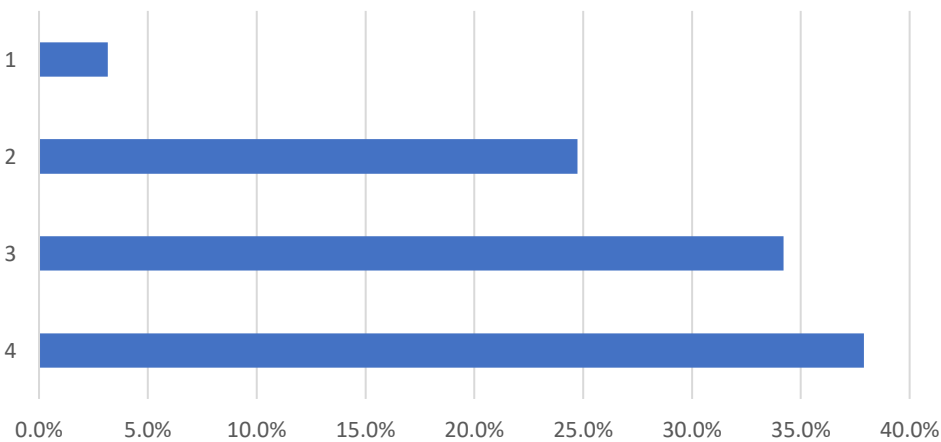


問5. [博士の学位への興味・関心]

選択項目	回答数	構成比
1.大いにある	6	3.2%
2.少しはある	47	24.7%
3.全くない	65	34.2%
4.現時点ではわからない	72	37.9%

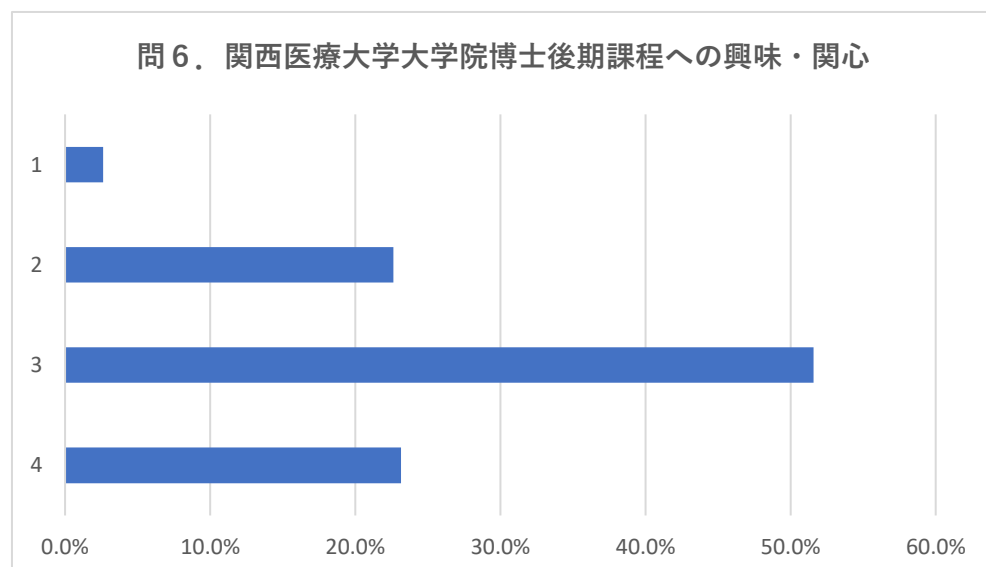
190

問5. 博士の学位への興味・関心



問 6. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心]

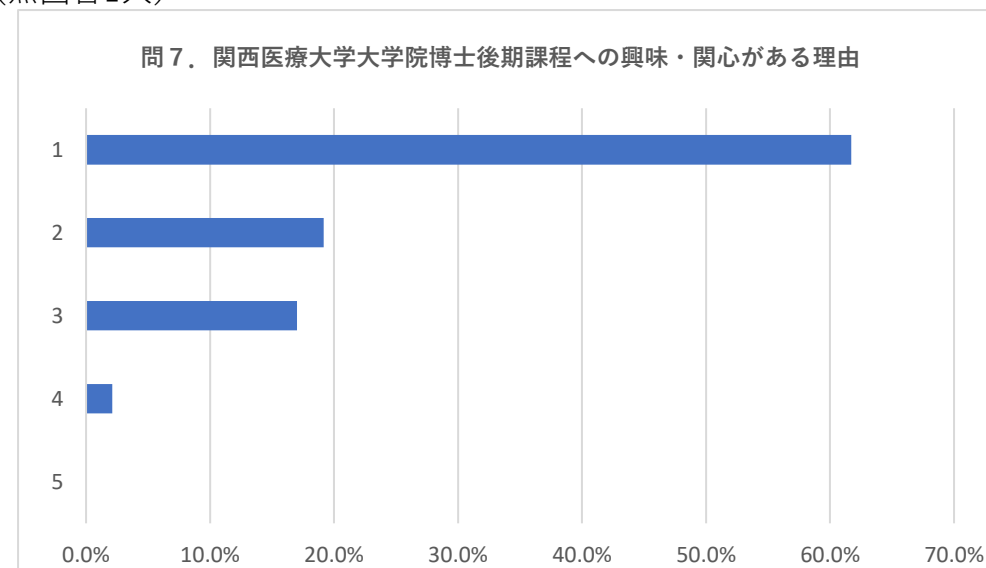
選択項目	回答数	構成比
1.大いに興味・関心がある	5	2.6%
2.興味・関心がある	43	22.6%
3.あまり興味・関心がない	98	51.6%
4.全く興味・関心がない	44	23.2%
	190	



問 7. [関西医療大学大学院博士後期課程への興味・関心がある理由]

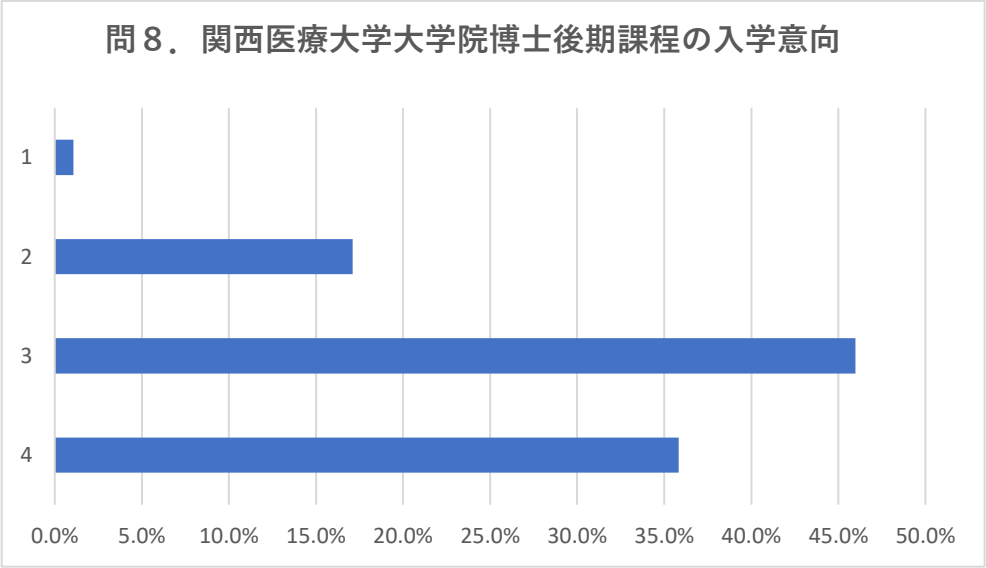
(問 6 で 1 又は 2 と答えた方へ)

選択項目	回答数	構成比
1.専門家として高度な知識・技術を身につけたいから	29	61.7%
2.新しい視点からの研究ができそうだから	9	19.1%
3.将来、教育者、研究者になりたいから	8	17.0%
4.保健医療学はもともと興味のある研究分野だから	1	2.1%
5.保健医療学は社会の必要性に合致する研究分野だから	0	0.0%
(無回答1人)	47	



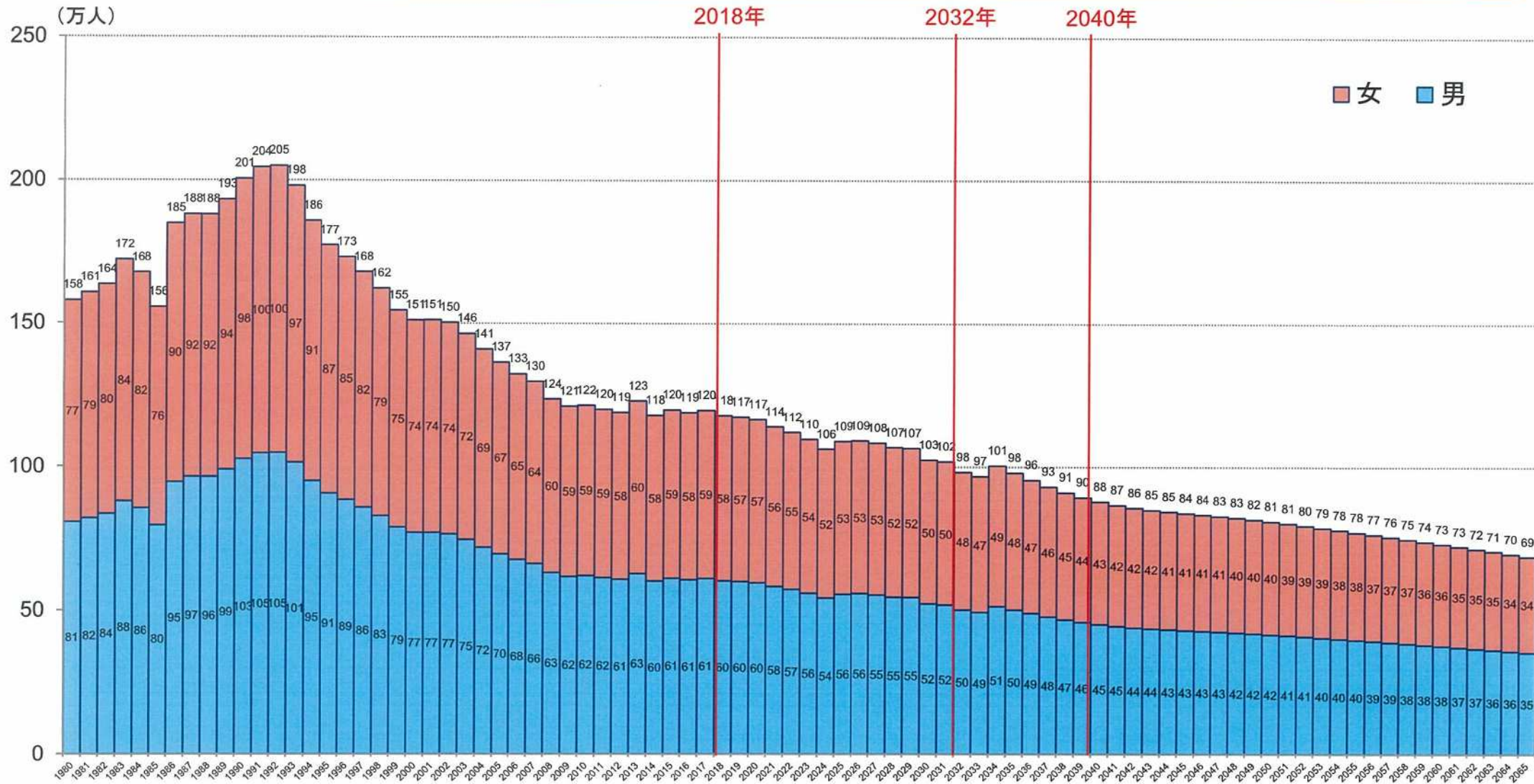
問 8. [関西医療大学大学院博士後期課程の入学意向]

選択項目	回答数	構成比
1.入学を希望する	2	1.1%
2.将来の入学先の対象となりえる	32	17.1%
3.入学先として考えない	86	46.0%
4.わからない	67	35.8%
(無回答1人)	187	



18歳人口(男女別)の将来推計(出生中位・死亡中位)

我が国の18歳人口の推移を見ると、1992年以降右肩下がり続け、2009年から2018年までほぼ横ばいで推移している。2018年以降再び減少局面に突入しており、今後、2032年には初めて100万人を割って約98万人となり、さらに2040年には約88万人にまで減少するという推計もある。

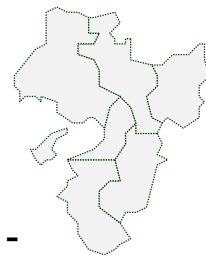


(出典) 2031(令和13)年以前は文部科学省「学校基本統計」※2019(令和元)年～2031(令和13)年は令和元年度学校基本統計速報値
2032(令和14)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)(出生中位・死亡中位)」を基に作成

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

近畿版

- 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県 -



【将来予測 2020～2032年】

▶18歳人口予測 P2～P4

- ・2020年195,001人→2032年165,603人（29,398人減少）
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2020年比較24.1%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2020年81,797人→2032年68,997人、12,800人減少）。

【経過推移 2011～2020年】

▶進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

進学者数

- ・大学は、2011年90,318人→2020年98,317人（7,999人増加）と、8.9%増加。
- ・短期大学は、2011年11,625人→2020年8,382人（3,243人減少）と、27.9%減少。
- ・専門学校は、2011年24,251人→2020年26,253人（2,002人増加）と、8.3%増加。

進学率（現役）

- ・大学は、2011年52.5%→2020年56.7%（4.2ポイント上昇）
- ・短期大学は、2011年6.8%→2020年4.8%（2.0ポイント低下）
- ・専門学校は、2011年14.1%→2020年15.1%（1.0ポイント上昇）

▶地元残留率の推移 P11～P13

- ・大学は、2011年44.7%→2020年46.3%（1.6ポイント上昇）
- ・短期大学は、2011年66.7%→2020年67.4%（0.7ポイント上昇）

▶近畿エリア概要(全体：府県別) P14～P16

■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業生数
 - ・中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。（年＝年度）
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業生数とは、高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ⑥ 進学率(現役)とは、進学者数(大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合(浪人含)
- ⑧ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

※専門学校＝専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<http://souken.shingakunet.com/>

08-学生確保(資料)―52―

18歳人口予測（全体：近畿：2020～2032年）

■ 2020年195,001人→2032年165,603人（29,398人減少）

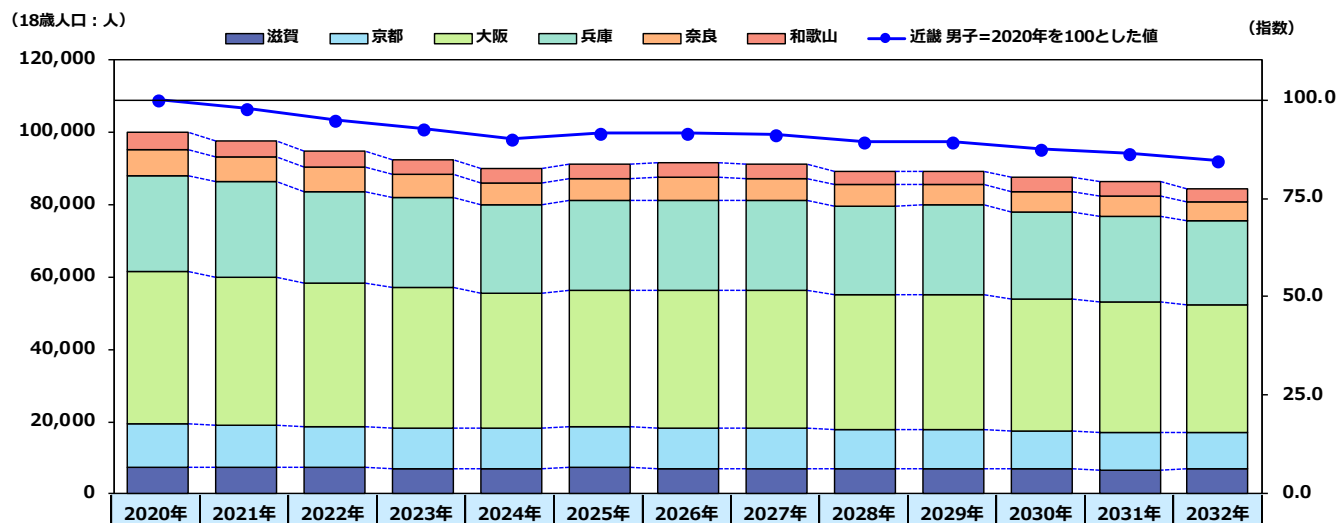
- ・近畿エリアは12年間で29,398人・15.1%減少し、全国の減少率12.3%を2.8ポイント上回る。
- ・2024年に175,501人まで減少し、2025年までに3,747人増加するが、その後再び減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2020年比較24.1%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2020年81,797人→2032年68,997人、12,800人減少）。



18歳人口予測（男子：近畿：2020～2032年）

■ 2020年99,916人→2032年84,450人（15,466人減少）

- ・ 男子は12年間で15,466人・15.5%減少し、全国の減少率12.3%を3.2ポイント上回る。
- ・ 2024年に90,139人まで減少し、翌2026年に1,459人増加し、翌年から再び減少。
- ・ 減少率が高いのは、和歌山県（2020年比較23.4%減少）。
- ・ 減少数が多いのは、大阪府（2020年42,130人→2032年35,218人、6,912人減少）。



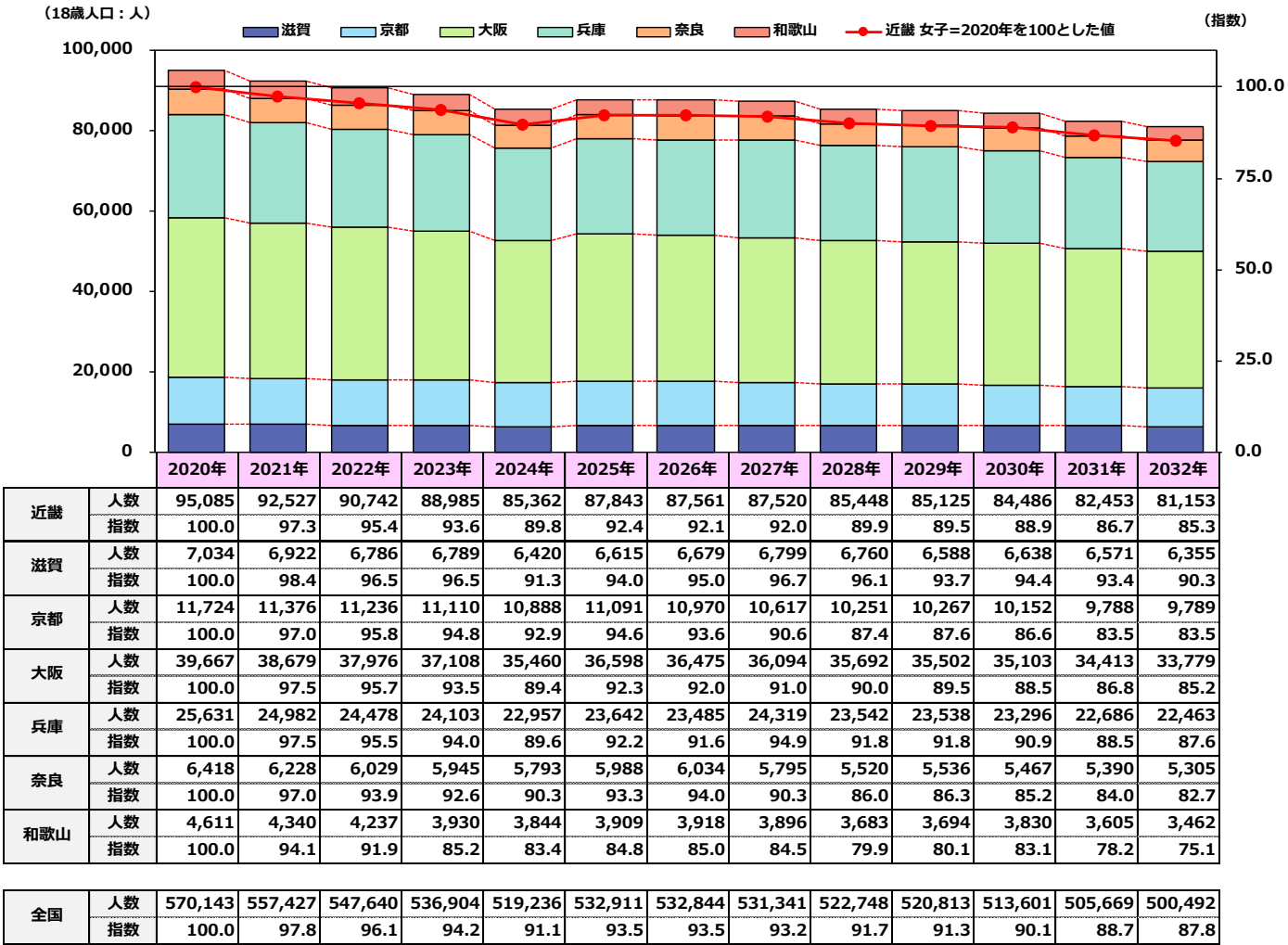
		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
近畿	人数	99,916	97,759	94,884	92,654	90,139	91,405	91,598	91,180	89,400	89,365	87,474	86,344	84,450
	指数	100.0	97.8	95.0	92.7	90.2	91.5	91.7	91.3	89.5	89.4	87.5	86.4	84.5
滋賀	人数	7,501	7,406	7,242	6,994	6,897	7,181	7,052	7,096	6,960	7,140	6,867	6,770	6,828
	指数	100.0	98.7	96.5	93.2	91.9	95.7	94.0	94.6	92.8	95.2	91.5	90.3	91.0
京都	人数	11,922	11,769	11,502	11,266	11,311	11,419	11,313	11,001	10,852	10,831	10,606	10,366	10,303
	指数	100.0	98.7	96.5	94.5	94.9	95.8	94.9	92.3	91.0	90.8	89.0	86.9	86.4
大阪	人数	42,130	40,870	39,470	38,756	37,343	37,803	38,057	38,160	37,245	37,148	36,388	35,993	35,218
	指数	100.0	97.0	93.7	92.0	88.6	89.7	90.3	90.6	88.4	88.2	86.4	85.4	83.6
兵庫	人数	26,674	26,500	25,482	25,018	24,293	24,642	24,845	25,061	24,458	24,716	24,224	23,792	23,079
	指数	100.0	99.3	95.5	93.8	91.1	92.4	93.1	94.0	91.7	92.7	90.8	89.2	86.5
奈良	人数	7,017	6,745	6,818	6,422	6,232	6,326	6,255	5,809	5,957	5,719	5,653	5,669	5,441
	指数	100.0	96.1	97.2	91.5	88.8	90.2	89.1	82.8	84.9	81.5	80.6	80.8	77.5
和歌山	人数	4,672	4,469	4,370	4,198	4,063	4,034	4,076	4,053	3,928	3,811	3,736	3,754	3,581
	指数	100.0	95.7	93.5	89.9	87.0	86.3	87.2	86.8	84.1	81.6	80.0	80.4	76.6

全国		597,205	583,713	573,645	560,512	543,634	557,059	559,274	555,232	547,718	547,476	536,276	528,879	523,471
	指数	100.0	97.7	96.1	93.9	91.0	93.3	93.6	93.0	91.7	91.7	89.8	88.6	87.7

18歳人口予測（女子：近畿：2020～2032年）

■ 2020年95,085人→2032年81,153人（13,932人減少）

- ・ 女子は12年間で13,932人・14.7%減少し、全国の減少率12.2%を2.5ポイント上回る。
- ・ 2024年に85,362人まで減少、翌2025年に2,481人増加した後、減少に転じる。
- ・ 減少率が高いのは、和歌山県（2020年比較24.9%減少）。
- ・ 減少数が多いのは、大阪府（2020年39,667人→2032年33,779人、5,888人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：近畿：2011～2020年）

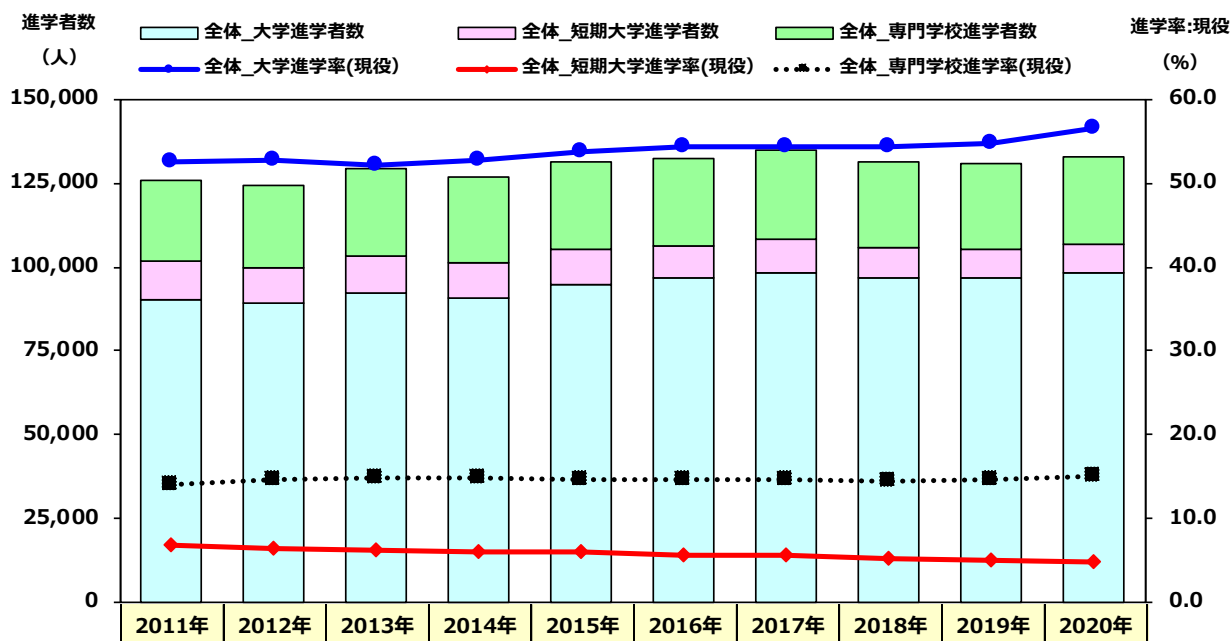
- 10年で大学進学率が4.2ポイント上昇し、進学者数も7,999人増加する一方、短期大学進学者数は3,243人減少。

進学者数

- ・ 大学は、2011年90,318人→2020年98,317人（7,999人増加）と、8.9%増加。
- ・ 短期大学は、2011年11,625人→2020年8,382人（3,243人減少）と、27.9%減少。
- ・ 専門学校は、2011年24,251人→2020年26,253人（2,002人増加）と、8.3%増加。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年52.5%→2020年56.7%（4.2ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年6.8%→2020年4.8%（2.0ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年14.1%→2020年15.1%（1.0ポイント上昇）



近畿	卒業生数		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	進学者数	大学	90,318	89,088	92,259	90,952	94,972	96,659	98,287	96,866	96,658	98,317
		短期大学	11,625	10,636	10,843	10,374	10,384	9,876	9,906	9,124	8,578	8,382
		専門学校	24,251	24,622	26,216	25,447	25,981	25,920	26,635	25,709	25,895	26,253
	進学率（現役）	大学	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7
		短期大学	6.8	6.3	6.1	6.0	5.9	5.6	5.5	5.1	4.9	4.8
		専門学校	14.1	14.6	14.8	14.8	14.7	14.6	14.7	14.4	14.7	15.1

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：府県別：2011～2020年）

			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
滋賀	卒業生数		12,186	12,067	12,690	12,082	12,360	12,656	12,884	12,737	12,729	12,786
	進学者数	大学	6,110	6,025	6,250	5,951	6,011	6,168	6,405	6,170	6,271	6,521
		短期大学	957	890	887	793	850	787	799	782	697	702
		専門学校	1,805	1,799	2,082	1,965	2,049	2,114	2,171	2,137	2,148	2,113
	進学率 (現役)	大学	50.1	49.9	49.3	49.3	48.6	48.7	49.7	48.4	49.3	51.0
		短期大学	7.9	7.4	7.0	6.6	6.9	6.2	6.2	6.1	5.5	5.5
		専門学校	14.8	14.9	16.4	16.3	16.6	16.7	16.9	16.8	16.9	16.5
京都	卒業生数		22,529	22,220	23,240	22,250	22,966	22,813	23,480	23,074	23,240	22,541
	進学者数	大学	13,324	13,270	13,606	13,178	13,911	13,846	14,256	13,959	14,158	14,155
		短期大学	1,490	1,431	1,382	1,303	1,254	1,231	1,243	1,134	1,044	1,019
		専門学校	2,957	2,998	3,350	3,096	3,155	3,128	3,217	3,162	3,106	3,111
	進学率 (現役)	大学	59.1	59.7	58.5	59.2	60.6	60.7	60.7	60.5	60.9	62.8
		短期大学	6.6	6.4	5.9	5.9	5.5	5.4	5.3	4.9	4.5	4.5
		専門学校	13.1	13.5	14.4	13.9	13.7	13.7	13.7	13.7	13.4	13.8
大阪	卒業生数		69,770	68,709	72,621	71,537	73,971	74,542	75,967	75,146	73,952	72,659
	進学者数	大学	35,936	35,406	37,004	37,040	39,169	40,561	40,882	40,461	40,096	41,060
		短期大学	5,040	4,563	4,799	4,640	4,657	4,385	4,368	4,139	3,886	3,749
		専門学校	9,925	10,294	10,852	10,770	11,155	10,953	11,413	10,987	11,401	11,566
	進学率 (現役)	大学	51.5	51.5	51.0	51.8	53.0	54.4	53.8	53.8	54.2	56.5
		短期大学	7.2	6.6	6.6	6.5	6.3	5.9	5.7	5.5	5.3	5.2
		専門学校	14.2	15.0	14.9	15.1	15.1	14.7	15.0	14.6	15.4	15.9
兵庫	卒業生数		45,587	44,641	46,319	45,473	46,090	46,442	47,411	46,566	46,132	45,077
	進学者数	大学	24,562	24,234	25,084	24,839	25,625	25,773	26,442	26,118	26,046	26,108
		短期大学	2,725	2,457	2,452	2,326	2,330	2,296	2,267	2,035	1,983	2,012
		専門学校	6,161	6,249	6,553	6,364	6,399	6,418	6,606	6,145	6,198	6,336
	進学率 (現役)	大学	53.9	54.3	54.2	54.6	55.6	55.5	55.8	56.1	56.5	57.9
		短期大学	6.0	5.5	5.3	5.1	5.1	4.9	4.8	4.4	4.3	4.5
		専門学校	13.5	14.0	14.1	14.0	13.9	13.8	13.9	13.2	13.4	14.1
奈良	卒業生数		12,338	12,114	12,585	12,000	12,153	12,166	12,282	12,158	11,630	11,830
	進学者数	大学	6,345	6,336	6,455	6,107	6,525	6,458	6,483	6,453	6,308	6,508
		短期大学	801	764	765	777	733	659	696	573	554	534
		専門学校	1,743	1,790	1,742	1,658	1,494	1,687	1,726	1,698	1,520	1,604
	進学率 (現役)	大学	51.4	52.3	51.3	50.9	53.7	53.1	52.8	53.1	54.2	55.0
		短期大学	6.5	6.3	6.1	6.5	6.0	5.4	5.7	4.7	4.8	4.5
		専門学校	14.1	14.8	13.8	13.8	12.3	13.9	14.1	14.0	13.1	13.6
和歌山	卒業生数		9,520	9,140	9,333	8,937	9,102	8,904	8,986	8,793	8,715	8,482
	進学者数	大学	4,041	3,817	3,860	3,837	3,731	3,853	3,819	3,705	3,779	3,965
		短期大学	612	531	558	535	560	518	533	461	414	366
		専門学校	1,660	1,492	1,637	1,594	1,729	1,620	1,502	1,580	1,522	1,523
	進学率 (現役)	大学	42.4	41.8	41.4	42.9	41.0	43.3	42.5	42.1	43.4	46.7
		短期大学	6.4	5.8	6.0	6.0	6.2	5.8	5.9	5.2	4.8	4.3
		専門学校	17.4	16.3	17.5	17.8	19.0	18.2	16.7	18.0	17.5	18.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

－08.学生確保(資料)－57－

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：近畿：2011～2020年）

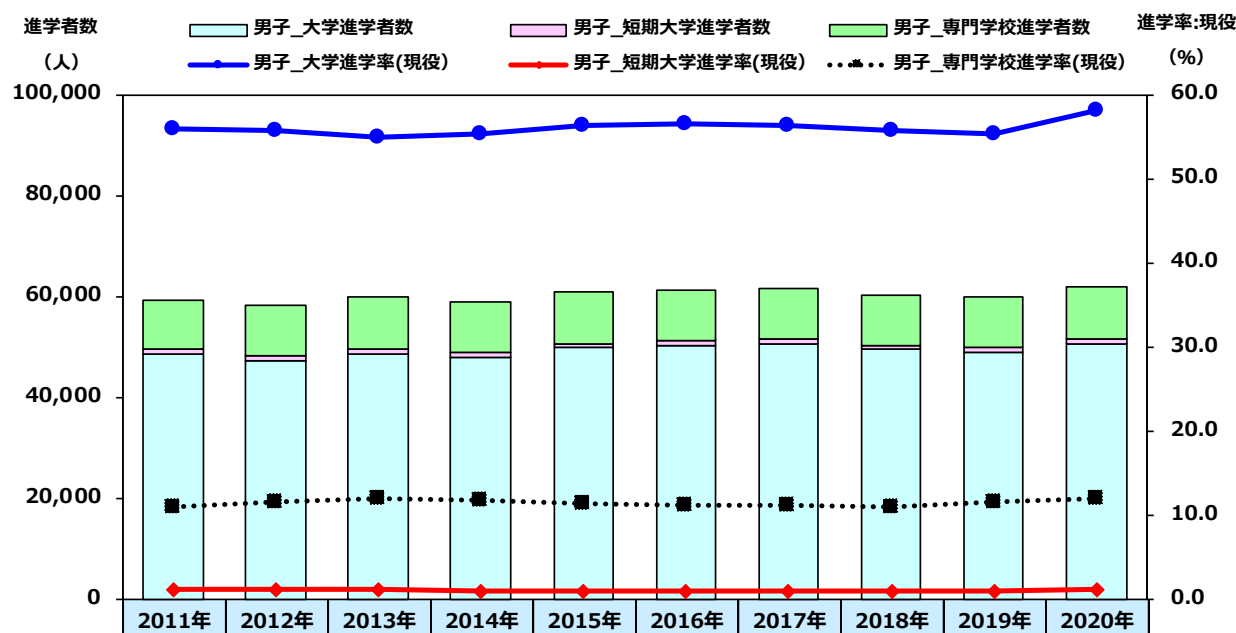
- 男子では、大学進学率に大きな変化はないが、進学者数2,171人増加。また、専門学校進学者数も754人増加。

進学者数

- ・ 大学は、2011年48,429人→2020年50,600人（2,171人増加）と、4.5%増加。
- ・ 短期大学は、2011年1,069人→2020年961人（108人減少）と、10.1%減少。
- ・ 専門学校は、2011年9,566人→2020年10,320人（754人増加）と、7.9%増加。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年55.9%→2020年58.2%（2.3ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年1.2%→2020年1.1%（0.1ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年11.0%→2020年11.9%（0.9ポイント上昇）



近畿	卒業者数		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	進学者数	大学	48,429	47,256	48,510	47,960	49,745	50,291	50,522	49,477	48,896	50,600
		短期大学	1,069	989	1,008	907	926	902	891	849	878	961
		専門学校	9,566	9,849	10,457	10,148	10,078	9,941	10,054	9,767	10,238	10,320
	進学率(現役)	大学	55.9	55.8	55.0	55.4	56.4	56.6	56.3	55.7	55.4	58.2
		短期大学	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1
		専門学校	11.0	11.6	11.9	11.7	11.4	11.2	11.2	11.0	11.6	11.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業者数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

－08.学生確保(資料)－58－

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：府県別：2011～2020年）

			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
滋賀	卒業生数		6,273	6,114	6,419	6,168	6,288	6,521	6,608	6,467	6,594	6,599
	進学者数	大学	3,480	3,324	3,427	3,265	3,323	3,374	3,492	3,327	3,385	3,508
		短期大学	98	88	119	85	94	81	73	74	71	99
		専門学校	734	740	863	794	814	889	927	859	879	894
	進学率 (現役)	大学	55.5	54.4	53.4	52.9	52.8	51.7	52.8	51.4	51.3	53.2
		短期大学	1.6	1.4	1.9	1.4	1.5	1.2	1.1	1.1	1.1	1.5
		専門学校	11.7	12.1	13.4	12.9	12.9	13.6	14.0	13.3	13.3	13.5
京都	卒業生数		11,070	10,973	11,531	11,012	11,387	11,428	11,573	11,416	11,417	11,116
	進学者数	大学	6,903	6,932	7,094	6,753	7,213	7,171	7,239	6,996	6,950	7,076
		短期大学	139	129	148	141	144	154	156	136	183	140
		専門学校	1,182	1,234	1,344	1,317	1,247	1,261	1,244	1,300	1,270	1,292
	進学率 (現役)	大学	62.4	63.2	61.5	61.3	63.3	62.7	62.6	61.3	60.9	63.7
		短期大学	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.6	1.3
		専門学校	10.7	11.2	11.7	12.0	11.0	11.0	10.7	11.4	11.1	11.6
大阪	卒業生数		35,313	34,576	36,182	35,928	37,088	37,251	37,419	37,408	36,834	36,549
	進学者数	大学	19,616	19,150	19,725	19,833	20,902	21,388	21,208	21,098	20,486	21,538
		短期大学	462	432	380	373	383	360	323	353	321	363
		専門学校	3,923	4,147	4,336	4,249	4,293	4,159	4,214	3,998	4,461	4,494
	進学率 (現役)	大学	55.5	55.4	54.5	55.2	56.4	57.4	56.7	56.4	55.6	58.9
		短期大学	1.3	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0
		専門学校	11.1	12.0	12.0	11.8	11.6	11.2	11.3	10.7	12.1	12.3
兵庫	卒業生数		22,796	22,236	22,980	22,849	22,789	23,012	23,425	23,020	22,930	22,357
	進学者数	大学	12,643	12,376	12,772	12,708	12,941	12,992	13,195	12,773	12,816	13,037
		短期大学	263	241	275	217	215	235	260	227	221	275
		専門学校	2,373	2,407	2,519	2,434	2,412	2,340	2,444	2,342	2,342	2,366
	進学率 (現役)	大学	55.5	55.7	55.6	55.6	56.8	56.5	56.3	55.5	55.9	58.3
		短期大学	1.2	1.1	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	1.0	1.0	1.2
		専門学校	10.4	10.8	11.0	10.7	10.6	10.2	10.4	10.2	10.2	10.6
奈良	卒業生数		6,290	6,146	6,357	6,109	6,100	6,181	6,215	6,120	5,954	5,991
	進学者数	大学	3,481	3,390	3,374	3,280	3,354	3,361	3,379	3,320	3,279	3,393
		短期大学	63	61	57	64	58	52	51	37	53	52
		専門学校	644	702	682	668	588	621	642	649	639	641
	進学率 (現役)	大学	55.3	55.2	53.1	53.7	55.0	54.4	54.4	54.2	55.1	56.6
		短期大学	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	0.8	0.8	0.6	0.9	0.9
		専門学校	10.2	11.4	10.7	10.9	9.6	10.0	10.3	10.6	10.7	10.7
和歌山	卒業生数		4,942	4,651	4,771	4,486	4,567	4,452	4,493	4,415	4,481	4,292
	進学者数	大学	2,306	2,084	2,118	2,121	2,012	2,005	2,009	1,963	1,980	2,048
		短期大学	44	38	29	27	32	20	28	22	29	32
		専門学校	710	619	713	686	724	671	583	619	647	633
	進学率 (現役)	大学	46.7	44.8	44.4	47.3	44.1	45.0	44.7	44.5	44.2	47.7
		短期大学	0.9	0.8	0.6	0.6	0.7	0.4	0.6	0.5	0.6	0.7
		専門学校	14.4	13.3	14.9	15.3	15.9	15.1	13.0	14.0	14.4	14.7

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：近畿：2011～2020年）

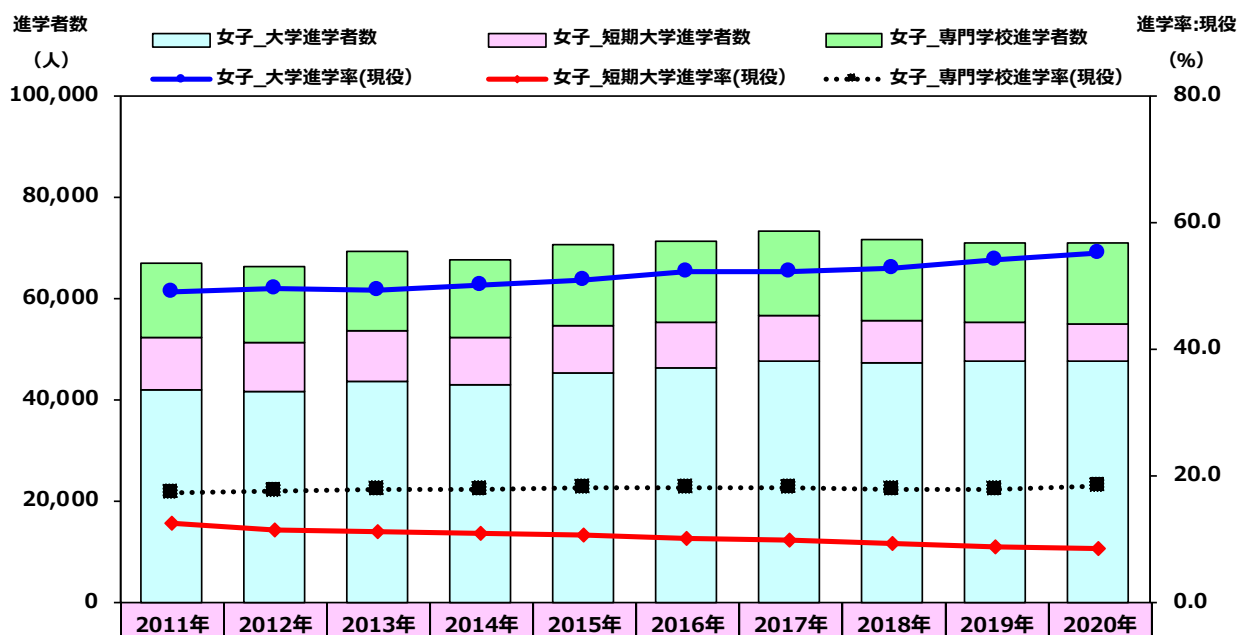
- 女子では、大学進学率が6.1ポイント上昇し、進学者数も5,828人増加、短期大学進学者数は3,135人減少、専門学校進学者数は1,248人増加。

進学者数

- ・ 大学は、2011年41,889人→2020年47,717人（5,828人増加）と、13.9%増加。
- ・ 短期大学は、2011年10,556人→2020年7,421人（3,135人減少）と、29.7%減少。
- ・ 専門学校は、2011年14,685人→2020年15,933人（1,248人増加）と、8.5%増加。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年49.1%→2020年55.2%（6.1ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年12.4%→2020年8.6%（3.8ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年17.2%→2020年18.4%（1.2ポイント上昇）



近畿	卒業生数		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	進学者数	大学	41,889	41,832	43,749	42,992	45,227	46,368	47,765	47,389	47,762	47,717
		短期大学	10,556	9,647	9,835	9,467	9,458	8,974	9,015	8,275	7,700	7,421
		専門学校	14,685	14,773	15,759	15,299	15,903	15,979	16,581	15,942	15,657	15,933
	進学率(現役)	大学	49.1	49.7	49.4	50.1	51.1	52.3	52.3	52.9	54.2	55.2
		短期大学	12.4	11.5	11.1	11.0	10.7	10.1	9.9	9.2	8.7	8.6
		専門学校	17.2	17.5	17.8	17.8	18.0	18.0	18.2	17.8	17.8	18.4

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

※専門学校=専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：府県別：2011～2020年）

			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
滋賀	卒業生数		5,913	5,953	6,271	5,914	6,072	6,135	6,276	6,270	6,135	6,187
	進学者数	大学	2,630	2,701	2,823	2,686	2,688	2,794	2,913	2,843	2,886	3,013
		短期大学	859	802	768	708	756	706	726	708	626	603
		専門学校	1,071	1,059	1,219	1,171	1,235	1,225	1,244	1,278	1,269	1,219
	進学率 （現役）	大学	44.5	45.4	45.0	45.4	44.3	45.5	46.4	45.3	47.0	48.7
		短期大学	14.5	13.5	12.2	12.0	12.5	11.5	11.6	11.3	10.2	9.7
		専門学校	18.1	17.8	19.4	19.8	20.3	20.0	19.8	20.4	20.7	19.7
京都	卒業生数		11,459	11,247	11,709	11,238	11,579	11,385	11,907	11,658	11,823	11,425
	進学者数	大学	6,421	6,338	6,512	6,425	6,698	6,675	7,017	6,963	7,208	7,079
		短期大学	1,351	1,302	1,234	1,162	1,110	1,077	1,087	998	861	879
		専門学校	1,775	1,764	2,006	1,779	1,908	1,867	1,973	1,862	1,836	1,819
	進学率 （現役）	大学	56.0	56.4	55.6	57.2	57.8	58.6	58.9	59.7	61.0	62.0
		短期大学	11.8	11.6	10.5	10.3	9.6	9.5	9.1	8.6	7.3	7.7
		専門学校	15.5	15.7	17.1	15.8	16.5	16.4	16.6	16.0	15.5	15.9
大阪	卒業生数		34,457	34,133	36,439	35,609	36,883	37,291	38,548	37,738	37,118	36,110
	進学者数	大学	16,320	16,256	17,279	17,207	18,267	19,173	19,674	19,363	19,610	19,522
		短期大学	4,578	4,131	4,419	4,267	4,274	4,025	4,045	3,786	3,565	3,386
		専門学校	6,002	6,147	6,516	6,521	6,862	6,794	7,199	6,989	6,940	7,072
	進学率 （現役）	大学	47.4	47.6	47.4	48.3	49.5	51.4	51.0	51.3	52.8	54.1
		短期大学	13.3	12.1	12.1	12.0	11.6	10.8	10.5	10.0	9.6	9.4
		専門学校	17.4	18.0	17.9	18.3	18.6	18.2	18.7	18.5	18.7	19.6
兵庫	卒業生数		22,791	22,405	23,339	22,624	23,301	23,430	23,986	23,546	23,202	22,720
	進学者数	大学	11,919	11,858	12,312	12,131	12,684	12,781	13,247	13,345	13,230	13,071
		短期大学	2,462	2,216	2,177	2,109	2,115	2,061	2,007	1,808	1,762	1,737
		専門学校	3,788	3,842	4,034	3,930	3,987	4,078	4,162	3,803	3,856	3,970
	進学率 （現役）	大学	52.3	52.9	52.8	53.6	54.4	54.5	55.2	56.7	57.0	57.5
		短期大学	10.8	9.9	9.3	9.3	9.1	8.8	8.4	7.7	7.6	7.6
		専門学校	16.6	17.1	17.3	17.4	17.1	17.4	17.4	16.2	16.6	17.5
奈良	卒業生数		6,048	5,968	6,228	5,891	6,053	5,985	6,067	6,038	5,676	5,839
	進学者数	大学	2,864	2,946	3,081	2,827	3,171	3,097	3,104	3,133	3,029	3,115
		短期大学	738	703	708	713	675	607	645	536	501	482
		専門学校	1,099	1,088	1,060	990	906	1,066	1,084	1,049	881	963
	進学率 （現役）	大学	47.4	49.4	49.5	48.0	52.4	51.7	51.2	51.9	53.4	53.3
		短期大学	12.2	11.8	11.4	12.1	11.2	10.1	10.6	8.9	8.8	8.3
		専門学校	18.2	18.2	17.0	16.8	15.0	17.8	17.9	17.4	15.5	16.5
和歌山	卒業生数		4,578	4,489	4,562	4,451	4,535	4,452	4,493	4,378	4,234	4,190
	進学者数	大学	1,735	1,733	1,742	1,716	1,719	1,848	1,810	1,742	1,799	1,917
		短期大学	568	493	529	508	528	498	505	439	385	334
		専門学校	950	873	924	908	1,005	949	919	961	875	890
	進学率 （現役）	大学	37.9	38.6	38.2	38.6	37.9	41.5	40.3	39.8	42.5	45.8
		短期大学	12.4	11.0	11.6	11.4	11.6	11.2	11.2	10.0	9.1	8.0
		専門学校	20.8	19.4	20.3	20.4	22.2	21.3	20.5	22.0	20.7	21.2

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

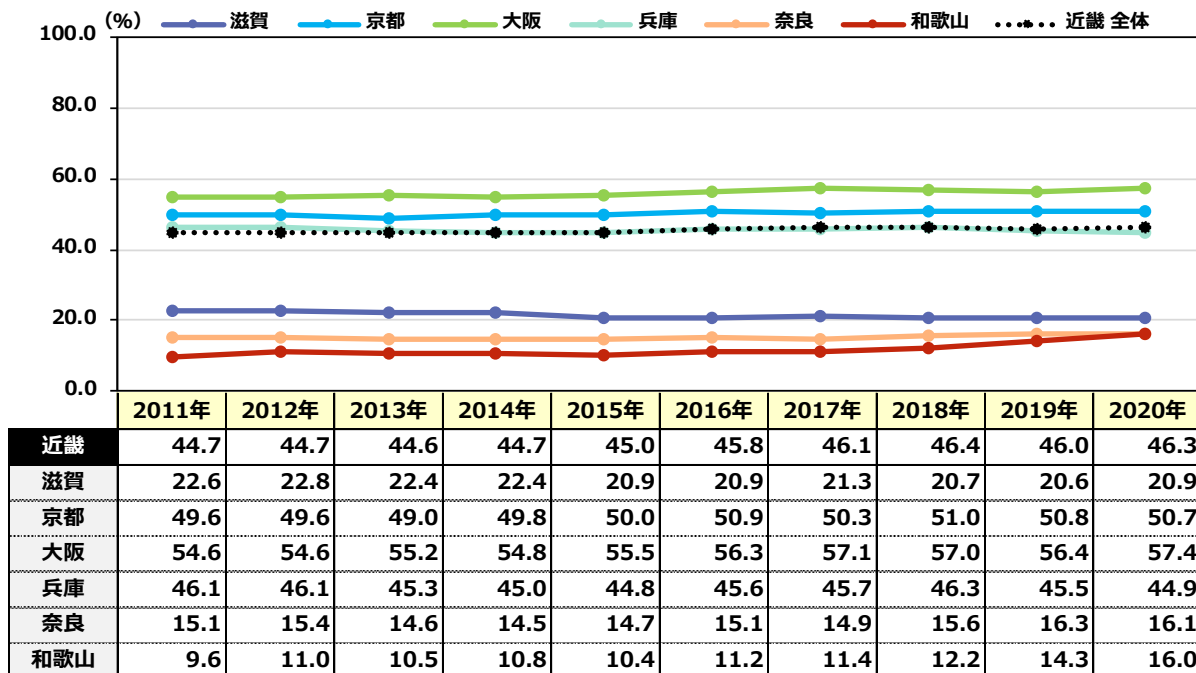
※専門学校＝専修学校専門課程

地元残留率の推移（全体：近畿：2011～2020年）

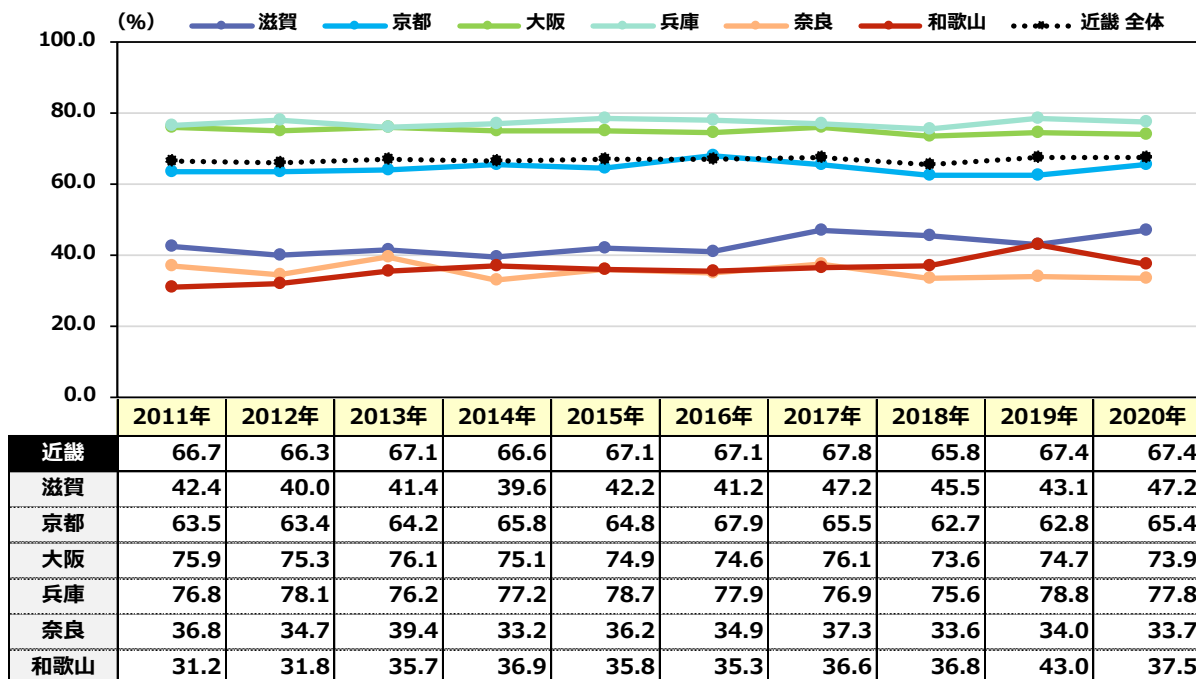
■ 大学は、2011年44.7%→2020年46.3%（1.6ポイント上昇）
短期大学は、2011年66.7%→2020年67.4%（0.7ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、和歌山県（2011年9.6%→2020年16.0%、6.4ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、和歌山県（2011年31.2%→2020年37.5%、6.3ポイント上昇）。

大学全体：地元残留率



短期大学全体：地元残留率



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

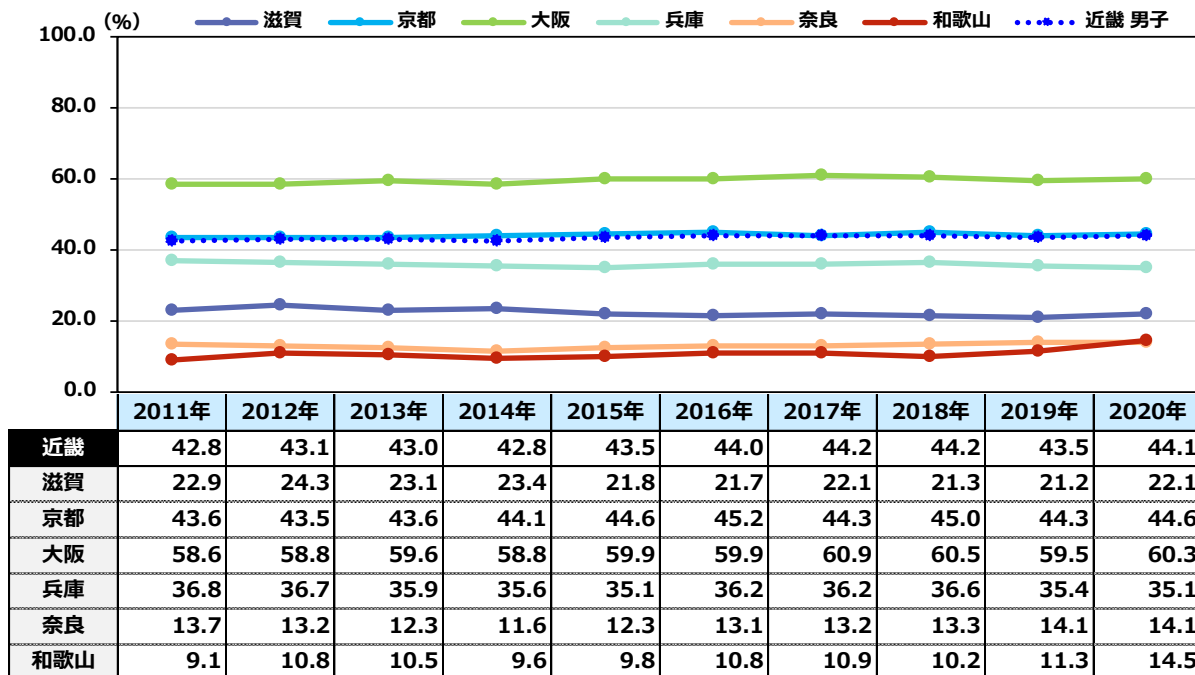
・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（男子：近畿：2011～2020年）

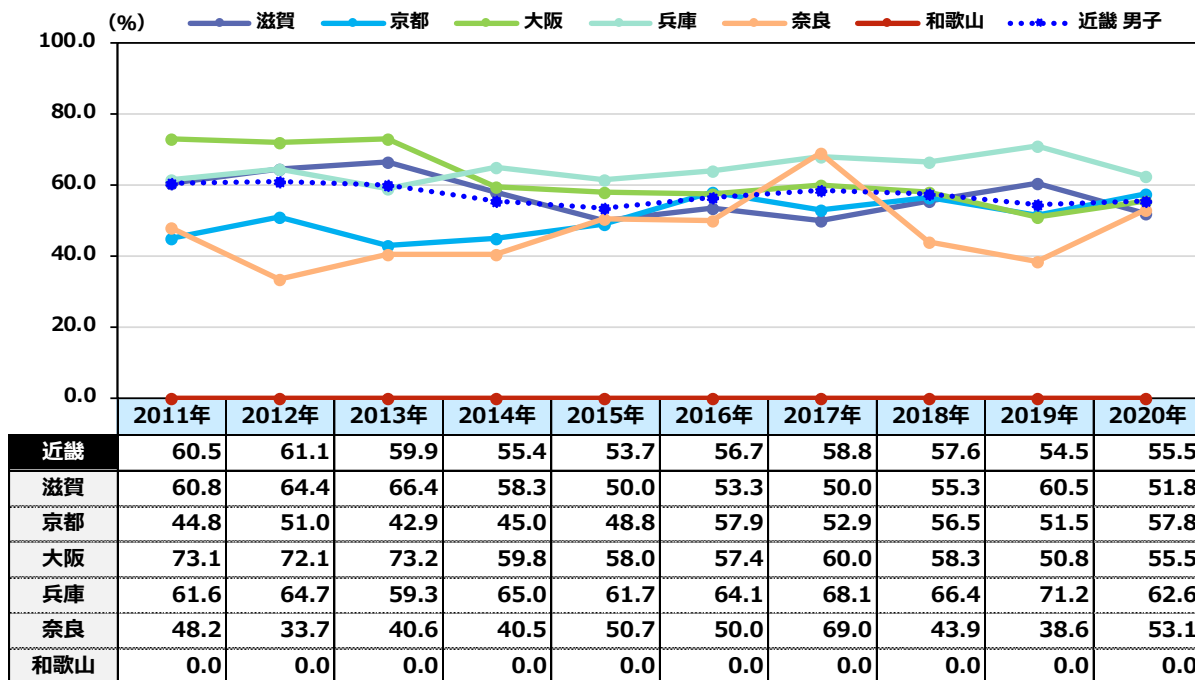
■ 大学は、2011年42.8%→2020年44.1%（1.3ポイント上昇）
短期大学は、2011年60.5%→2020年55.5%（5.0ポイント低下）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、和歌山県（2011年9.1%→2020年14.5%、5.4ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、京都府（2011年44.8%→2020年57.8%、13.0ポイント上昇）。

大学男子：地元残留率



短期大学男子：地元残留率



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

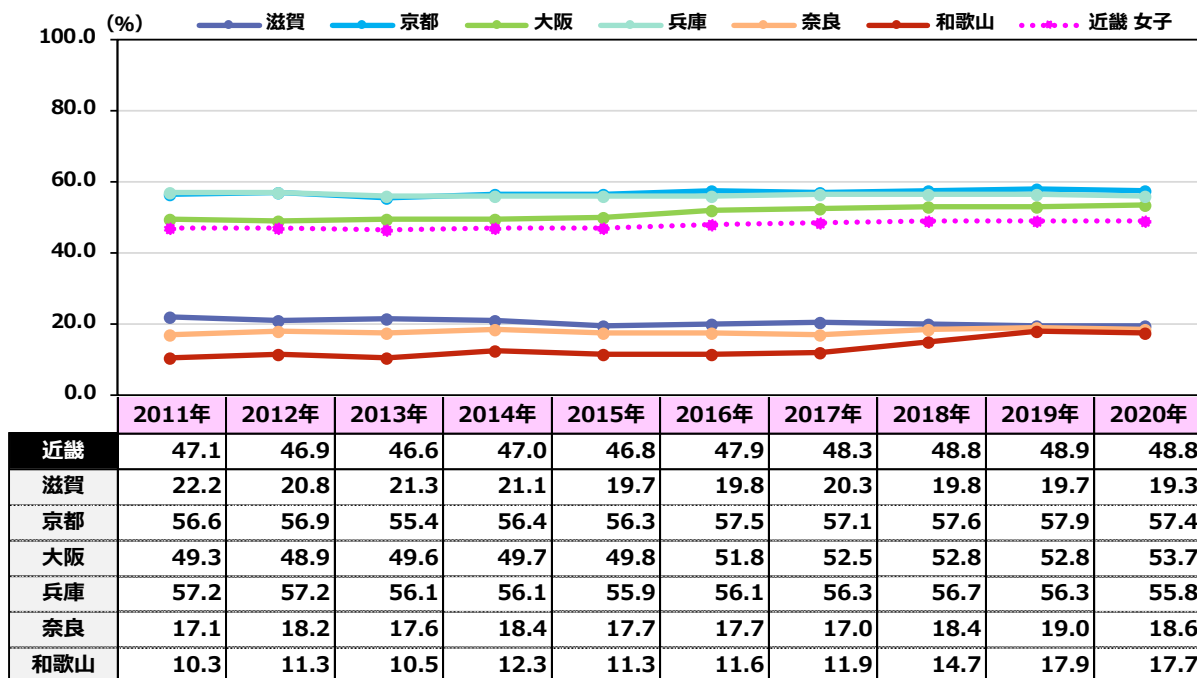
・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（女子：近畿：2011～2020年）

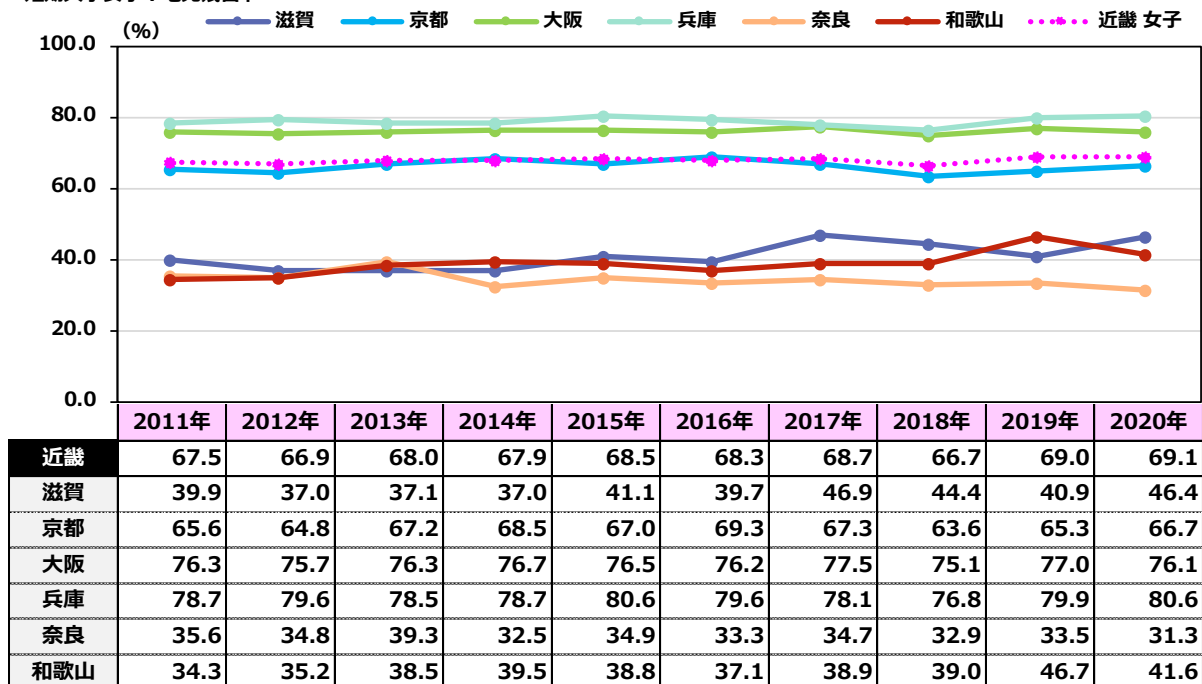
- 大学は、2011年47.1%→2020年48.8%（1.7ポイント上昇）
- 短期大学は、2011年67.5%→2020年69.1%（1.6ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、和歌山県（2011年10.3%→2020年17.7%、7.4ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、和歌山県（2011年34.3%→2020年41.6%、7.3ポイント上昇）。

大学女子：地元残留率

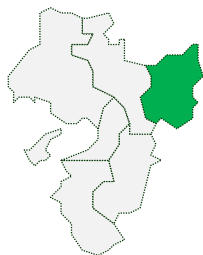


短期大学女子：地元残留率



近畿エリア概要（全体：府県別）

滋賀県



学校数

大学 : 9 (国立 2・公立 1・私立 6)
短期大学 : 3 (私立 3)
専門学校 : 18 (公立 3・私立 15)

卒業者数

2011年12,186人→2020年12,786人 (600人増加)

進学者数

大学 : 2011年6,110人→2020年6,521人 (411人増加)
短期大学 : 2011年 957人→2020年 702人 (255人減少)
専門学校 : 2011年1,805人→2020年2,113人 (308人増加)

進学率（現役）

大学 : 2011年50.1%→2020年51.0% (0.9ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 7.9%→2020年 5.5% (2.4ポイント低下)
専門学校 : 2011年14.8%→2020年16.5% (1.7ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年22.6%→2020年20.9% (1.7ポイント低下)
短期大学 : 2011年42.4%→2020年47.2% (4.8ポイント上昇)

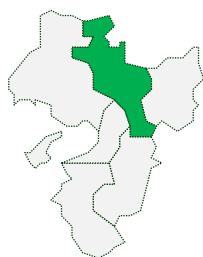
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (1,321人)、2位京都 (1,318人)、3位兵庫 (529人)
短期大学 : 1位京都 (28人)、2位福井 (11人)、3位岐阜 (10人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位京都 (2,975人)、2位大阪 (1,351人)、3位兵庫 (238人)
短期大学 : 1位京都 (282人)、2位大阪 (37人)、3位岐阜 (31人)

京都府



学校数

大学 : 34 (国立 3・公立 4・私立 27)
短期大学 : 11 (私立 11)
専門学校 : 53 (公立 4・私立 49)

卒業者数

2011年22,529人→2020年22,541人 (12人増加)

進学者数

大学 : 2011年13,324人→2020年14,155人 (831人増加)
短期大学 : 2011年 1,490人→2020年 1,019人 (471人減少)
専門学校 : 2011年 2,957人→2020年 3,111人 (154人増加)

進学率（現役）

大学 : 2011年59.1%→2020年62.8% (3.7ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 6.6%→2020年 4.5% (2.1ポイント低下)
専門学校 : 2011年13.1%→2020年13.8% (0.7ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年49.6%→2020年50.7% (1.1ポイント上昇)
短期大学 : 2011年63.5%→2020年65.4% (1.9ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (7,182人)、2位滋賀 (2,975人)、3位兵庫 (2,771人)
短期大学 : 1位滋賀 (282人)、2位大阪 (239人)、3位兵庫 (66人)

入学者流出先 ※地元は除く

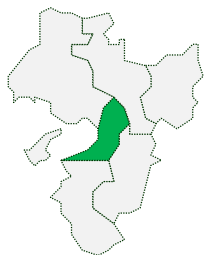
大学 : 1位大阪 (3,267人)、2位滋賀 (1,318人)、3位兵庫 (755人)
短期大学 : 1位大阪 (205人)、2位兵庫 (75人)、3位滋賀 (28人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

近畿エリア概要（全体：府県別）

大阪府



学校数

大学 : 55 (国立 2・公立 2・私立 51)
短期大学 : 23 (私立 23)
専門学校 : 211 (国立 1・公立 1・私立 209)

卒業者数

2011年69,770人→2020年72659人 (2,889人増加)

進学者数

大学 : 2011年35,936人→2020年41,060人 (5,124人増加)
短期大学 : 2011年 5,040人→2020年 3,749人 (1,291人減少)
専門学校 : 2011年 9,925人→2020年11,566人 (1,641人増加)

進学率（現役）

大学 : 2011年51.5%→2020年56.5% (5.0ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 7.2%→2020年 5.2% (2.0ポイント低下)
専門学校 : 2011年14.2%→2020年15.9% (1.7ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年54.6%→2020年57.4% (2.8ポイント上昇)
短期大学 : 2011年75.9%→2020年73.9% (2.0ポイント低下)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位兵庫 (7,506人)、2位京都 (3,267人)、3位奈良 (3,157人)
短期大学 : 1位兵庫 (282人)、2位奈良 (261人)、3位京都 (205人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位京都 (7,182人)、2位兵庫 (5,362人)、3位奈良 (1,595人)
短期大学 : 1位兵庫 (583人)、2位京都 (239人)、3位奈良 (154人)

学校数

大学 : 36 (国立 2・公立 3・私立 31)
短期大学 : 17 (私立 17)
専門学校 : 80 (国立 1・公立 8・私立 71)

卒業者数

2011年45,587人→2020年45,077人 (510人減少)

進学者数

大学 : 2011年24,562人→2020年26,108人 (1,546人増加)
短期大学 : 2011年 2,725人→2020年 2,012人 (713人減少)
専門学校 : 2011年 6,161人→2020年 6,336人 (175人増加)

進学率（現役）

大学 : 2011年53.9%→2020年57.9% (4.0ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 6.0%→2020年 4.5% (1.5ポイント低下)
専門学校 : 2011年13.5%→2020年14.1% (0.6ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年46.1%→2020年44.9% (1.2ポイント低下)
短期大学 : 2011年76.8%→2020年77.8% (1.0ポイント上昇)

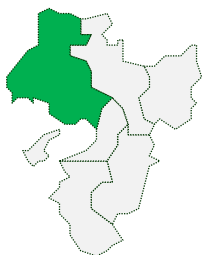
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (5,362人)、2位京都 (755人)、3位岡山 (643人)
短期大学 : 1位大阪 (583人)、2位京都 (75人)、3位奈良 (64人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (7,506人)、2位京都 (2,771人)、3位東京 (941人)
短期大学 : 1位大阪 (282人)、2位京都 (66人)、3位東京 (21人)

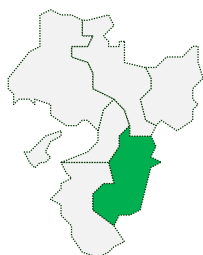
兵庫県



- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

近畿エリア概要（全体：府県別）

奈良県



学校数

大学 : 11 (国立 3・公立 2・私立 6)
短期大学 : 3 (私立 3)
専門学校 : 28 (公立 3・私立 25)

卒業者数

2011年12,338人→2020年11,830人 (508人減少)

進学者数

大学 : 2011年6,345人→2020年6,508人 (163人増加)
短期大学 : 2011年 801人→2020年 534人 (267人減少)
専門学校 : 2011年1,743人→2020年1,604人 (139人減少)

進学率（現役）

大学 : 2011年51.4%→2020年55.0% (3.6ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 6.5%→2020年 4.5% (2.0ポイント低下)
専門学校 : 2011年14.1%→2020年13.6% (0.5ポイント低下)

残留率

大学 : 2011年15.1%→2020年16.1% (1.0ポイント上昇)
短期大学 : 2011年36.8%→2020年33.7% (3.1ポイント低下)

入学者流入元

※地元は除く

大学 : 1位大阪 (1,595人)、2位京都 (462人)、3位兵庫 (301人)
短期大学 : 1位大阪 (154人)、2位三重 (31人)、3位京都 (28人)

入学者流出先

※地元は除く

大学 : 1位大阪 (3,157人)、2位京都 (1,562人)、3位兵庫 (622人)
短期大学 : 1位大阪 (261人)、2位兵庫 (64人)、3位京都 (29人)

学校数

大学 : 4 (国立 1・公立1・私立 2)
短期大学 : 1 (私立 1)
専門学校 : 20 (公立 6・私立 14)

卒業者数

2011年9,520人→2020年8,482人 (1,038人減少)

進学者数

大学 : 2011年4,041人→2020年3,965人 (76人減少)
短期大学 : 2011年 612人→2020年 366人 (246人減少)
専門学校 : 2011年1,660人→2020年1,523人 (137人減少)

進学率（現役）

大学 : 2011年42.4%→2020年46.7% (4.3ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 6.4%→2020年 4.3% (2.1ポイント低下)
専門学校 : 2011年17.4%→2020年18.0% (0.6ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年9.6%→2020年16.0% (6.4ポイント上昇)
短期大学 : 2011年31.2%→2020年37.5% (6.3ポイント上昇)

入学者流入元

※地元は除く

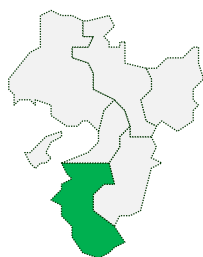
大学 : 1位大阪 (740人)、2位兵庫 (95人)、3位奈良 (57人)
短期大学 : 1位大阪 (3人)

入学者流出先

※地元は除く

大学 : 1位大阪 (1,766人)、2位京都 (435人)、3位兵庫 (385人)
短期大学 : 1位大阪 (144人)、2位兵庫 (35人)、3位奈良 (21人)

和歌山県



- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

関西医療大学大学院 保健医療学研究科（志願者・入学者・修了者）

修了年度	志願者 (人)	入学者数 (人)	修了者数 (人)	備 考
平成19年度（2007）	14	12	-	保健医療学研究科 鍼灸学専攻 開設
平成20年度（2008）	8	5	9	
平成21年度（2009）	9	8	6	
平成22年度（2010）	6	4	9	
平成23年度（2011）	10	10	4	保健医療学研究科 保健医療学専攻 開設
平成24年度（2012）	8	8	10	
平成25年度（2013）	7	7	7	
平成26年度（2014）	8	8	5	
平成27年度（2015）	5	5	8	
平成28年度（2016）	9	8	5	
平成29年度（2017）	10	10	8	
平成30年度（2018）	7	7	8	
令和元年度（2019）	14	13	8	
令和2年度（2020）	8	8	13	
令和3年度（2021）	14	13	8	
令和4年度（2022）	7	7	12	
計	144	133	120	

既設学科等の定員充足状況並びに過去5年程度の入学志願状況

保健医療学研究科 保健医療学専攻

年度	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	I 期	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	0.77
	II 期	4 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	
	合 計	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	
2019年度	I 期	8 (1)	8 (1)	8 (1)	7 (0)	1.44
	II 期	6 (4)	6 (4)	6 (4)	6 (4)	
	合 計	14 (5)	14 (5)	14 (5)	13 (4)	
2020年度	I 期	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	0.88
	II 期	0 (0)				
	合 計	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	
2021年度	I 期	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	1.55
	II 期	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	合 計	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	
2022年度	I 期	7 (0)	7 (0)	7 (0)	7 (0)	0.77
	II 期	0 (0)				
	合 計	7 (0)	7 (0)	7 (0)	7 (0)	
2023年度	I 期	5 (3)	5 (3)	5 (3)		
	II 期	8 (3)	8 (3)	8 (3)		
	合 計	13 (6)	13 (6)	13 (6)		

() 内は女子内数

保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	AO選抜	I 期	17 (7)	17 (7)	12 (5)	11 (4)	
		II 期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	スポAO選抜	I 期	14 (5)	14 (5)	13 (5)	13 (5)	
		II 期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	推薦選抜	公募制 I 期	14 (4)	14 (4)	12 (4)	9 (4)	
		公募制 II 期	8 (2)	7 (2)	6 (2)	4 (1)	
		指定校制	6 (3)	6 (3)	6 (3)	6 (3)	
		校友子弟	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	一般選抜	前期A日程	6 (1)	6 (1)	6 (1)	1 (0)	
		前期B日程	4 (1)	4 (1)	3 (1)	1 (0)	
		中期	7 (4)	6 (4)	5 (3)	0 (0)	
		後期	4 (1)	4 (1)	4 (1)	3 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
		中期	0				
		後期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	社会人選抜		0				
	合 計		85 (29)	83 (29)	71 (26)	51 (18)	1.02
2019年度	AO選抜	I 期	5 (2)	5 (2)	4 (2)	4 (2)	
		II 期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	スポAO選抜	I 期	7 (2)	7 (2)	5 (2)	5 (2)	
		II 期	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	
	推薦選抜	公募制 I 期	13 (2)	13 (2)	12 (2)	8 (1)	
		公募制 II 期	9 (2)	8 (2)	8 (2)	6 (2)	
		指定校制	12 (5)	12 (5)	12 (5)	12 (5)	
		校友子弟	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	一般選抜	前期A日程	10 (4)	10 (4)	9 (4)	5 (0)	
		前期B日程	7 (0)	7 (0)	3 (0)	0 (0)	
		中期	6 (1)	6 (1)	5 (1)	1 (0)	
		後期	9 (1)	8 (1)	7 (1)	5 (1)	
	センター試験 利用選抜	前期	3 (1)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	
		中期					
		後期					
	社会人選抜		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	合 計		86 (20)	84 (20)	71 (20)	50 (13)	1.00
2020年度	AO選抜	I 期	9 (2)	9 (2)	9 (2)	8 (1)	
		II 期	0 (0)				
	スポAO選抜	I 期	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	
		II 期	0 (0)				
	推薦選抜	公募制 I 期	21 (8)	21 (8)	19 (8)	11 (4)	
		公募制 II 期	8 (4)	7 (4)	7 (4)	3 (2)	
		指定校制	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	8 (5)	8 (5)	7 (5)	3 (1)	
		前期B日程	6 (5)	6 (5)	6 (5)	1 (1)	
		中期	6 (2)	6 (2)	6 (2)	2 (1)	
		後期	3 (1)	3 (1)	3 (1)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	3 (1)	3 (1)	1 (1)	0 (0)	
		中期	1 (1)	1 (1)	0 (0)		
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		86 (32)	85 (32)	79 (31)	51 (13)	1.02

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2021年度	総合型選抜		23 (5)	22 (5)	22 (5)	22 (5)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	19 (9)	19 (9)	14 (7)	7 (2)	
		公募制Ⅱ期	10 (6)	9 (6)	7 (5)	4 (3)	
		指定校制	18 (8)	18 (8)	18 (8)	18 (8)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	11 (6)	10 (5)	6 (4)	2 (2)	
		前期B日程	6 (2)	6 (2)	3 (0)	0 (0)	
		中期	2 (1)	2 (1)	0 (0)		
		後期	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	4 (2)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		95 (40)	92 (39)	73 (30)	54 (20)	1.08
2022年度	総合型選抜		23 (7)	22 (6)	21 (6)	21 (6)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	10 (3)	10 (3)	8 (3)	7 (3)	
		公募制Ⅱ期	8 (6)	8 (6)	7 (5)	3 (1)	
		指定校制	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	9 (3)	8 (3)	8 (3)	3 (1)	
		前期B日程	5 (2)	5 (2)	5 (2)	0 (0)	
		中期	3 (2)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	
		後期	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		68 (27)	66 (26)	61 (24)	42 (13)	0.84

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

保健医療学部 理学療法学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	71 (24)	70 (24)	21 (7)	19 (6)	
		公募制Ⅱ期	50 (18)	47 (16)	15 (5)	14 (4)	
		指定校制	19 (10)	19 (10)	19 (10)	19 (10)	
		校友子弟	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	一般選抜	前期A日程	54 (17)	53 (17)	12 (5)	2 (1)	
		前期B日程	44 (11)	42 (10)	9 (4)	3 (2)	
		中期	28 (6)	25 (6)	4 (0)	3 (0)	
		後期	18 (4)	16 (4)	4 (2)	3 (1)	
	センター試験 利用選抜	前期	17 (5)	17 (5)	5 (2)	0 (0)	
		中期	4 (0)	4 (0)	0 (0)		
		後期	5 (1)	5 (1)	0 (0)		
	社会人選抜		0				
	合 計		311 (96)	299 (93)	90 (35)	64 (24)	1.06
2019年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	76 (26)	75 (26)	25 (10)	20 (9)	
		公募制Ⅱ期	51 (16)	46 (13)	16 (4)	13 (3)	
		指定校制	20 (6)	20 (6)	20 (6)	20 (6)	
		校友子弟	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
	一般選抜	前期A日程	56 (19)	55 (19)	12 (7)	2 (2)	
		前期B日程	46 (14)	46 (14)	9 (3)	5 (2)	
		中期	23 (10)	21 (9)	4 (3)	2 (1)	
		後期	14 (4)	13 (3)	2 (0)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	32 (13)	32 (13)	9 (6)	0 (0)	
		中期	7 (5)	7 (5)	2 (2)	0 (0)	
		後期	5 (3)	5 (3)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
合 計		331 (116)	321 (111)	101 (42)	65 (23)	1.08	
2020年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	82 (24)	81 (24)	23 (12)	18 (10)	
		公募制Ⅱ期	47 (9)	44 (8)	15 (4)	13 (4)	
		指定校制	24 (11)	24 (11)	24 (11)	24 (11)	
		ファミリー	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	一般選抜	前期A日程	49 (10)	47 (10)	9 (2)	4 (1)	
		前期B日程	42 (9)	40 (9)	9 (2)	2 (0)	
		中期	27 (4)	24 (4)	4 (1)	1 (0)	
		後期	14 (4)	13 (4)	4 (1)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	14 (7)	14 (7)	2 (1)	0 (0)	
		中期	5 (4)	5 (4)	3 (2)	0 (0)	
		後期	3 (2)	3 (2)	0 (0)		
	社会人選抜						
	合 計		308 (84)	296 (83)	94 (36)	65 (26)	1.08
2021年度	総合型選抜		11 (2)	11 (2)	7 (2)	7 (2)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	65 (21)	61 (20)	20 (9)	13 (6)	
		公募制Ⅱ期	36 (8)	35 (8)	9 (3)	7 (1)	
		指定校制	29 (13)	29 (13)	29 (13)	29 (13)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	46 (16)	45 (16)	16 (10)	5 (3)	
		前期B日程	26 (5)	25 (5)	8 (2)	2 (0)	
		中期	20 (4)	13 (2)	3 (0)	1 (0)	
		後期	10 (0)	8 (0)	2 (0)	2 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	14 (5)	14 (5)	5 (4)	0 (0)	
		中期	8 (2)	8 (2)	4 (1)	0 (0)	
		後期	1 (0)	1 (0)	0 (0)		
	社会人選抜		0 (0)				
合 計		266 (76)	250 (73)	103 (44)	66 (25)	1.10	
2022年度	総合型選抜		20 (9)	20 (9)	7 (5)	7 (5)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	49 (14)	49 (14)	25 (10)	15 (5)	
		公募制Ⅱ期	34 (9)	32 (9)	15 (4)	12 (2)	
		指定校制	19 (10)	19 (10)	19 (10)	19 (10)	
		一般選抜	前期A日程	39 (9)	36 (8)	11 (4)	
	前期B日程		27 (6)	25 (5)	13 (3)	5 (1)	
	中期		10 (5)	9 (4)	4 (1)	4 (1)	
	後期		5 (1)	5 (1)	2 (0)	2 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	17 (4)	17 (4)	6 (2)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	1 (0)	1 (0)	0 (0)		
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		221 (67)	213 (64)	102 (39)	65 (24)	1.08

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

保健医療学部 作業療法学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2019年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	31 (12)	30 (12)	23 (10)	13 (4)	
		公募制Ⅱ期	22 (8)	22 (8)	13 (6)	6 (3)	
		指定校制	8 (6)	8 (6)	8 (6)	8 (6)	
	一般選抜	前期A日程	21 (9)	21 (9)	16 (8)	5 (3)	
		前期B日程	18 (10)	18 (10)	10 (9)	5 (5)	
		中期	19 (7)	17 (6)	11 (6)	6 (2)	
		後期	12 (3)	11 (3)	6 (3)	3 (1)	
	センター試験 利用選抜	前期	3 (3)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	2 (0)	2 (0)	0 (0)		
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		136 (58)	132 (57)	90 (51)	46 (24)	1.15
2020年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	39 (29)	39 (29)	27 (21)	18 (14)	
		公募制Ⅱ期	21 (11)	21 (11)	11 (5)	5 (3)	
		指定校制	7 (5)	7 (5)	7 (5)	7 (5)	
	一般選抜	前期A日程	15 (8)	14 (7)	5 (3)	1 (0)	
		前期B日程	16 (9)	16 (9)	5 (2)	1 (0)	
		中期	16 (7)	14 (6)	9 (3)	3 (1)	
		後期	12 (6)	12 (6)	8 (4)	5 (3)	
	センター試験 利用選抜	前期	6 (4)	6 (4)	3 (3)	0 (0)	
		中期	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	
		後期	2 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	
	社会人選抜						
	合 計		136 (82)	133 (80)	78 (48)	40 (26)	1.00
2021年度	総合型選抜		5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	33 (20)	30 (18)	22 (12)	7 (1)	
		公募制Ⅱ期	18 (12)	16 (10)	12 (9)	6 (4)	
		指定校制	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	
	一般選抜	前期A日程	11 (4)	11 (4)	8 (4)	2 (0)	
		前期B日程	11 (5)	10 (5)	10 (5)	4 (3)	
		中期	8 (5)	8 (5)	8 (5)	0 (0)	
		後期	12 (6)	12 (6)	8 (4)	1 (1)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		106 (62)	100 (58)	81 (49)	30 (17)	0.75
2022年度	総合型選抜		5 (2)	5 (2)	4 (2)	4 (2)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	23 (13)	23 (13)	20 (11)	11 (5)	
		公募制Ⅱ期	14 (9)	14 (9)	14 (9)	5 (2)	
		指定校制	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	
	一般選抜	前期A日程	19 (13)	19 (13)	19 (13)	2 (2)	
		前期B日程	8 (5)	8 (5)	8 (5)	0 (0)	
		中期	7 (7)	7 (7)	7 (7)	1 (1)	
		後期	8 (6)	8 (6)	8 (6)	3 (1)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		90 (61)	90 (61)	86 (59)	30 (17)	0.75

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	AO選抜	I 期	12 (4)	11 (4)	11 (4)	11 (4)	
		II 期	0 (0)				
	スポAO選抜	I 期	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	
		II 期	2 (0)	0 (0)			
	推薦選抜	公募制 I 期	9 (1)	9 (1)	6 (1)	3 (0)	
		公募制 II 期	5 (1)	5 (1)	5 (1)	5 (1)	
		指定校制	9 (0)	9 (0)	9 (0)	9 (0)	
		校友子弟	0				
	一般選抜	前期A日程	6 (0)	6 (0)	6 (0)	3 (0)	
		前期B日程	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
		中期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
		後期	5 (0)	5 (0)	5 (0)	1 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
		中期	0				
		後期	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0				
	合 計		57 (8)	54 (8)	51 (8)	37 (6)	0.92
2019年度	AO選抜	I 期	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	
		II 期	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	スポAO選抜	I 期	4 (1)	4 (1)	4 (1)	4 (1)	
		II 期	0 (0)				
	推薦選抜	公募制 I 期	5 (0)	5 (0)	4 (0)	3 (0)	
		公募制 II 期	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
		指定校制	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	
		校友子弟	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	3 (2)	3 (2)	3 (2)	0 (0)	
		前期B日程	4 (0)	4 (0)	3 (0)	1 (0)	
		中期	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
		後期	4 (0)	4 (0)	3 (0)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		47 (7)	46 (7)	43 (7)	35 (5)	0.87
2020年度	AO選抜	I 期	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	
		II 期	0 (0)				
	スポAO選抜	I 期	5 (1)	5 (1)	5 (1)	5 (1)	
		II 期	0 (0)				
	推薦選抜	公募制 I 期	8 (2)	8 (2)	6 (2)	2 (1)	
		公募制 II 期	2 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	
		指定校制	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
		前期B日程	6 (1)	6 (1)	6 (1)	4 (0)	
		中期	4 (1)	4 (1)	3 (1)	1 (0)	
		後期	4 (2)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	0 (0)				
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		48 (11)	48 (11)	43 (11)	34 (7)	0.85

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2021年度	総合型選抜		18 (5)	18 (5)	18 (5)	18 (5)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	13 (3)	11 (3)	8 (2)	1 (0)	
		公募制Ⅱ期	4 (0)	4 (0)	3 (0)	1 (0)	
		指定校制	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	
		前期B日程	4 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	
		中期	0 (0)				
		後期	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	0 (0)				
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		44 (9)	41 (9)	36 (8)	24 (6)	0.60
2022年度	総合型選抜		17 (6)	17 (6)	17 (6)	17 (6)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	4 (1)	4 (1)	3 (1)	3 (1)	
		公募制Ⅱ期	0 (0)				
		指定校制	7 (3)	7 (3)	7 (3)	7 (3)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	5 (2)	5 (2)	4 (2)	2 (0)	
		前期B日程	1 (0)	1 (0)	0 (0)		
		中期	0 (0)				
		後期	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	0 (0)				
		中期	0 (0)				
		後期	0 (0)				
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		35 (13)	35 (13)	32 (13)	29 (10)	0.72

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

保健医療学部 臨床検査学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	85 (51)	85 (51)	25 (19)	19 (15)	
		公募制Ⅱ期	50 (28)	48 (26)	18 (12)	14 (9)	
		指定校制	16 (11)	16 (11)	16 (11)	16 (11)	
		校友子弟	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	80 (46)	79 (46)	18 (12)	5 (3)	
		前期B日程	56 (26)	55 (25)	11 (5)	6 (2)	
		中期	42 (24)	34 (20)	3 (2)	3 (2)	
		後期	21 (11)	18 (11)	2 (0)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	37 (22)	37 (22)	9 (6)	2 (2)	
		中期	15 (12)	15 (12)	3 (2)	1 (0)	
		後期	4 (3)	4 (3)	1 (0)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		406 (234)	391 (227)	106 (69)	68 (44)	1.13
2019年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	97 (60)	96 (60)	28 (21)	21 (16)	
		公募制Ⅱ期	61 (34)	58 (31)	12 (8)	10 (6)	
		指定校制	19 (9)	19 (9)	19 (9)	19 (9)	
		校友子弟	0 (0)				

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
	一般選抜	前期A日程	95 (57)	91 (55)	16 (13)	7 (5)	
		前期B日程	64 (36)	59 (33)	11 (9)	3 (3)	
		中期	50 (24)	43 (21)	3 (1)	2 (1)	
		後期	32 (14)	28 (10)	2 (0)	2 (0)	
	センター試験 利用選抜	前期	54 (37)	54 (37)	10 (5)	2 (0)	
		中期	16 (8)	16 (8)	3 (3)	0 (0)	
		後期	10 (9)	10 (9)	1 (1)	1 (1)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		498 (288)	474 (273)	105 (70)	67 (41)	1.11
2020年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	113 (69)	113 (69)	29 (20)	23 (15)	
		公募制Ⅱ期	75 (44)	69 (42)	12 (10)	10 (8)	
		指定校制	19 (14)	19 (14)	19 (14)	19 (14)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	88 (53)	86 (52)	14 (9)	3 (1)	
		前期B日程	73 (43)	71 (41)	14 (10)	4 (3)	
		中期	40 (21)	30 (15)	4 (3)	3 (2)	
		後期	15 (8)	14 (7)	3 (2)	3 (2)	
	センター試験 利用選抜	前期	54 (30)	54 (30)	10 (3)	1 (0)	
		中期	14 (10)	14 (10)	3 (2)	0 (0)	
		後期	5 (2)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		496 (294)	475 (282)	110 (74)	66 (45)	1.10
2021年度	総合型選抜		9 (6)	9 (6)	5 (5)	5 (5)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	82 (58)	77 (55)	22 (18)	14 (12)	
		公募制Ⅱ期	50 (35)	44 (32)	17 (12)	12 (8)	
		指定校制	18 (15)	18 (15)	18 (15)	18 (15)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	70 (50)	69 (50)	21 (15)	6 (4)	
		前期B日程	33 (20)	32 (20)	10 (6)	5 (3)	
		中期	21 (12)	12 (8)	2 (1)	0 (0)	
		後期	12 (8)	10 (7)	1 (0)	1 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	41 (32)	41 (32)	11 (10)	0 (0)	
		中期	7 (6)	7 (6)	2 (2)	0 (0)	
		後期	3 (3)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		346 (245)	322 (234)	110 (85)	61 (47)	1.01
2022年度	総合型選抜		12 (11)	12 (11)	8 (8)	8 (8)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	68 (51)	67 (50)	25 (19)	18 (14)	
		公募制Ⅱ期	60 (47)	58 (45)	14 (13)	10 (9)	
		指定校制	23 (18)	23 (18)	23 (18)	23 (18)	
		ファミリー	0 (0)				
	一般選抜	前期A日程	70 (49)	68 (48)	14 (12)	3 (3)	
		前期B日程	50 (33)	48 (31)	10 (9)	4 (3)	
		中期	32 (20)	26 (16)	5 (3)	3 (2)	
		後期	15 (10)	11 (6)	2 (1)	1 (0)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	42 (31)	42 (31)	7 (7)	0 (0)	
		中期	15 (11)	15 (11)	0 (0)		
		後期	6 (5)	6 (5)	0 (0)		
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		393 (286)	376 (272)	108 (90)	70 (57)	1.16

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

保健看護学部 保健看護学科

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2018年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	178 (153)	175 (150)	33 (30)	25 (23)	
		公募制Ⅱ期	126 (104)	114 (93)	14 (13)	11 (11)	
		指定校制	26 (25)	26 (25)	26 (25)	26 (25)	
		校友子弟	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	
	一般選抜	前期A日程	214 (165)	199 (152)	31 (23)	10 (7)	
		前期B日程	168 (129)	156 (117)	18 (15)	5 (4)	
		中期	120 (93)	108 (83)	16 (14)	14 (12)	
		後期	59 (45)	51 (39)	11 (8)	10 (7)	
	センター試験 利用選抜	前期	83 (70)	83 (70)	11 (9)	0 (0)	
		中期	27 (23)	27 (23)	2 (2)	0 (0)	
		後期	21 (17)	21 (17)	2 (2)	0 (0)	
	社会人選抜		1 (1)	1 (1)	0 (0)		
	合 計		1026 (827)	964 (772)	167 (143)	104 (91)	1.15
2019年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	191 (159)	188 (156)	36 (28)	25 (19)	
		公募制Ⅱ期	128 (106)	117 (96)	16 (15)	13 (12)	
		指定校制	26 (23)	26 (23)	26 (23)	26 (23)	
		校友子弟	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	一般選抜	前期A日程	153 (129)	149 (126)	22 (21)	8 (8)	
		前期B日程	164 (139)	160 (137)	27 (26)	10 (10)	
		中期	106 (87)	95 (78)	11 (10)	6 (5)	
		後期	63 (51)	55 (45)	8 (6)	6 (4)	
	センター試験 利用選抜	前期	82 (74)	82 (74)	15 (15)	0 (0)	
		中期	34 (29)	34 (29)	3 (3)	0 (0)	
		後期	13 (9)	13 (9)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		961 (806)	920 (773)	166 (148)	95 (81)	1.05
2020年度	推薦選抜	公募制Ⅰ期	193 (162)	193 (162)	42 (35)	21 (15)	
		公募制Ⅱ期	121 (100)	114 (94)	20 (16)	12 (9)	
		指定校制	24 (22)	24 (22)	24 (22)	24 (22)	
		ファミリー	1 (1)	1 (1)	0 (0)		
	一般選抜	前期A日程	131 (112)	127 (108)	22 (19)	5 (4)	
		前期B日程	159 (139)	151 (132)	29 (27)	3 (3)	
		中期	84 (73)	74 (64)	18 (16)	13 (11)	
		後期	47 (34)	44 (31)	17 (10)	14 (8)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	71 (65)	71 (65)	16 (14)	0 (0)	
		中期	17 (16)	17 (16)	4 (4)	0 (0)	
		後期	9 (5)	9 (5)	3 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	合 計		858 (730)	826 (701)	196 (165)	93 (73)	1.03
2021年度	総合型選抜		32 (27)	32 (27)	7 (7)	7 (7)	
	推薦選抜	公募制Ⅰ期	214 (175)	208 (170)	31 (26)	17 (12)	
		公募制Ⅱ期	162 (132)	155 (128)	18 (13)	11 (6)	
		指定校制	36 (30)	36 (30)	36 (30)	36 (30)	
		ファミリー	7 (6)	7 (6)	1 (1)	1 (1)	
	一般選抜	前期A日程	156 (129)	141 (117)	25 (23)	8 (7)	
		前期B日程	136 (117)	123 (106)	23 (20)	8 (6)	
		中期	80 (67)	71 (59)	11 (11)	6 (6)	
		後期	63 (50)	61 (48)	10 (10)	7 (7)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	74 (65)	74 (65)	12 (11)	1 (1)	
		中期	24 (22)	24 (22)	5 (5)	3 (3)	
		後期	19 (16)	19 (16)	1 (1)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		1003 (836)	951 (794)	180 (158)	105 (86)	1.16

年度	試験区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
2022年度	総合型選抜		33 (26)	33 (26)	6 (4)	6 (4)	
	推薦選抜	公募Ⅰ期	138 (124)	137 (123)	35 (33)	24 (22)	
		公募Ⅱ期	120 (106)	115 (102)	25 (22)	20 (17)	
		指定校制	27 (25)	27 (25)	27 (25)	27 (25)	
		ファミリー	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	一般選抜	前期A日程	123 (107)	113 (97)	28 (23)	10 (8)	
		前期B日程	109 (91)	100 (82)	28 (25)	9 (8)	
		中期	52 (43)	43 (36)	7 (6)	5 (4)	
		後期	39 (34)	34 (31)	6 (6)	4 (4)	
	大学入学共通テスト 利用選抜	前期	50 (43)	50 (43)	11 (9)	0 (0)	
		中期	15 (14)	15 (14)	1 (1)	0 (0)	
		後期	14 (13)	14 (13)	2 (2)	0 (0)	
	社会人選抜		0 (0)				
	合 計		721 (627)	682 (593)	177 (157)	106 (93)	1.17

() 内は女子内数

同一日程において複数方式の併願者がある場合は重複を除いた実人数を記載した。

2024.4 開設
予定保健医療学研究科
博士後期課程

(仮称・設置構想中)



開設予定
2024(令和6)年4月
修業年限
3年
入学定員
3名(収容定員9名)
取得学位
博士(保健医療学)

関西医療大学大学院 保健医療学研究科 修士課程では優れた臨床能力を持つ高度専門職業人と保健医療学分野の科学的探求心を持ち、研究に従事する人材の養成に努めてきました。このような修士課程での実績をさらに発展させるために、博士後期課程では、保健医療分野においてリーダーとなる高度な主導的臨床専門職を養成します。

また、保健医療の各分野を牽引するリーダーとしての責任感と判断力を養うことを発展させ、世界の保健医療分野の発展に貢献し、後進の指導を担える研究実践力を持つ、大学・研究機関の研究者として活躍できる人材を養成します。

カリキュラムは、修士課程では医療職種毎に3つのコースに分けて指導していますが、博士後期課程では様々な職種の学生が共に保健医療科学を追究し、新規の治療技術の開発を学ぶことのできる科目を設定し、これらの学修・研究活動を通して目的を達成します。

設置の目的と
特色

養成する人材像

保健医療分野での主導的臨床専門職

大学・研究機関の研究者として活躍できる人材

博士課程
(設置構想中)

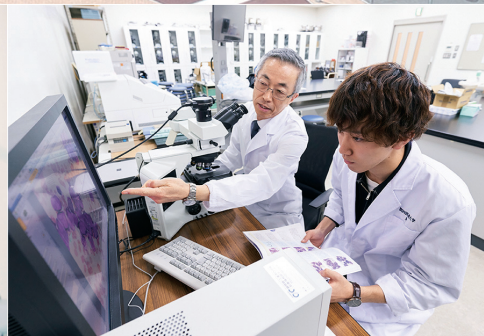
修士課程

保健医療科学
の追究新規の治療技術
の開発

- 臨床鍼灸学コース
- 臨床身体機能学コース
- 医科学コース

関西医療大学 大学院

2024年4月設置構想中のため、記載内容は変更になる場合があります。



学費（予定）

入学金 30 万円

授業料 60 万円（年額）

奨学金 日本学生支援機構、その他の奨学金を取り扱います。

備考

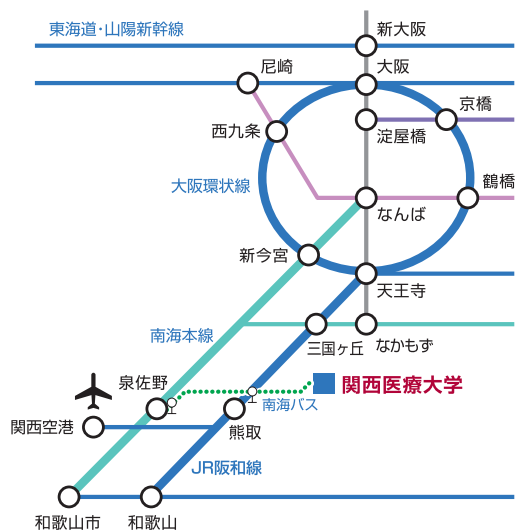
1. 関西医療大学大学院修士課程修了者は、入学金と同等程度の金額について援助する。
2. 関西医療大学を卒業し、他大学大学院を修了した学生は、入学金の半額相当程度の金額について援助する。
3. 特別研究への研究援助として、年間 10 万円を研究費として援助する。

関西医療大学 大学院

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 2-11-1

TEL 072-453-8251

<https://www.kansai.ac.jp>



競合する大学院博士後期課程の名称

	大学名	所在地	研究科名 (博士後期課程)	専攻	定員
1	鈴鹿医療科学大学	〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1	医療科学研究科 博士後期課程	医療科学	5
2	京都橘大学	〒607-8175 京都府京都市山科区大宅山田町34	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	3
3	明治国際医療大学	〒629-0392 京都府南丹市日吉町	鍼灸学研究科 博士後期課程	鍼灸学	4
4	大阪電気通信大学	〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18の8	医療福祉工学研究科 博士後期課程	医療福祉工学	5
5	関西福祉科学大学	〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11-1	社会福祉学研究科 博士後期課程	臨床福祉学	3
6	森ノ宮医療大学	〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	保健医療学研究科 博士後期課程	医療科学	2
7	神戸学院大学	〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷有瀬518	総合リハビリテーション研究科 博士後期課程	医療リハビリテーション学	3
8	畿央大学	〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2	健康科学研究科 博士後期課程	健康科学	5

〔抜粋〕

**2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿
～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善
の方策～
（審議まとめ）**

平成31年(2019年)1月22日
中央教育審議会大学分科会

3. 大学院教育の改善方法

⑥博士後期課程修了者の進路の確保とキャリアパスの多様化

⑥博士後期課程修了者の進路の確保とキャリアパスの多様化

(進路の確保とキャリアパスの多様化に向けた大学院教育の改革)

博士課程修了者のキャリアパスについては、平成 17 年大学院答申において、「学生はもとより、大学、産業界等の各主体が、博士課程修了者は大学の研究者になることが当然という意識を改める必要がある。多様な進路の開拓を図るため、各大学院においては、幅広い知識・能力に裏打ちされた高度な専門性を培い、社会のニーズの変化に対応できる人材養成を行うよう、各種の取組が求められる」とされてきたが、平成 30 (2018) 年度では博士課程を修了し就職した者の全体について、人文・社会科学系では約 4 ～ 5 割が大学教員となっており、理工系では約 9 割が大学教員又はその他の研究者・技術者となっている³⁷。また、博士課程教育リーディングプログラムの修了生であっても、企業へ就職した者のうち、研究者・技術者以外となった者は約 1 割と少ない³⁸。

上記のとおり、かつては、博士課程修了者は大学の研究者となることが有力な進路と目されてきたが、これまで述べてきたとおり、我が国の将来に向けて博士課程修了者の高度な専門性や幅広い能力を多様な場で活用していくためには、起業という選択肢も含め、大学以外の場や研究者以外の進路も拡大していくことが必要である。

まず、博士課程のカリキュラムや博士課程修了者の意識と企業の認識との間のずれを解消することが、大学以外の場や研究者以外の進路を拡大する上では必要であり、各大学は、教育プログラムとしての大学院教育を確立するとともに、23 ページにおいて述べたとおり、博士課程教育リーディングプログラムの取組も参考にしつつ、博士課程修了者が企業の求める俯瞰的な能力を身に付けられる取組や、企業と博士課程修了者の相互理解が進む取組を実施する必要がある。

(企業等の在り方と博士課程修了者の活躍状況の可視化)

〔抜粋〕

**新時代の大学院教育
―国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて―
答申**

**平成17年9月5日
中央教育審議会**

第1章 国際的に魅力ある大学院教育に向けて
第2節 基本的な考え方を支える諸条件について
2 博士、修士、専門職学位課程の目的・役割の焦点化

○ 医療系大学院の博士課程

医療系大学院は、従来、研究者として自立するに必要な研究能力を培い、医学・医療における特定の専門分野について深い研究を行い得る研究者の養成を行い、また、学術研究を遂行することを主たる目的としていた。しかし、現在における医療系大学院は、これら研究者のみならず、医師・歯科医師など高度の専門性を必要とされる業務に必要な能力と研究マインドを涵養することも求められるようになってきており、医療系大学院が果たすべき機能は多様化している。

[抜粋]

**第 11 期 科学技術・学術審議会
人材委員会 審議まとめ
(論点整理)**

令和4年12月15日 開催

1 第11期人材委員会における審議経過の概要

- ・当人材委員会では、第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月閣議決定。以下「第6期基本計画」という。）や研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ（令和2年1月CSTI決定）等を踏まえて、科学技術・イノベーション人材の育成・確保等について、審議を進めてきた。
- ・特に、今期の人材委員会においては、博士後期課程学生を含む若手研究者への支援方策の在り方について幅広く検討を行なってきた。
- ・具体的には、博士人材のキャリアパス確保について中心的に議論を行い、博士人材の産業界への進出や社会的地位の向上等に向けて、政府としての施策や関係機関との連携方策などについて検討し、論点を取りまとめることとした。

2 主な審議事項の審議経過

2-1 博士人材のキャリアパスについて（論点整理）

（2）旧来型の雇用システムからの変容と国際頭脳循環

- ・博士人材のような高度専門人材は、引き続き研究の主たる担い手であるとともに、社会全体において様々な課題解決も牽引していく「社会イノベーター」ともいえるべき存在として、今後組織の様々な場面での一層の活躍が期待されるものである。国、大学や研究機関等のアカデミア及び産業界が結束してこうした博士人材の育成・活用に取り組むべきである。

[抜粋]

次期教育振興基本計画について(答申)

令和5年3月8日

中央教育審議会

IV. 今後5年間の教育政策の目標と基本施策

目標5 イノベーションを担う人材育成

【基本施策】

○大学院教育改革

- ・「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策～（審議のまとめ）」（平成31（2019）年 中央教育審議会大学分科会）等に基づき、「3つの方針」に基づく学位プログラムとしての大学院教育の確立や、優秀な人材の進学促進と修了者の進路確保、キャリアパスの多様化等を、行政・産業界等とも連携しつつ推進する。
- ・高度な専門的知識と倫理観を基礎に自ら考え行動し、新たな知及びそれに基づく価値を創造し、様々なセクターで活躍する高度な博士人材を育成するとともに、機関の枠を超えた産業界等との連携した教育プログラムの構築を推進する。

○若手研究者・科学技術イノベーションを担う人材育成

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画に基づく、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大を図るなど、若手研究者がアカデミアのみならず産業界等の幅広い領域で活躍できるキャリアパスの展望を描けるようにすることで、優秀な若者が博士後期課程を志す環境を実現する。あわせて、URA等の高度な専門職人材に関する取組や、出産・育児等のライフイベントと研究を両立するためのサポート体制等の充実を進め、大学等における研究環境を整備する。

【指標】

- ・自治体や企業等と連携し社会や地域のニーズに対応できる医療人材の養成に取り組む大学の割合の増加

臨地実習施設
採用ご担当者様

関西医療大学
学 長 吉 田 宗 平
大学院科長 鈴 木 俊 明

大学院博士後期課程修了者の採用意向に関するアンケート調査について（ご依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学の運営につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では令和6年4月の開設を目指し、保健医療分野においてリーダーとなれる高度な主導的臨床専門職および研究者を養成することを目的として、大学院博士後期課程の設置申請に向けた準備を進めております。

この度、設置申請（令和5年3月）にあたり、本学が養成する医療人材に関する社会的、地域的な人材需要の動向についての調査を実施することといたしました。

つきましては、貴施設に在職されます医療従事者（理学療法士・作業療法士・臨床検査技師）の状況及び今後の博士後期課程修了者の採用に関するご意見をお聞かせいただきたく、別紙アンケート調査（回答はGoogle アンケート）にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート調査結果は、設置申請に当たっての統計資料としてのみ活用するものであり、貴施設を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

甚だ勝手なお願いではございますが、本アンケート調査にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. ご送付資料

- ・ 関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程の設置構想（概要）
- ・ 関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程修了者の採用意向に関するアンケート調査（調査用紙）
- ・ 採用意向に関するアンケート調査のご回答について

2. アンケート調査ご回答期限

令和4年10月31（月）

3. アンケートの回答方法（①または②で回答をお願い申し上げます。）

- ① アンケートURLまたはQRコードをご活用いただき Google で回答
- ② 別紙アンケート用紙に直接ご記入の上、同封の返信用封筒で回答

〈担 当〉 関西医療大学 事務局 教学部（野口）
〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 2-11-1
TEL：072-453-8251（代表） / E-mail:noguchi@kansai.ac.jp

採用意向に関するアンケート調査のご回答について

□ 下記のいずれかでご回答をお願い申し上げます。

【期 限：令和4年10月31日（月）】

記

○ URL: <https://forms.gle/e6iS5gvULZriD4u48>

○ QRコード: _



関西医療大学大学院 保健医療学研究科
博士後期課程修了者の採用意向に関するアンケート調査

回答期限：10月31日（月）

施設名

◆ 恐れ入りますが、該当する項目に○印をお願い申し上げます。

問1. [貴機関・貴施設の種別をお答えください。]

1. 病院
2. 診療所・クリニック
3. 介護保健施設・福祉施設等
4. その他（ ）

問2.[貴機関・貴施設の所在地をお答えください。]

1. 大阪市内
2. 大阪府（大阪市以外）
3. 関西圏（大阪府以外）
4. その他（ ）

問3.〔貴施設の職員数をお答えください。〕

1. 50 人以下
2. 51 人～100 人
3. 101 人～300 人
4. 301 人～500 人
5. 501 人～1,000 人
6. 1,001 人以上

問4. [貴施設における大学修士課程または博士課程（後期）修了の医療職（理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、鍼灸師 等）の勤務の有無についてお答えください。]

1. 勤務している
2. 過去に勤務者がいた
3. これまで勤務者がいない
4. わからない
5. 過去にも現在にも勤務している

問5.[問4で1または5に回答した場合、勤務されている人数をお答えください。]

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. その他（ 人）

問 6.[問 4 で 2 または 5 に回答した場合、勤務されていた人数をお答えください。]

1. 1 人
2. 2 人
3. 3 人
4. その他（ 人）

問 7.[添付の資料に示す「関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程」が養成する人材はこれから社会にとって必要と思われますか。]

1. とても必要である
2. ある程度必要である
3. あまり必要でない
4. 必要でない

問 8.[貴機関・貴施設において今後、関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程が養成する人材を採用したいと思われますか。]

1. 採用したい
2. 採用を積極的に検討する
3. 採用しない
4. どちらともいえない

問 9.[問 8 で 1 または 2 に回答した場合、該当するものを全て選んでください。]

1. 職場における高度な研究能力が期待できるため
2. 職場における高度な臨床能力が期待できるため
3. 職場における高度な教育力が期待できるため
4. チーム医療における高度な指導能力が期待できるため
5. 社会の変化に対応できる学識高い人を必要するため

問 10.[問 8 で 1 に回答の場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。]

1. 1 人
2. 2 人
3. 3 人
4. その他（ 人）

問 11.[その他、関西医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程について、ご意見がございましたらご自由にお書きください。]

質問は以上となります、ご協力誠にありがとうございました。

関西医療大学大学院
「博士後期課程修了者の採用意向に関するアンケート調査」
(仮称)
結果報告書
(臨地実習施設 採用者対象調査)

令和4年12月
株式会社日本創造教育研究所

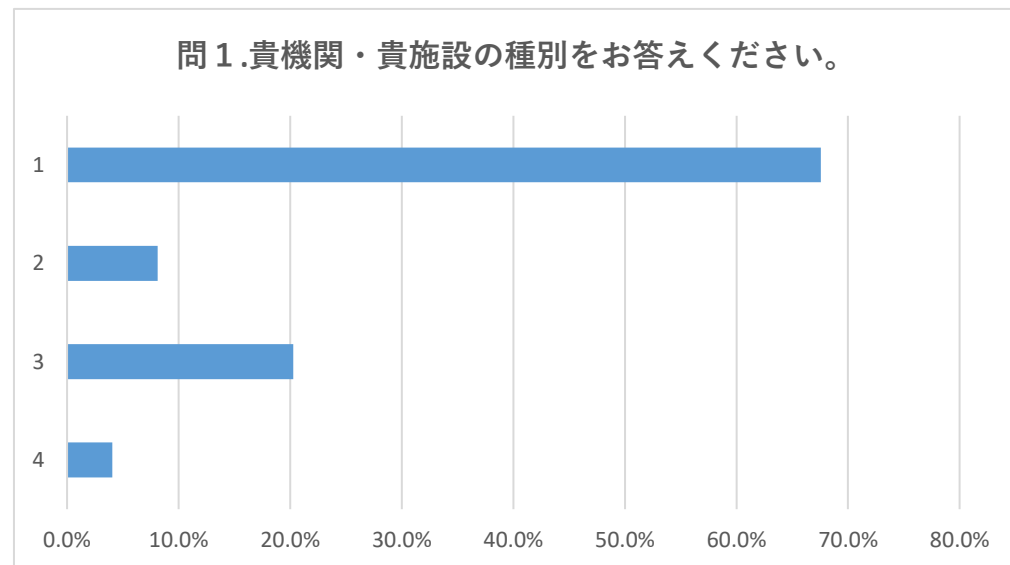
採用意向に関するアンケート調査 集計結果

「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

【採用担当者】

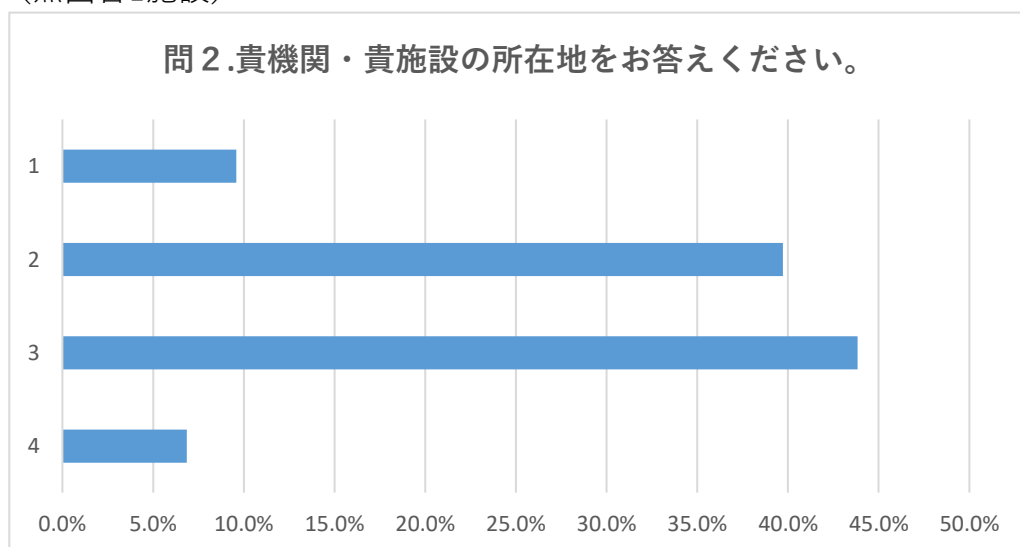
問1.「貴機関・貴施設の種別をお答えください。」

選択項目	回答数	構成比
1.病院	50	67.6%
2.診療所・クリニック	6	8.1%
3.介護保健施設・福祉施設	15	20.3%
5.その他	3	4.1%
	74	



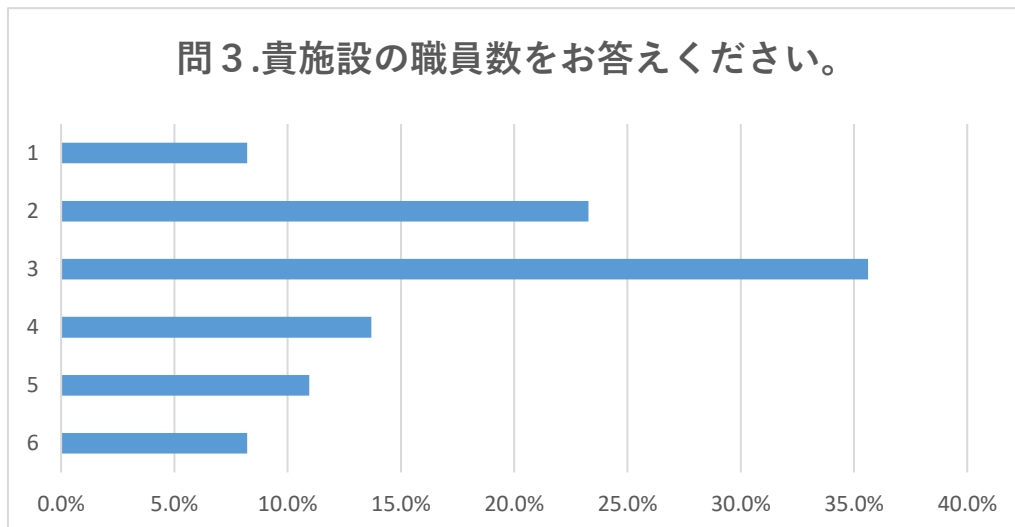
問2.「貴機関・貴施設の所在地をお答えください。」

選択項目	回答数	構成比
1.大阪市内	7	9.6%
2.大阪府（大阪市以外）	29	39.7%
3.関西圏（大阪府以外）	32	43.8%
4.その他	5	6.8%
（無回答1施設）	73	



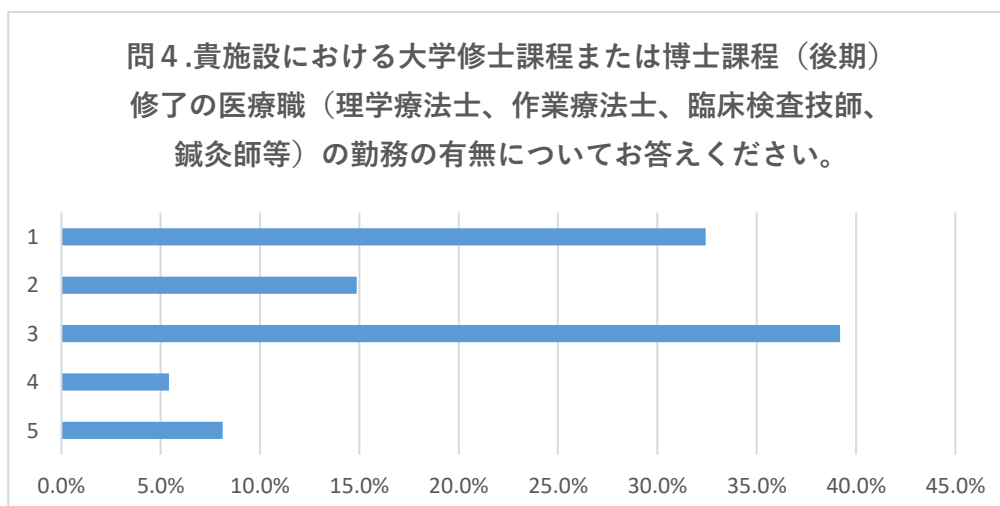
問3. [貴施設の職員数をお答えください。]

選択項目	回答数	構成比
1. 50人以下	6	8.2%
2. 51～100人	17	23.3%
3. 101～300人	26	35.6%
4. 301～500人	10	13.7%
5. 501人～1,000人	8	11.0%
6. 1,001人以上	6	8.2%
(無回答1施設)	73	



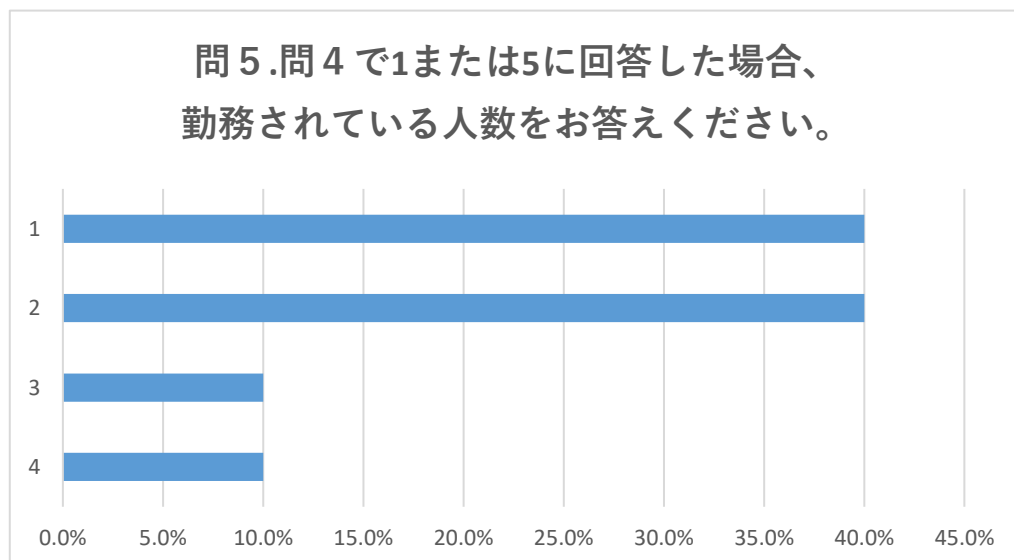
問4. [貴施設における大学修士課程または博士課程（後期）修了の医療職（理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、鍼灸師等）の勤務の有無についてお答えください。]

選択項目	回答数	構成比
1. 勤務している	24	32.4%
2. 過去に勤務者がいた	11	14.9%
3. これまで勤務者がいない	29	39.2%
4. わからない	4	5.4%
5. 過去にも現在にも勤務している	6	8.1%
	74	



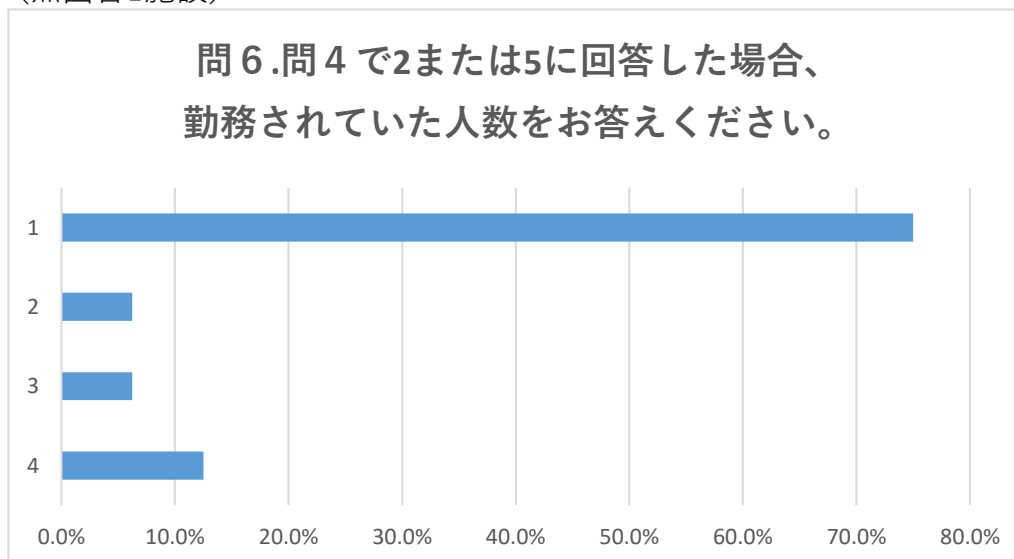
問5.[問4で1または5に回答した場合、勤務されている人数をお答えください。]

選択項目	回答数	構成比
1. 1人	12	40.0%
2. 2人	12	40.0%
3. 3人	3	10.0%
4. その他（4人以上）	3	10.0%
	30	



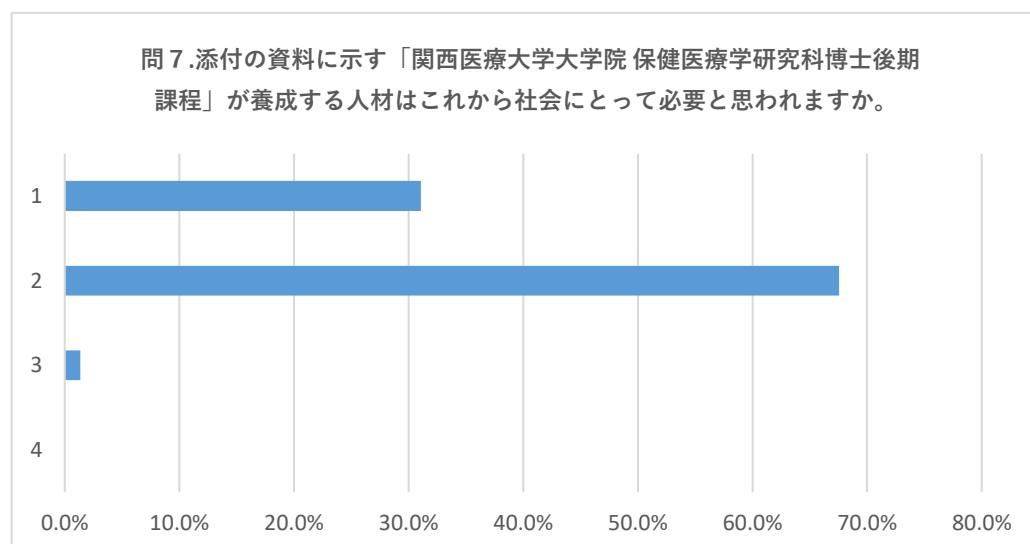
問6.[問4で2または5に回答した場合、勤務されていた人数をお答えください。]

選択項目	回答数	構成比
1. 1人	12	75.0%
2. 2人	1	6.3%
3. 3人	1	6.3%
4. その他（5名以上）	2	12.5%
（無回答1施設）	16	



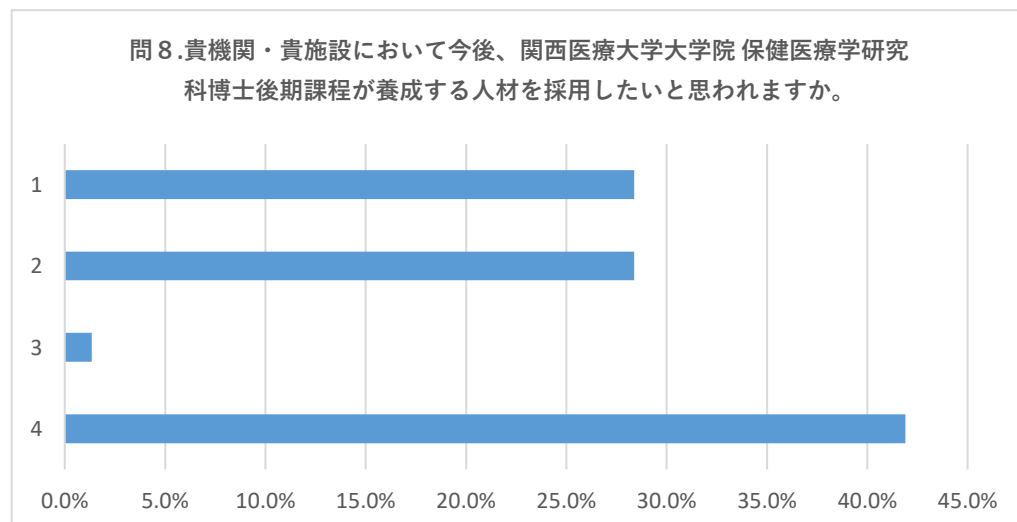
問7.[添付の資料に示す「関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程」が養成する 人材はこれから社会にとって必要と思われますか。]

選択項目	回答数	構成比
1. とても必要である	23	31.1%
2. ある程度必要である	50	67.6%
3. あまり必要でない	1	1.4%
4. 必要でない	0	0.0%
	74	



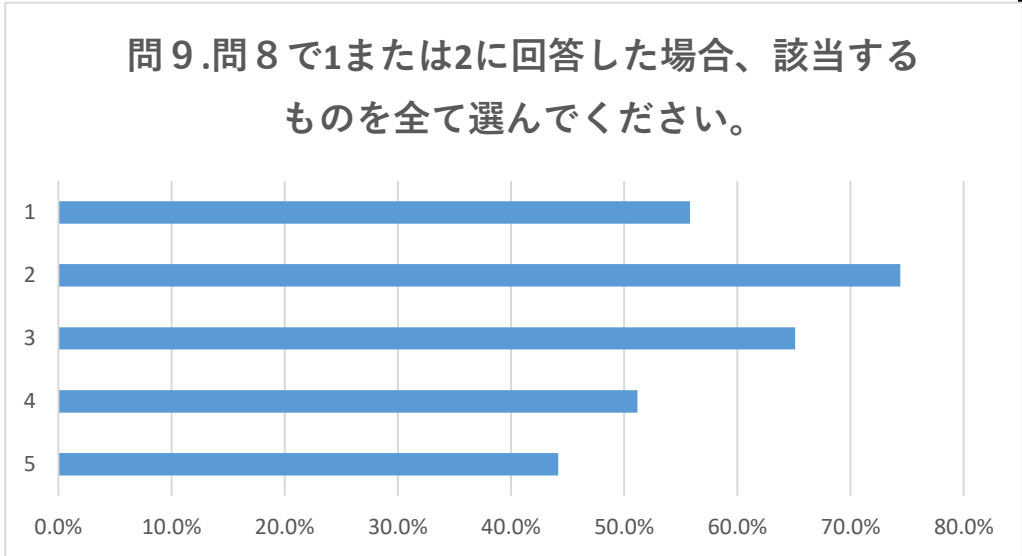
問8.[貴機関・貴施設において今後、関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程が 養成する人材を採用したいと思われますか。]

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	21	28.4%
2. 採用を積極的に検討する	21	28.4%
3. 採用しない	1	1.4%
4. どちらともいえない	31	41.9%
	74	



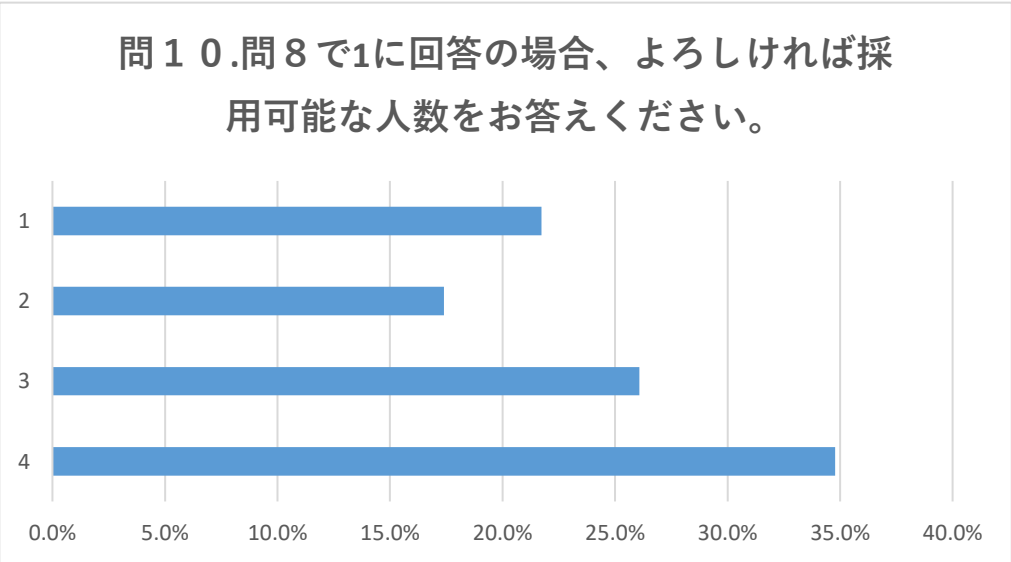
問 9 .[問 8 で1または2に回答した場合、該当するものを全て選んでください。] (複数回答)

選択項目	回答数	構成比
1. 職場における高度な研究能力が期待できるため	24	57.1%
2. 職場における高度な臨床能力が期待できるため	32	76.2%
3. 職場における高度な教育力が期待できるため	28	66.7%
4. チーム医療における高度な指導能力が期待できるため	22	52.4%
5. 社会の変化に対応できる学識高い人を必要とするため	19	45.2%
	42	



問 1 0 .[問 8 で1に回答の場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。]

選択項目	回答数	構成比
1. 1 人	2	11.8%
2. 2 人	4	23.5%
3. 3 人	5	29.4%
4. その他	6	35.3%
(無回答4施設)	17	



問 1 1 . 自由記述 [ご意見やご要望]

・ 問9の設問回答 臨床の状況を変化させるため、わが国の医療制度の高度化に取り組める人材が期待できるため、すぐにでなくても、今後採用について前向きに検討したいと思っています。

関西医療大学大学院
「博士後期課程修了者の採用意向に関するアンケート調査(グラフ)」
(仮称)
結果報告書
(臨地実習施設採用者対象調査)

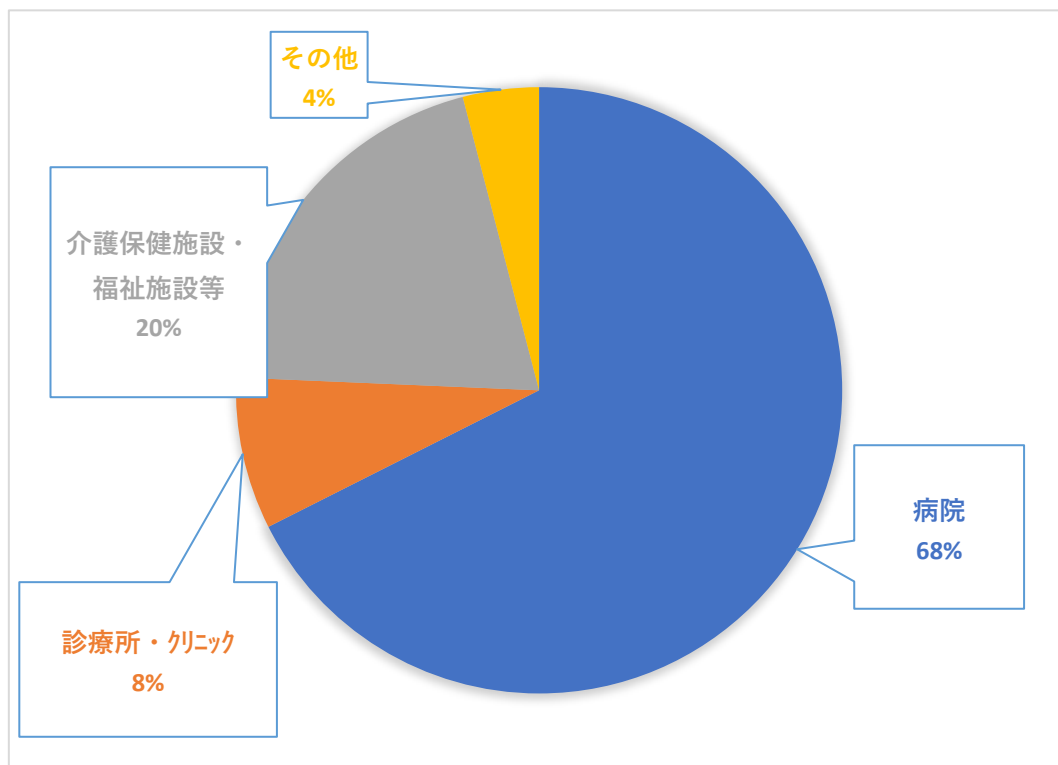
令和4年12月
株式会社日本創造教育研究所

関西医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程修了者の
採用意向に関するアンケート調査

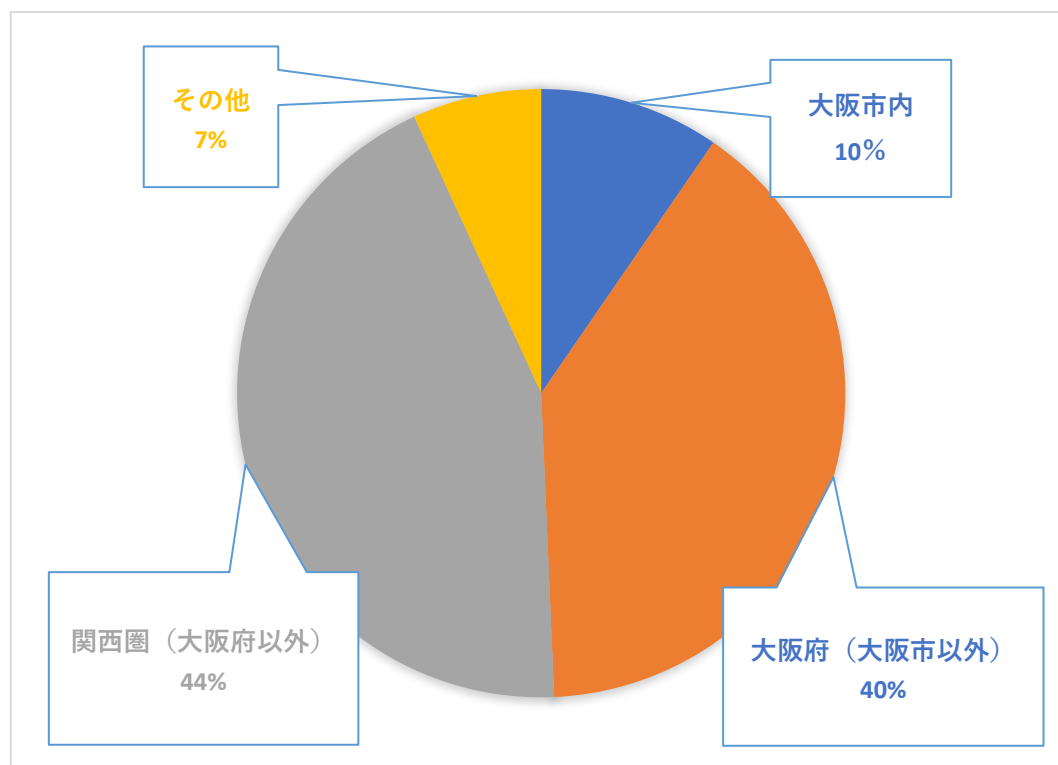
(74施設/200施設)

37.0%

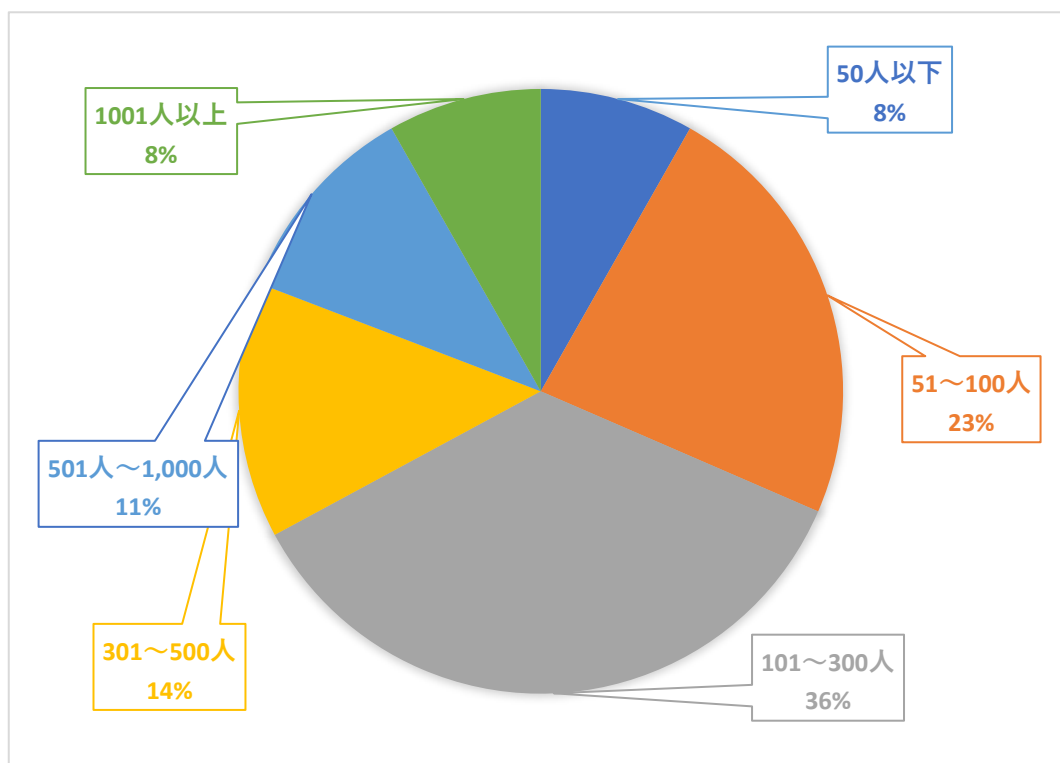
問1.[貴機関・貴施設の種別をお答えください。]



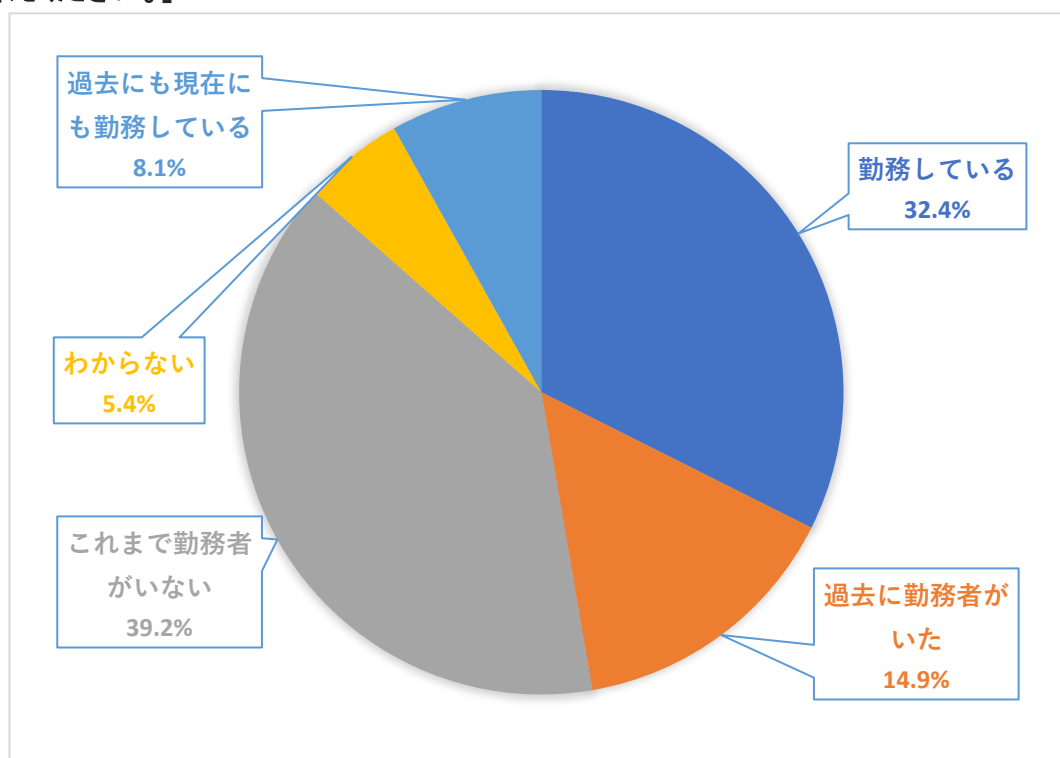
問2.[貴機関・貴施設の所在地をお答えください。]



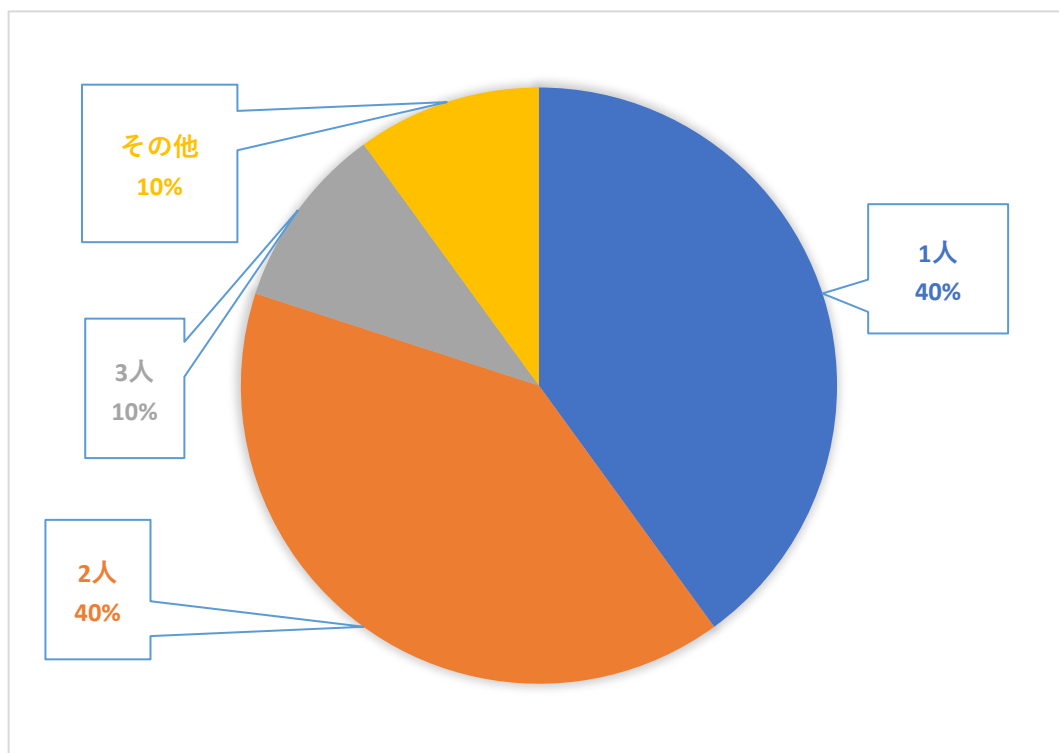
問3.[貴施設の職員数をお答えください。]



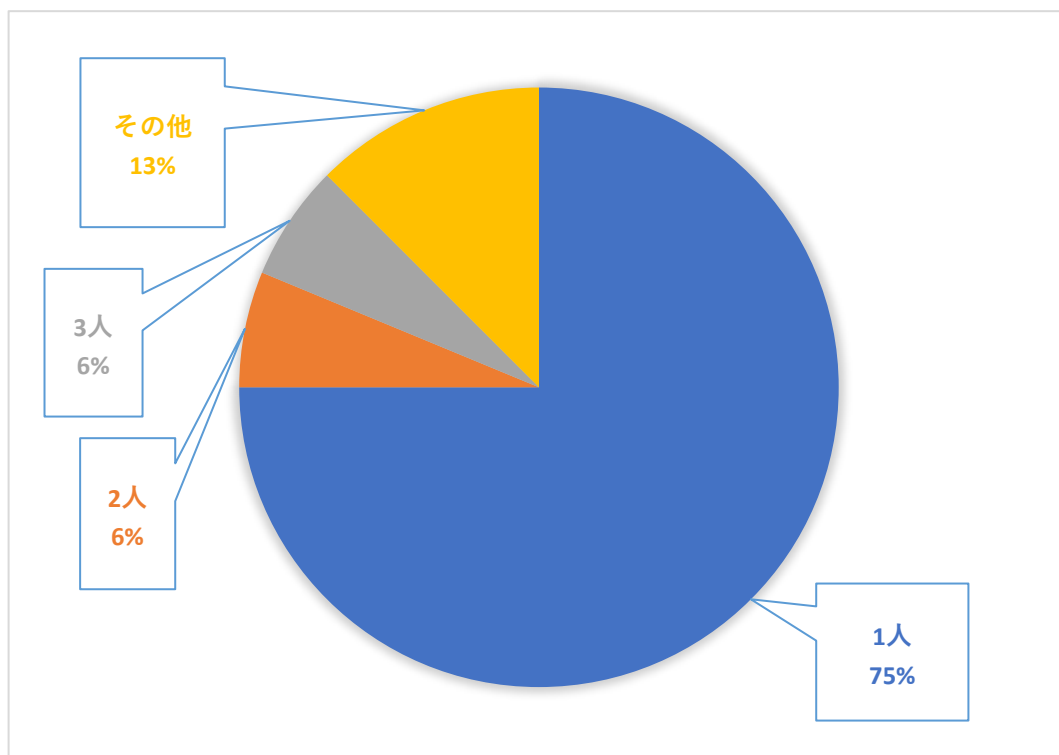
問4.[貴施設における大学修士課程または博士課程(後期)修了の医療職(理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、鍼灸師等)の勤務の有無についてお答えください。]



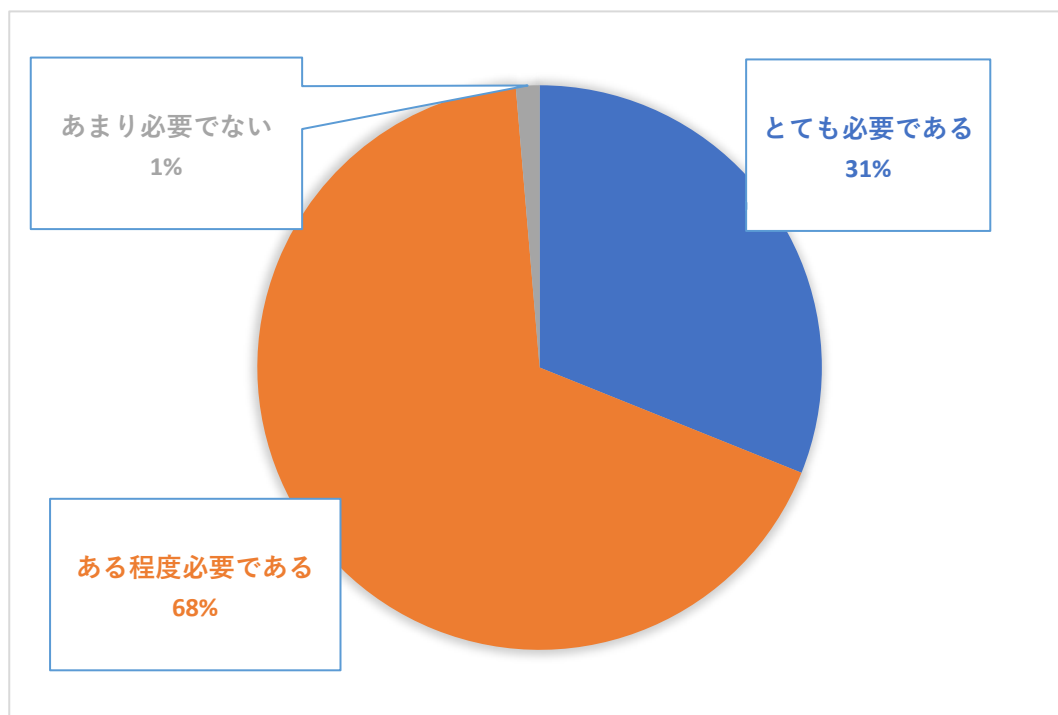
問5.[問4で「勤務している」「過去にも現在にも勤務している」に回答した場合、勤務されている人数をお答えください。]



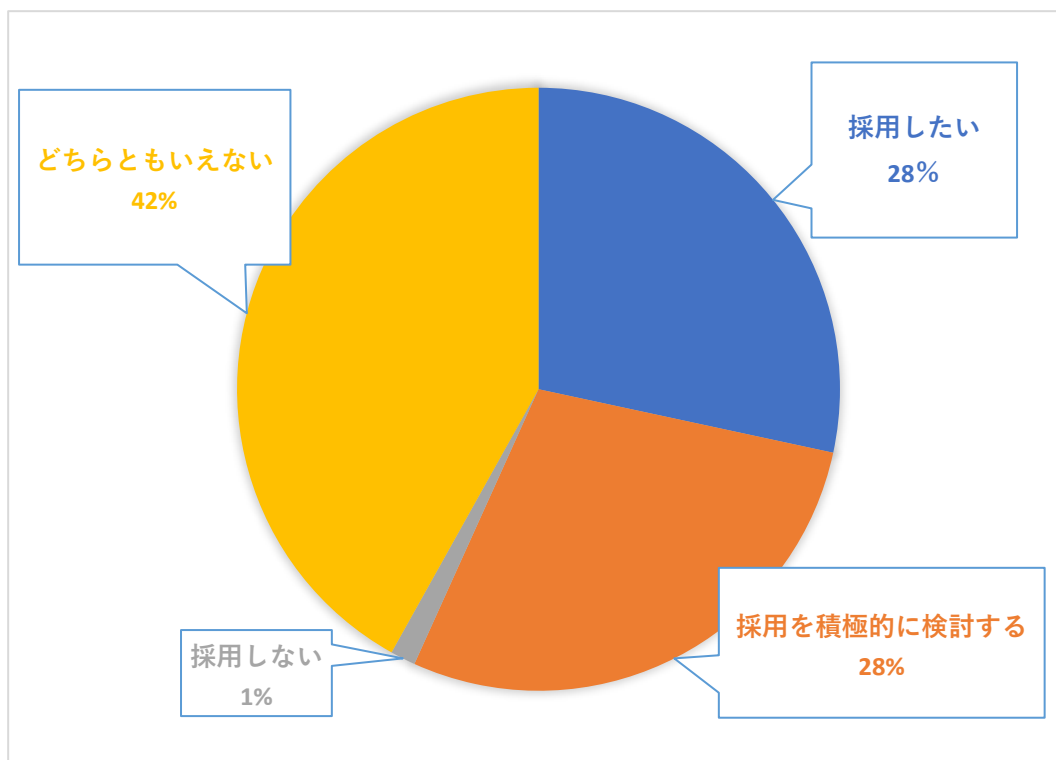
問6.[問4で「過去に勤務者がいた」「過去にも現在にも勤務している」に回答した場合、勤務されていた人数をお答えください。]



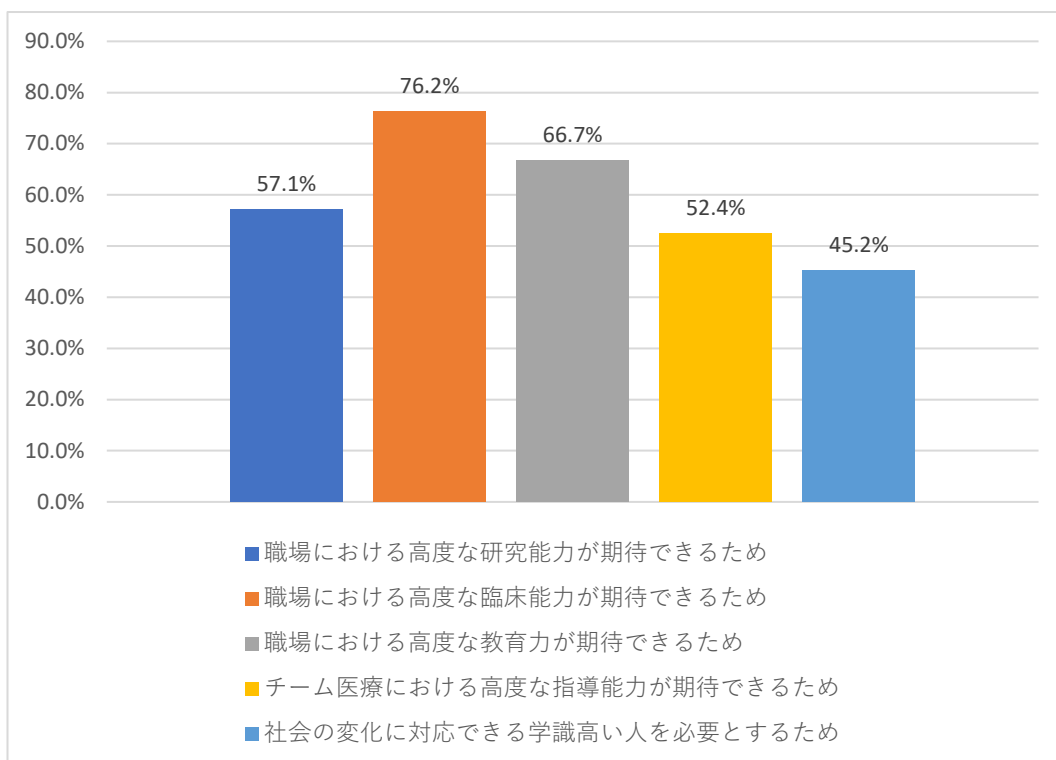
問7.[添付の資料に示す「関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程」が養成する人材はこれから社会にとって必要と思われますか。]



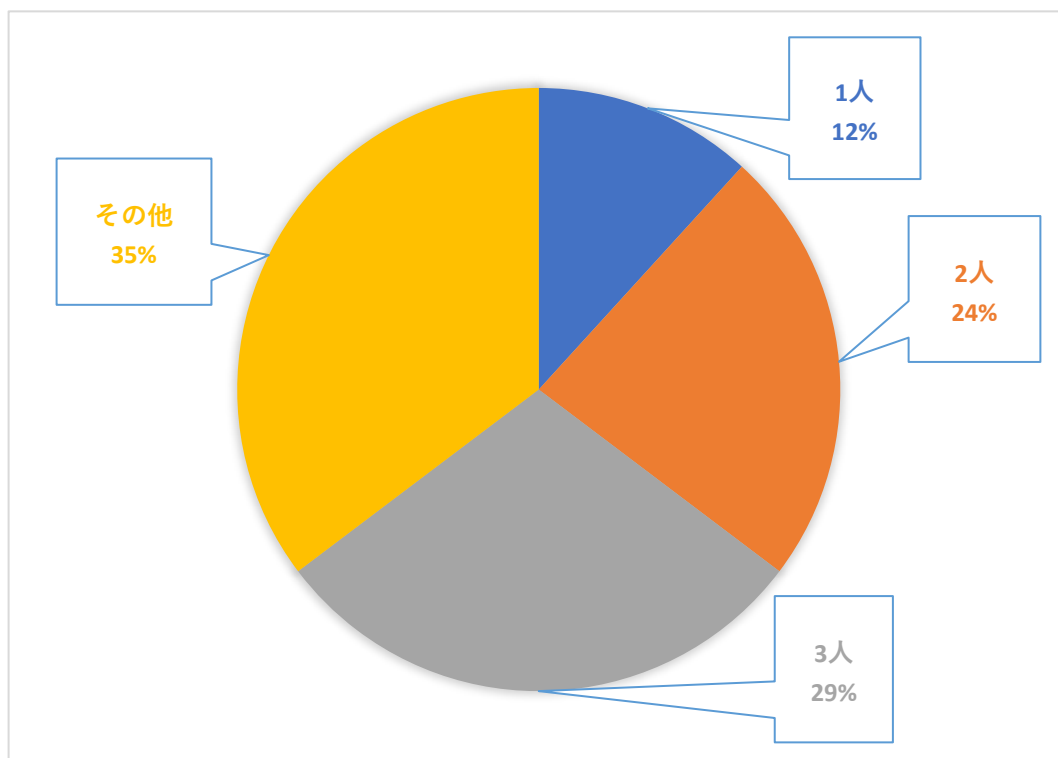
問8.[貴機関・貴施設において今後、関西医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程が養成する人材を採用したいと思いますか。]



問9.[問8で1または2に回答した場合、該当するものを全て選んでください。]



問10.[問8で1に回答の場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。]



問11.[その他、関西医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。]

問9の設問回答 臨床の状況を変化させるため、わが国の医療制度の高度化に取り組める人材が期待できるため、すぐにでなくても、今後採用について前向きに検討したいと思っています。